４　用途別の実態

（１）ホール等

１）施設概要

①　施設一覧

本市では、市民会館を保有しています。市民会館の管理運営は、指定管理となっています。

設置目的：市民の文化の向上と福祉の増進を図ることを目的とする。

図表　施設一覧

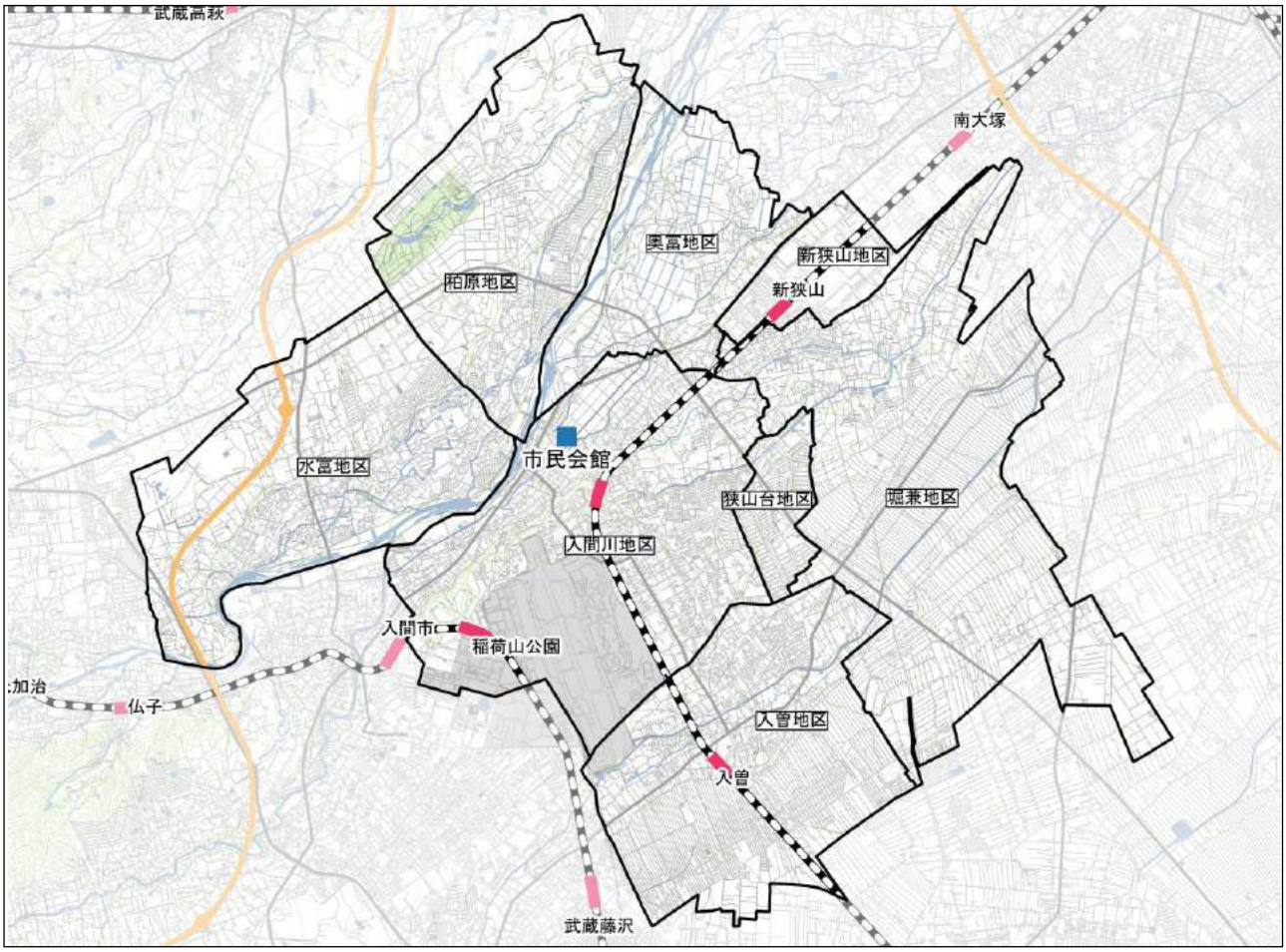
地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年度）	構造（主たる建物）	土地所有
入間川	1 市民会館	入間川 2-33-1	10,258.00	昭和54	鉄骨鉄筋コンクリート	市

※　　：築 30 年以上施設

②　配置状況

市民会館は、入間川地区に設置されています。

図表　ホール等位置図



③　開館時間・開館日数

	開館時間	休館日※	開館日数
市民会館	午前９時～午後９時 30 分	毎週月曜日 国民の祝休日の翌日 年末年始（12 月 29 日から翌年１月４日）	290 日

（出典）狭山市公式ホームページ　　※平成 26 年度

④　事業内容

＜市民会館＞

市民文化の振興と文化団体等の育成を図るため、大ホール、小ホール、控室、リハーサル室、展示室、会議室、和室の貸室をしています。

また、ホールでは、主催・共催による、各種コンサート、演劇、講演会などを開催し、地域における文化の発展と豊かな市民生活の形成に向けた各種事業を展開しています。

⑤　予約方法・使用料金等

市民会館	申込方法 ・来館申込みの場合、午前 9 時～午後 9 時 30 分（休館日を除く）まで。施設利用申込書により申込み。 ・ロビー端末、インターネット申込みの場合、事前に団体の登録が必要。申込み受付時間はロビー端末によるものは午前 9 時～午後 9 時まで。インターネットによるものは午前 5 時～午前 0 時まで。予約可能施設は、会議室と和室。 申込受付期間 ・ホール、リハーサル室及び展示室は、7 ヶ月前の月から利用開始日 10 日前（市内に住所を有しない場合は、6 ヶ月前から）。但し、所沢市・飯能市・入間市は市内と同様。（※リハーサル室及び展示室にあっては、利用日前日） ・会議室、和室は、直接申込みの場合は、2 ヶ月前の月から利用日前日（ホール等と併用の場合は上記と同様）。ロビー端末、インターネット申込みの場合 2 ヶ月前の月から利用日前々日。

（出典）狭山市公式ホームページ

⑥　使用料金

（円）

施設名	収容人数	面積(㎡)	午前		午後		夜間		全日	
使用区分			午前9時～正午		午後1時～午後4時30分		午後5時30分～午後9時30分		午前9時～午後9時30分	
利用者			市内利用者	市外利用者	市内利用者	市外利用者	市内利用者	市外利用者	市内利用者	市外利用者
大ホール（平日）	1,398	1,732	17,000	27,200	30,000	48,000	40,000	64,000	85,000	136,000
大ホール（土・日・休）			22,000	35,200	40,000	64,000	52,000	83,200	110,000	176,000
中ホール（平日）	878	－	11,000	17,600	21,000	33,600	28,000	44,800	59,000	94,400
中ホール（土・日・休）			15,000	24,000	28,000	44,800	36,000	57,600	77,000	123,200
小ホール（平日）	364	532	7,000	11,200	13,000	20,800	18,000	28,800	37,000	59,200
小ホール（土・日・休）			9,000	14,400	16,000	25,600	21,000	33,600	45,000	72,000
第1控室	4	12	200	320	300	480	400	640	900	1,440
第2控室	4	16	300	480	400	640	500	800	1,100	1,760
第3控室	4	14	200	320	300	480	500	800	1,000	1,600
第4控室(和室)	10	29	500	800	700	1,120	800	1,280	2,000	3,200
第5控室	4	15	200	320	400	640	500	800	1,000	1,600
第6控室	2	9	200	320	200	320	300	480	700	1,120
第7控室	15	30	500	800	800	1,280	900	1,440	2,100	3,360
第8控室	15	28	400	640	700	1,120	800	1,280	1,900	3,040
第9控室	20	33	400	640	800	1,280	900	1,440	2,100	3,360
リハーサル室		86	1,200	1,920	2,000	3,200	2,500	4,000	5,700	9,120
展示室		184	2,600	4,160	4,200	6,720	5,400	8,640	12,000	19,200
第1会議室	12	34	500	800	800	1,280	1,000	1,600	2,200	3,520
第2会議室	8	28	400	640	600	960	800	1,280	1,800	2,880
第3会議室	16	45	600	960	1,000	1,600	1,400	2,240	3,000	4,800
第4会議室	63	98	1,400	2,240	2,300	3,680	2,900	4,640	6,500	10,400
第5会議室	42	77	1,100	1,760	1,800	2,880	2,300	3,680	5,100	8,160
第6会議室	63	95	1,300	2,080	2,200	3,520	2,800	4,480	6,300	10,080
第1和室	20	42	600	960	1,000	1,600	1,200	1,920	2,800	4,480
第2和室	40	86	1,200	1,920	2,000	3,200	2,500	4,000	5,700	9,120

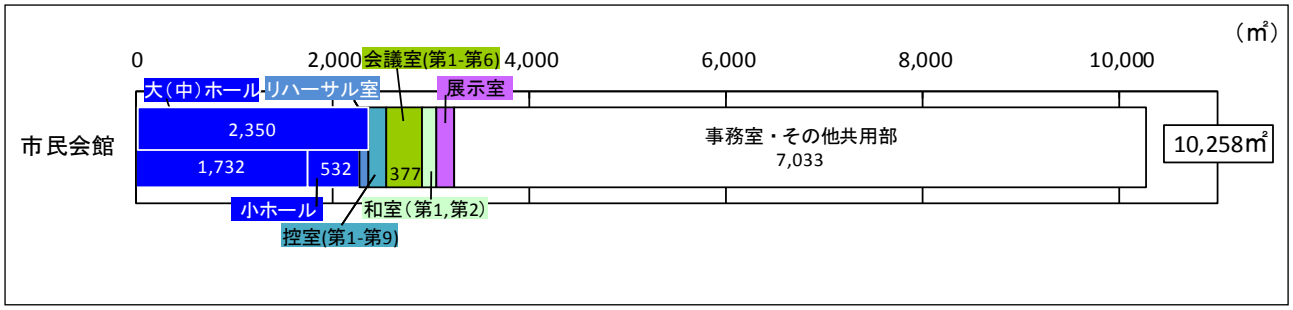
（出典）狭山市市民会館ホームページ

→中ホールは大ホールの収容人数を少なくした使用方法のことです。

⑦　スペース構成

市民会館の総延床面積は、1 万 258 ㎡となっています。ホールと控室、リハーサル室のほか、会議室、和室、展示室の機能を保有しています。大ホールは 1,732 ㎡、収容人数が 1,398 人（中ホール扱いは 878 人）、小ホールは 532 ㎡、収容人数が 364 人、控室は 9 部屋で 186 ㎡、リハーサル室は 86 ㎡となっており、その他に展示室 184 ㎡、会議室 6 部屋 377 ㎡、和室 2 部屋 128 ㎡となっています。

図表　スペース構成



（出典）平成 26 年度公共施設現況調査

２）実態把握

①　　建物状況

■　ホール等の建物総合評価結果

市民会館の建物状況について、「第３章 ２公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③劣化状況	④バリアフリー対応						⑤環境対応			⑥維持管理					
																		維持管理費（千円）			床面積当たり（円/㎡）		
		建築年度	延床面積（㎡）	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	劣化問診票回答評価	段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	※1 車椅子対応トイレ	障がい者用駐車場	授乳室・ベビーシート	自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	市民会館	昭和54	10,258	△	36		36	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	指定管理委託料に含まれているので対象外とする					

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

①④⑤の凡例
○ ： 実施済み
△ ： 対策中
× ： 未実施
― ： 不要

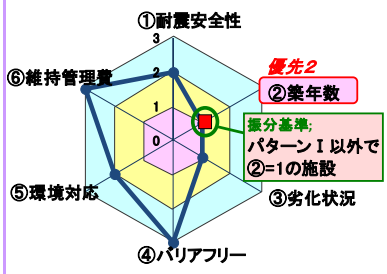
③の凡例
○ ： 劣化がみられないもの
△ ： 一部に劣化がみられるもの・不明
× ： 屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

旧耐震基準により整備されており、築 30 年以上が経過していることから、大規模改修などの対応が必要となっています。

評価

パターンⅡ　老朽化

・老朽化が進行している
⇒建替え又は大規模改修 などの老朽化対策の検討が必要な施設



該当施設

該当施設	建築年度
市民会館	昭和54

＜１施設＞

コメント

・耐震改修工事を実施しておらず、築30年以上と老朽化がかなり進行しているので、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。

② 利用状況

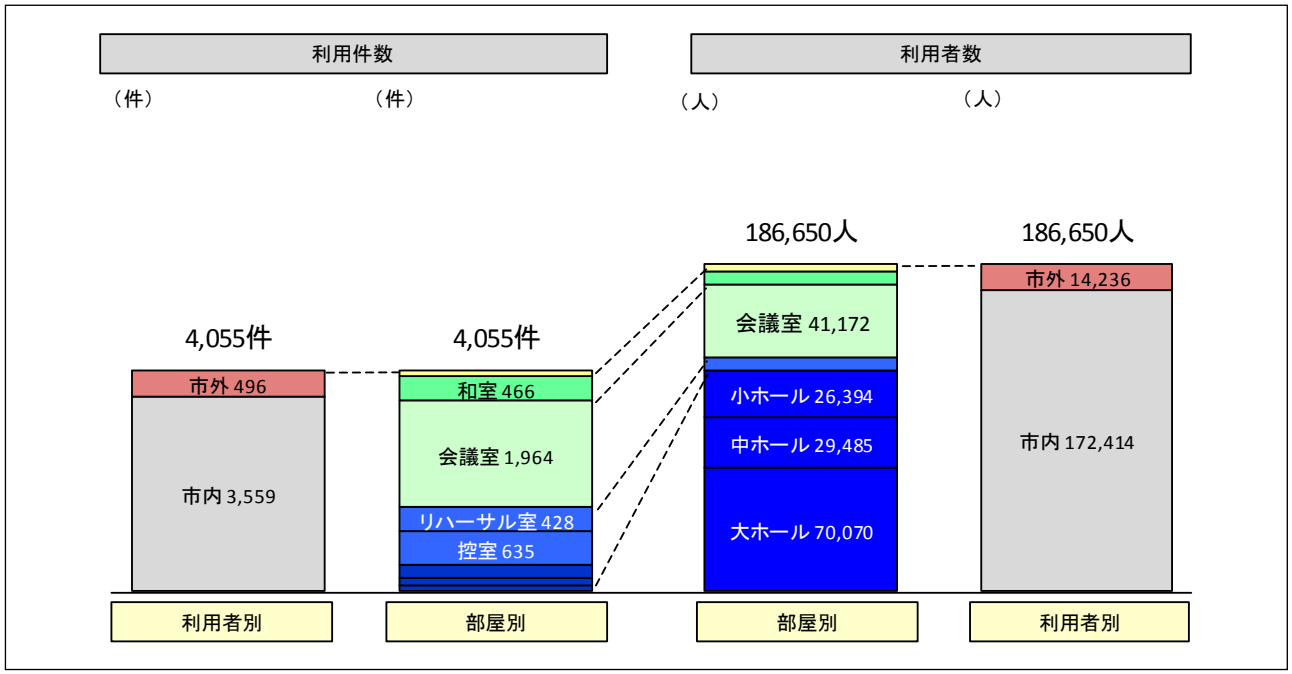
■ 全体の利用状況

市民会館の利用件数は 4,055 件、利用者数は 18 万 6,650 人です。

利用者別の内訳をみると市内が 3,559 件・17 万 2,414 人、市外が 496 件・1 万 4,236 人となっており、市内の利用が、利用件数では全体の約 88%、利用者数では約 92%と大半を占めています。

部屋別の利用状況では、会議室が 1,964 件（約 48%）、次いで控室が 635 件（約 16%）となっています。利用者数でみると、大ホールが 7 万 70 人（約 38%）となっています。

図表　年間利用件数・利用者数（平成 26 年度）



（出典）行政報告書（平成 26 年度）、ダイヤ 4 市利用状況（平成 26 年度）

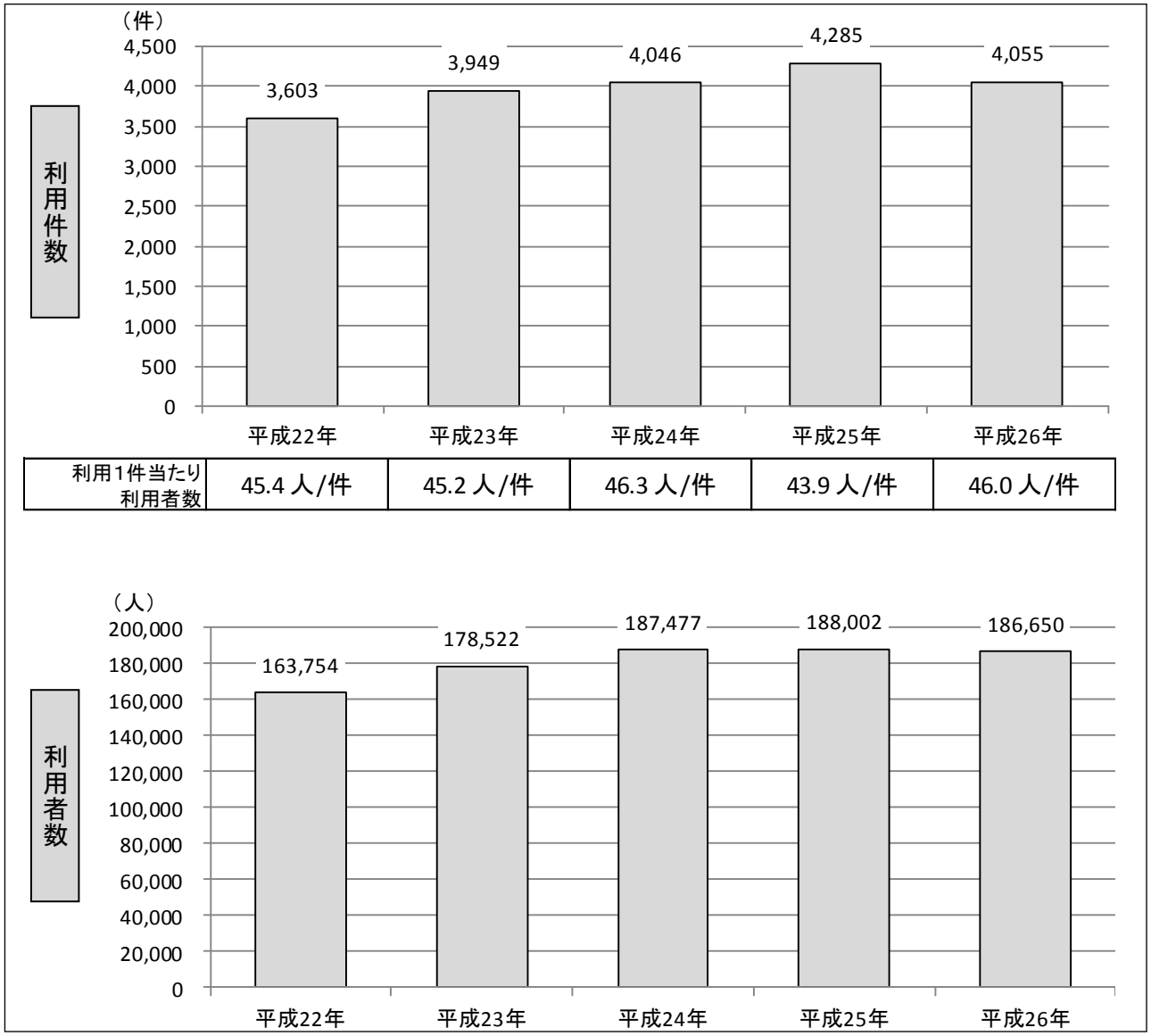
■　利用推移

利用件数は、平成 22 年度以降順調に増加し、平成 24 年度には 4,000 件を達成し、その後平成 25 年度には、4,285 件のピークを記録し、4,000 件台を保っています。

利用者数も利用件数同様、平成 22 年度以降順調に増加し、平成 25 年度の 18 万 8,002 人をピークにその後、18 万人台で推移しています。

利用 1 件当たりの利用者数は、平成 22 年度から 45 人/件～46 人/件で推移しています。

図表　利用件数及び利用者数の推移



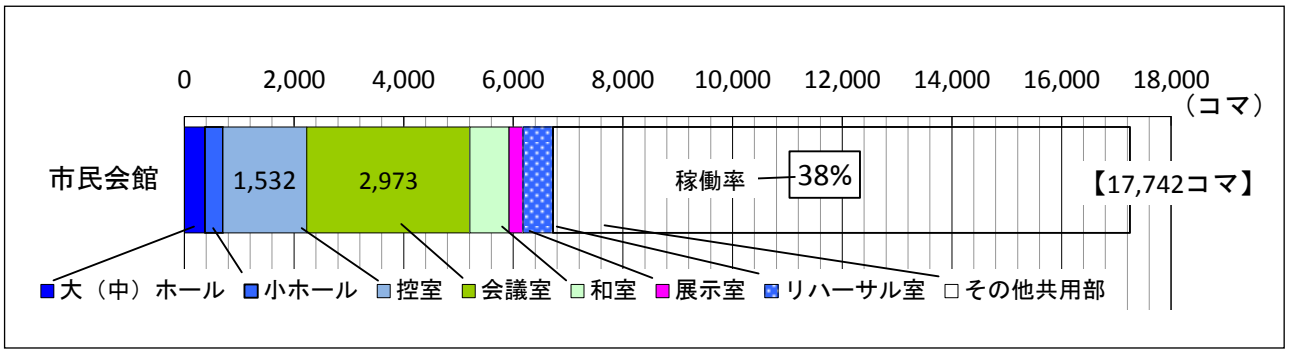
（出典）狭山市行政報告書（平成 22 年度～26 年度）

■　施設別稼働率及び施設別部屋別稼働率

市民会館の全体稼働率は約 38%です。

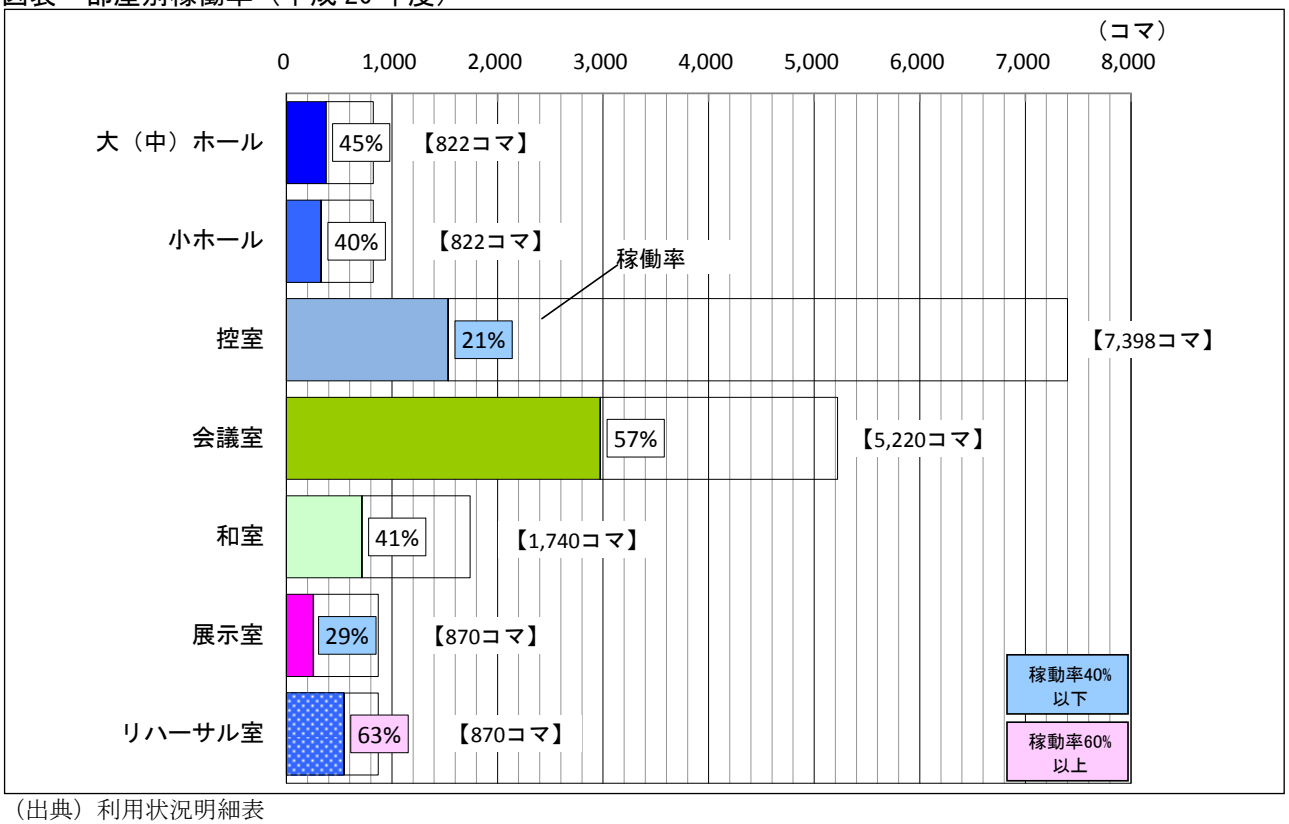
部屋別機能別に見た場合、市民会館の大（中）ホールは約 45%、９部屋ある控室は約 21%、会議室は約 57%、和室は約 41%、展示室は約 29%、リハーサル室は約 63%となっています。

図表　使用コマ数・全体稼働率（平成 26 年度）



（出典）利用状況明細表

図表　部屋別稼働率（平成 26 年度）

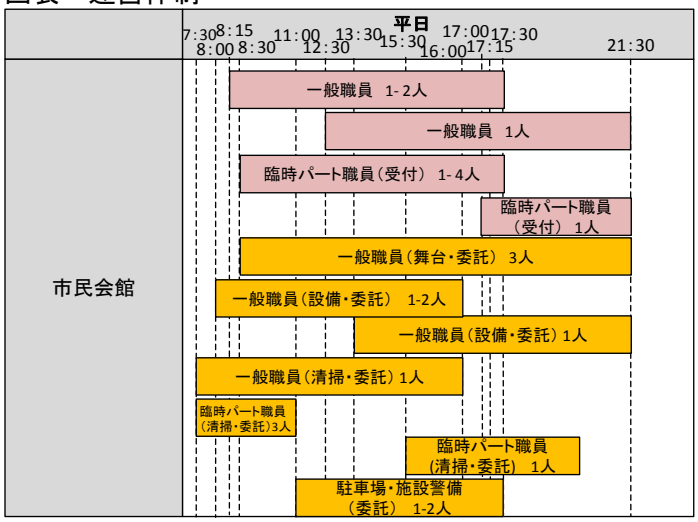


（出典）利用状況明細表

③ 運営状況

市民会館は時間帯によって指定管理者の一般職員・臨時パート職員、委託業者の一般職員・臨時パート職員・駐車場施設警備員の人員配置を行っています。

図表　運営体制



※標準的な利用で記載されています。受付、舞台、清掃は施設の利用状況、取分けホールの利用状況により変わります。また、駐車場・施設警備は原則ホール使用時のみの勤務となります。

④ コスト状況

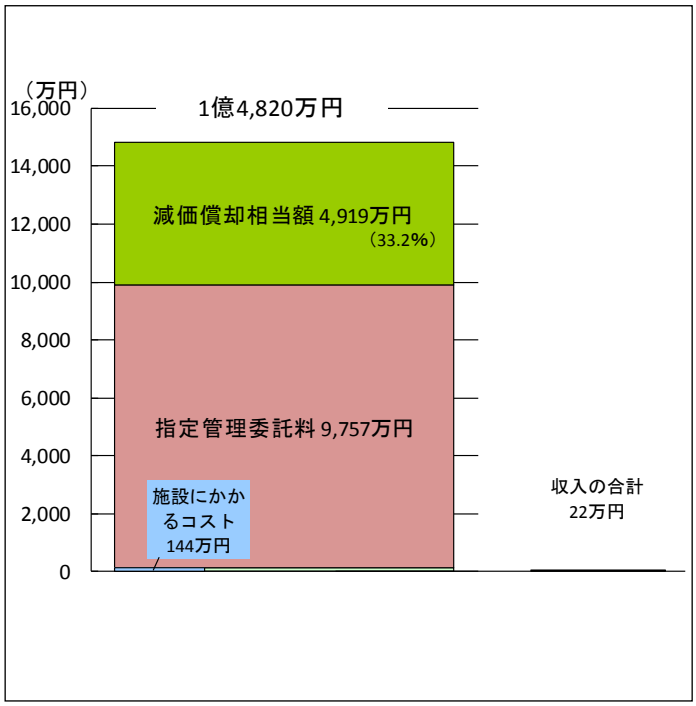
市民会館の年間トータルコストは、約１億 4,820 万円です。

年間トータルコストのうち、指定管理委託料は 9,757 万円（約 66%）、減価償却相当額は 4,919 万円（約 33%）となっています。

図表　施設別行政コスト計算書（平成 26 年度）

（円）

Ⅰ.現金収支を伴うもの 【コストの部】		市民会館
施設にかかるコスト	修繕費	1,437,696
	施設にかかるコスト	1,437,696
指定管理委託料		97,573,000
現金収支を伴うコスト　計		99,010,696
【収入の部】		
収入	諸収入	217,000
収入の合計		217,000
Ⅱ.現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	49,192,660
Ⅲ.総括		
コストの部合計（トータルコスト）		148,203,356
収支差額（ネットコスト）		147,986,356



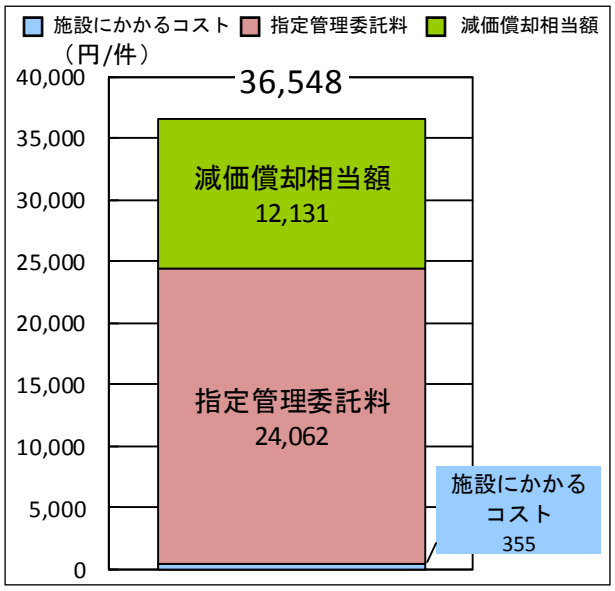
３）評価・分析

■　利用１件当たりのコスト/利用者１人当たりのコスト

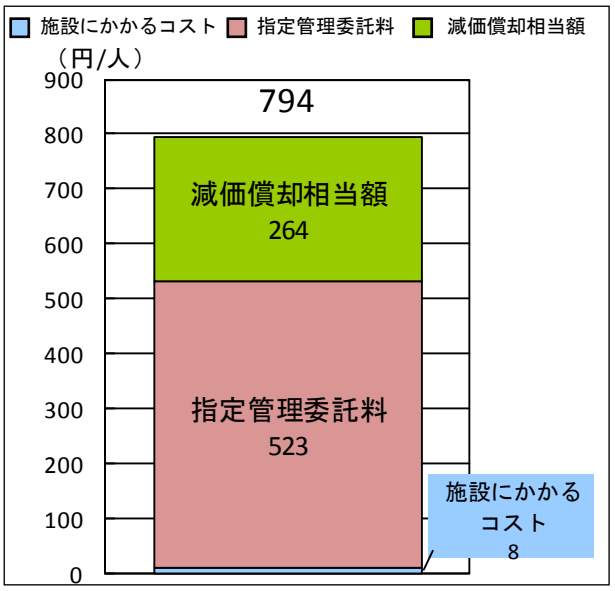
年間利用件数とトータルコストから、利用１件当たりにかかるコストを算出すると、約３万6,548円/件となっています。

年間利用者数とトータルコストから、利用者１人当りにかかるコストを算出すると、約794円/人となっています。

図表　施設別　利用１件当たりのコスト



図表　施設別　利用者１人当たりのコスト



４）実態のまとめ

■　建物面

・　平成28年度に耐震改修工事の予定となっています。しかし、建物は築36年を経過しており、天井の耐震性は既存不適格であり将来的には全面の改修が必要です。今後は施設整備のあり方について検討していく必要があります。

・　施設の特徴である1,398席ある大ホールでは、椅子や設備等による場内の快適性や、駐車場の確保など設備の面での工夫が必要となっています。

■　利用・運営面

・　運営者が市の直営から指定管理者になったことで、各種サービスの向上が見られ、利用者が増加。自主事業の導入で、とりわけICTの分野で本市の知名度アップに貢献しています。施設全体の稼働率が38%となっていることから、今後は、さらに稼働率を高めるために、空き状況の提供や活用方法の提案など、利用を高めるための工夫が必要です。

■　コスト面

・　市民会館の維持管理・運営にかかるコストは、直営から指定管理者になり大幅に削減されていますが、構成比の大半は指定管理委託料となっています。

（２）市民活動施設

１）施設概要

①　施設一覧

本市では、市民活動施設を５施設保有しています。

設置目的：	
市民センター	市民の自主的な活動を促進し、地域文化の創造と発展を図るため。
狭山元気プラザ（さやま市民大学）	行政と協働して地域の課題に取り組む人材を育成するため。また、そのための事業の企画及び実施の場の提供。
農村環境改善センター	農業経営及び農家生活の改善合理化を推進するとともに、農村地域住民の健康の増進と連帯感の醸成を図り、もって農村の健全な発展に資するため。
男女共同参画センター	男女が互いに人権を尊重し、責任を分かち合い、性別に係わりなく個性と能力を十分に発揮し、いきいきとした生活を営むことができる社会の実現を図る。
消費生活センター	市民の消費生活の安定向上に資する。

市民センターは中央公民館、男女共同参画センター、総合子育て支援センター等との複合施設、狭山元気プラザ（さやま市民大学）は、シルバー人材センター・ちゃきちゃき倶楽部等との複合併設施設、消費生活センターは中央図書館との複合施設となっています。

狭山元気プラザは、旧狭山台北小学校の跡利用施設を活用しています。

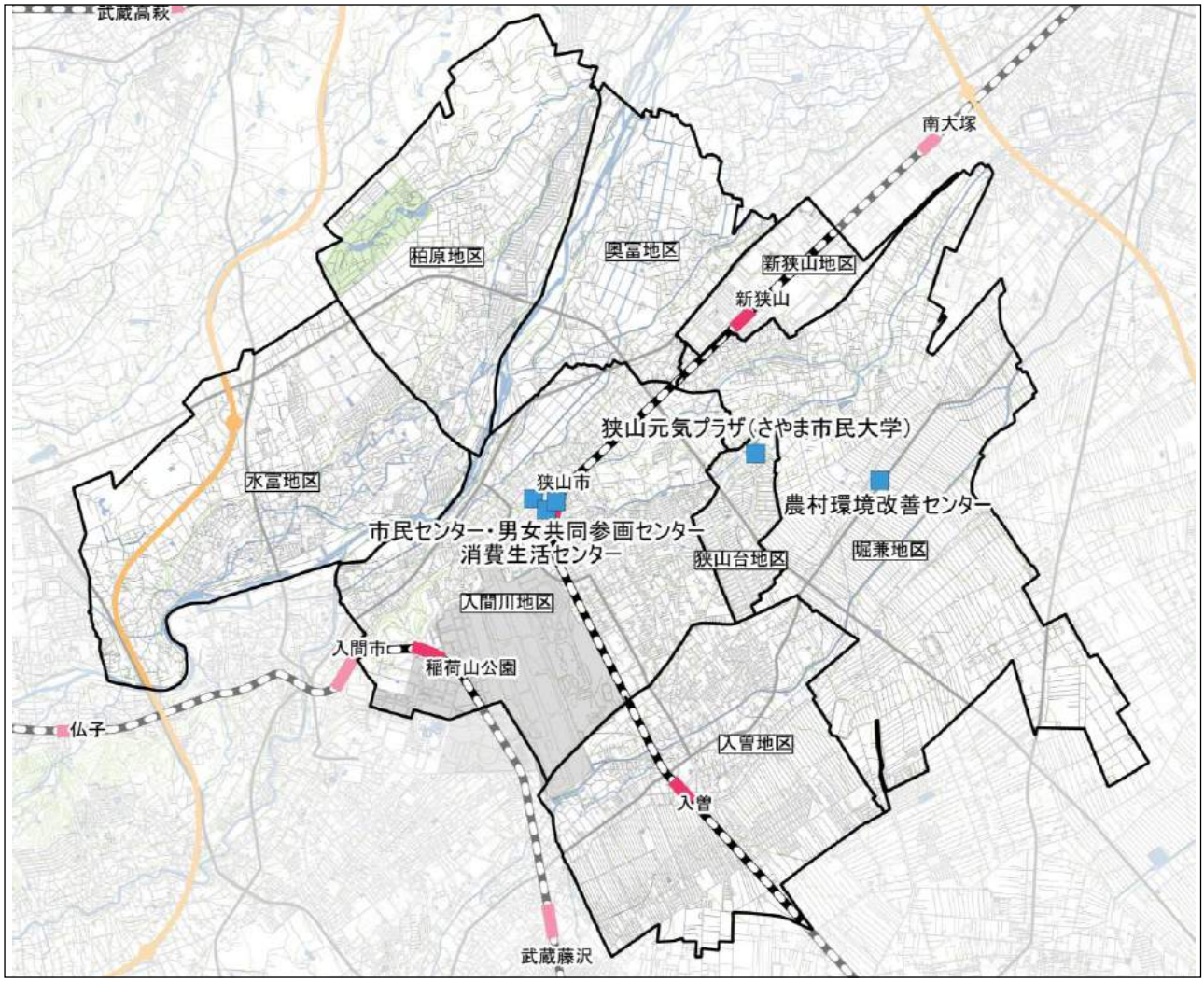
図表　施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年度）	構造（主たる建物）	複合・併設施設				土地所有	備考
						校舎	シルバー人材センター	体育館	その他		
入間川	1 市民センター	入間川 1-3-1	3,296.57	平成24	鉄骨鉄筋コンクリート				●	市	中央公民館ほか
狭山台	2 狭山元気プラザ（さやま市民大学）	狭山台 1-21	4,362.38	昭和49	鉄筋コンクリート	●（さやま市民大学）	●	●	●	市	ちゃきちゃき倶楽部ほか
堀兼	3 農村環境改善センター	堀兼 360	1,745.89	昭和59	鉄筋コンクリート					市	
入間川	4 男女共同参画センター	入間川 1-3-1	87.00	平成24	鉄骨鉄筋コンクリート				●	市	市民交流センター
入間川	5 消費生活センター	入間川 2-2-25	384.00	昭和46	鉄筋コンクリート				●	市	中央図書館
合計			9,875.84								

※　　：築 30 年以上施設

②　配置状況

図表　市民活動施設位置図



③　開館日・開館時間

名称	休館日	開館時間
市民センター	年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）	午前 9 時～午後 10 時
狭山元気プラザ（さやま市民大学）	日曜日 祝日 年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）	
農村環境改善センター	毎月第 1・3 火曜日 年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）	
男女共同参画センター	土日 祝日 年末年始	午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分
消費生活センター		午前 9 時 30 分～午後 4 時（相談時間）

④　事業内容

名称	事業内容
市民センター	個人の学習から団体の交流まで幅広い市民活動を支援しています。また、市民交流センターの総合案内としての役割を持ち、サービスや情報提供を行っています。
狭山元気プラザ（さやま市民大学）	6 つそれぞれの事業が連携をとり、「若者から高齢者まで、様々な世代が集い、様々な学び、交流、活動等を通じて、元気な狭山を発信する拠点」として活用されています。 ・さやま市民大学 ・狭山台地区センター別室 ・狭山市通所型介護予防事業「元気アップ教室ちゃきちゃき倶楽部・狭山台」 ・狭山市身体障害者地域活動支援事業「工房・夢来夢来」 ・公益社団法人狭山市シルバー人材センター ・一般社団法人狭山医師会立狭山准看護学校
農村環境改善センター	市の農業振興と市民のコミュニケーションの場として、さまざまな活動や諸行事の場を提供しています。
男女共同参画センター	男女共同参画セミナーや講座などの開催のほか、男女共同参画についての啓発・情報収集等を行っています。
消費生活センター	消費生活に関連する契約についてのトラブル、購入した商品についての苦情等の他、疑問に思っていることの問い合わせなどを受け付けています。専門の相談員が自主交渉の助言や各種情報の提供をおこないますが、悪質な商法等においては、相談員や弁護士が対応を行います。また、必要に応じて商品テストを関係機関に依頼し原因の究明を行います。

⑤　予約方法・使用料金等

名称	諸室	方法
市民センター	コミュニティホール	1．予約・抽選申込み（抽選申込み　毎月１日～7 日） 2．抽選（抽選実施　　毎月８日） 3．利用内容の審査・確認
	研修室・会議室・音楽スタジオ・遊戯スペース	1．「公共施設予約サービス」への登録 2．予約・抽選申込み（抽選申込み　毎月１日～10 日） 3．抽選・処理（毎月 11 日～12 日）
狭山元気プラザ（さやま市民大学）	・さやま市民大学事業や、さやま市民大学事業と連携した事業、修了生団体等に利用は限られます。団体として利用する場合は事前に審査、登録が必要。 ・さやま市民大学の受講生は、前期と後期に募集している。	
農村環境改善センター	・農業者団体は利用月の２ヶ月前の１日から申請、その他の団体は１ヶ月前の１日からの申請。 ・初めて利用する団体は、初めに登録が必要。 ・準備・片づけも利用時間に含まれる。 ・使用料は、利用許可申請時に納付。 ・施設の管理運営上利用できない場合を除き、既納の使用料は還付できない。	

※男女共同参画センター、消費生活センターは、予約の必要はありません。

■　使用料金

【市民センター】　（円）

利用形態		利用区分					
		午前９時～午前 11 時	午前 11 時～午後１時	午後１時～午後３時	午後３時～午後５時	午後５時～午後７時	午後７時～午後 10 時
研修室	市内利用者	600	600	600	600	600	900
	市外利用者	900	900	900	900	900	1,350
会議室	市内利用者	200	200	200	200	200	300
	市外利用者	300	300	300	300	300	450
音楽スタジオ	市内利用者	400	400	400	400	400	600
	市外利用者	600	600	600	600	600	900
遊戯スペース	市内利用者	250	250	250	250	250	400
	市外利用者	370	370	370	370	370	600

※市内利用者：狭山市・所沢市・飯能市・入間市に住所を有する方

※市外利用者：狭山市・所沢市・飯能市・入間市に住所を有しない方

※遊戯スペースは、専用して使用する場合以外は、無料開放。

※利用時間は、搬入・準備・片づけ・搬出・清掃の時間も含む。

【農村環境改善センター】　（円）

施設の名称	午前９時から午前 11 時	午前 11 時から午後１時	午後１時から午後３時	午後３時から午後５時	午後５時から午後７時	午後７時から午後 10 時
多目的ホール	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	2,100
会議室	700	700	700	700	700	1,000
食品加工料理実習室	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,600
生活改善実習室 30 畳	800	800	800	800	800	1,200
生活改善実習室 15 畳	400	400	400	400	400	600
農事研修室	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,800

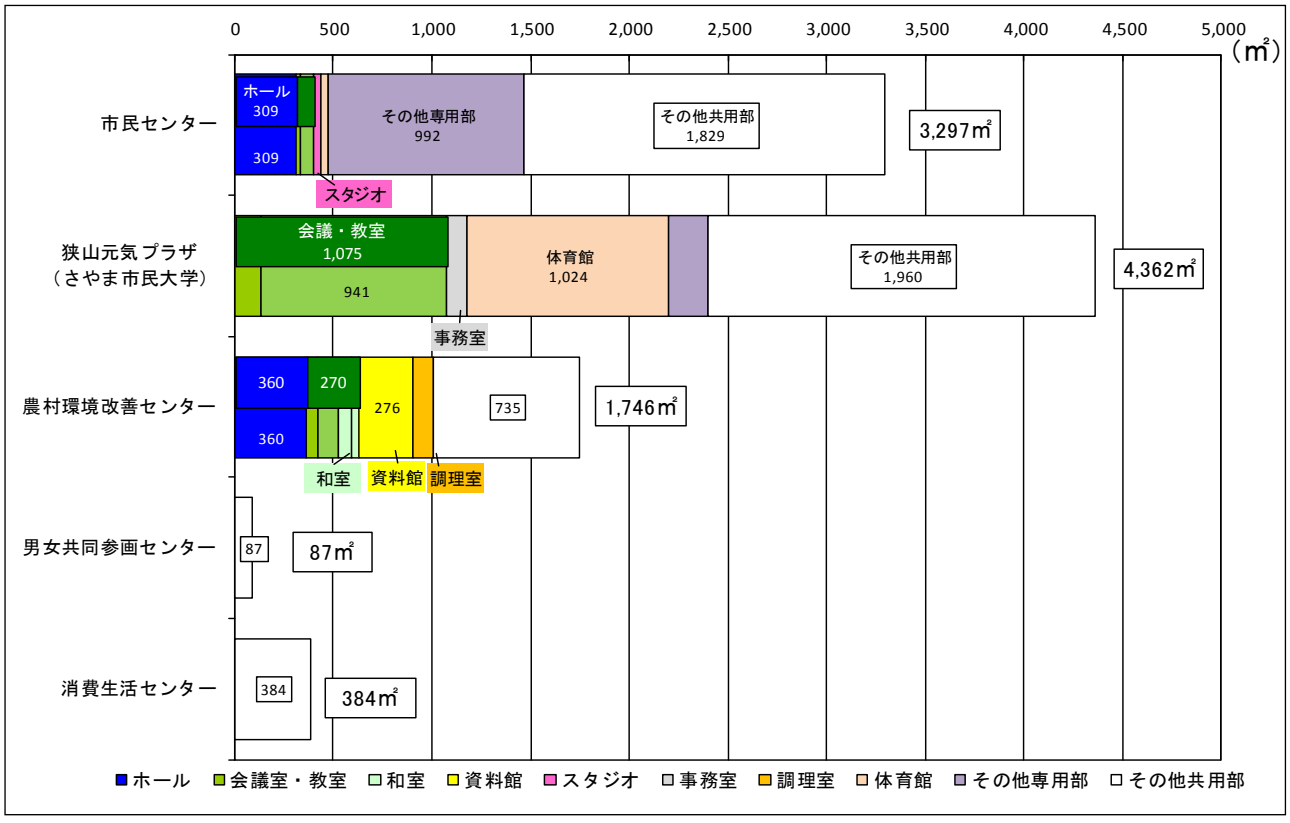
※狭山元気プラザ（さやま市民大学）、男女共同参画センター、消費生活センターに貸出施設はありません。

⑥　スペース構成

市民活動施設が保有する主なスペースは、会議・集会機能として会議室・研修室・和室などを保有しています。

その他の保有スペースでは、市民センターは展示室やホールとして活用できるコミュニティホールのほか、スタジオを、狭山元気プラザ（さやま市民大学）は体育館を、農村環境改善センターは展示室や調理室を保有しています。

図表　スペース構成



（出典）平成 26 年度公共施設現況調査

※男女共同参画センターは、市民センターの会議室・研修室等を共有します。

２）実態把握

①　建物状況

■ 市民活動施設の建物総合評価結果

市民活動施設５施設の建物状況について、「第３章 ２公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

No.	施設名	基本情報 建築年度	基本情報 延床面積（㎡）	①耐震化 耐震診断・耐震改修	②老朽化 築年数	②老朽化 直近の大規模改修	②老朽化 築年数または直近の大規模改修後経過年数	③劣化状況 劣化問診票回答評価	④バリアフリー対応 段差なし	案内施設・案内所	エレベーター	※1 車椅子対応トイレ	障がい者用駐車場	授乳室・ベビーシート	⑤環境対応 自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	⑥維持管理 維持管理費（千円） 光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	床面積当たり（円/㎡） 光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	市民センター	平成24	3,297	－	3		3	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	指定管理委託料に含まれているので対象外とする					
2	狭山元気プラザ（さやま市民大学）	昭和49	4,362	－	41		41	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	5,124	14,327	1,516	1,175	3,285	348
3	農村環境改善センター	昭和59	1,746	－	31		31	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2,230	4,807	1,130	1,277	2,753	647
4	男女共同参画センター	平成24	87	－	3		3	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	－	－	－	－	－	－
5	消費生活センター	昭和46	384	○	44	昭和62	28	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	1,216	3,696	36	3,167	9,625	94
	合計・平均		9,876															8,570	22,830	2,682	1,320	3,517	413

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

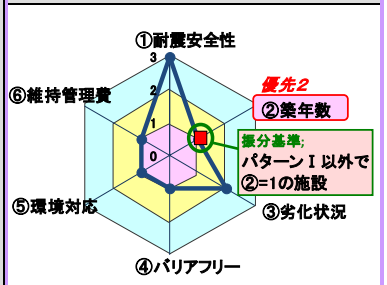
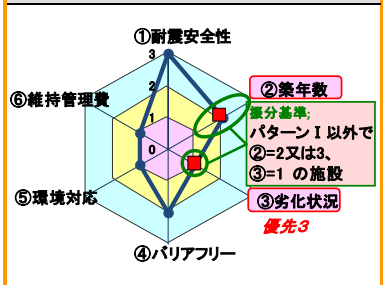
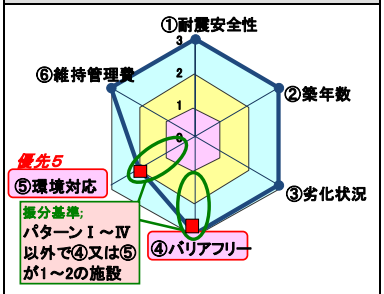
：床面積当たり（円/㎡）の平均値
（床面積当たりの平均値＝それぞれの費用の合計/延床面積の合計）

：平均値の1.4倍以上

①④⑤の凡例
○：実施済み
△：対策中
×：未実施
―：不要

③の凡例
○：劣化がみられないもの
△：一部に劣化がみられるもの・不明
×：屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

狭山元気プラザ（さやま市民大学）・農村環境改善センターは築 30 年以上が経過しており、大規模改修などの対応が必要となっています。消費生活センターは外壁・屋根などの重要な部位に修繕の必要な劣化がみられ、早期の対応が必要です。市民センター・男女共同参画センターは環境対応について、さらなる計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。

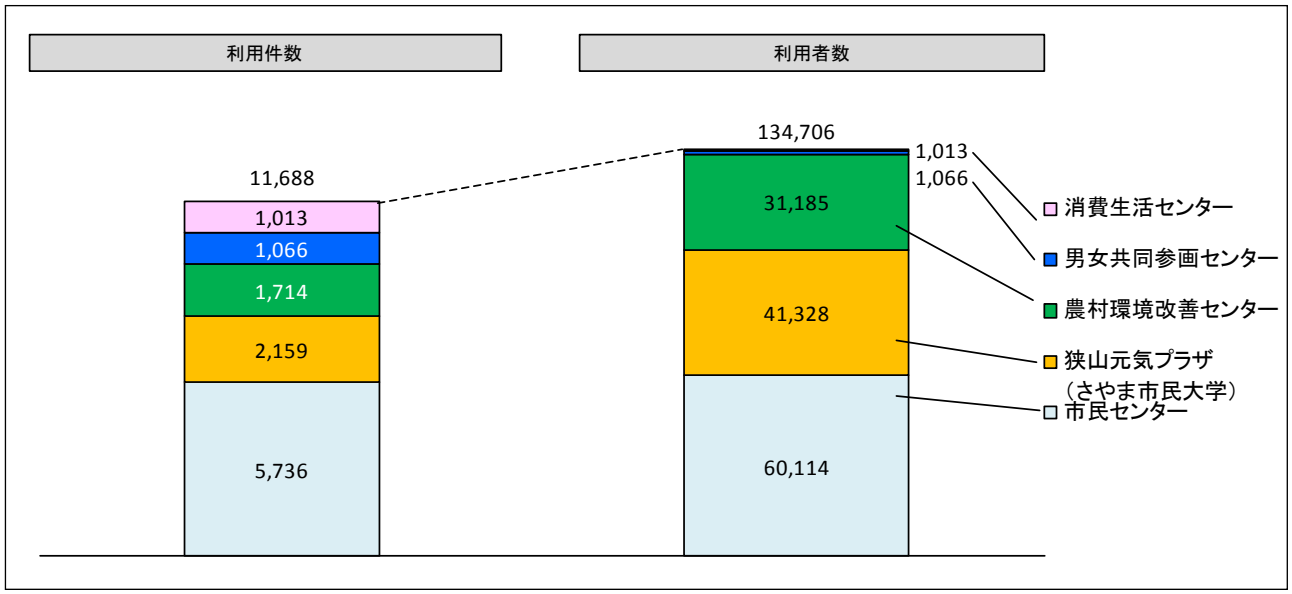
評価	パターンⅡ 老朽化	パターンⅢ 劣化対策	パターンⅤ 環境対応
	・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修 などの老朽化対策の検討が必要な施設	・重要部位に修繕の必要な劣化 ⇒早期に劣化部位の修繕・改修が必要な施設	・環境対応が未完了 ⇒今後、環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設
			
該当施設	該当施設 / 建築年度 狭山元気プラザ（さやま市民大学） 昭和49 農村環境改善センター 昭和59 ＜ 2 施設 ＞	該当施設 / 建築年度 消費生活センター 昭和46 ＜ 1 施設 ＞	該当施設 / 建築年度 市民センター 平成24 男女共同参画センター 平成24 ＜ 2 施設 ＞
コメント	・耐震安全性については問題ありませんが、築30年以上と老朽化がかなり進行しているので、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。	・耐震性や老朽化の面では緊急な状況にはないが、外壁・屋根などの重要な部位に修繕の必要な劣化がみられ、早期の対策が必要です。	・比較的新しい施設ですが、環境対応について、さらなる計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。

② 利用状況

■ 全体の利用状況

市民活動施設５施設の全体利用件数は１万 1,688 件、利用者数は 13 万 4,706 人です。

図表　年間利用件数・利用者数（平成 26 年度）

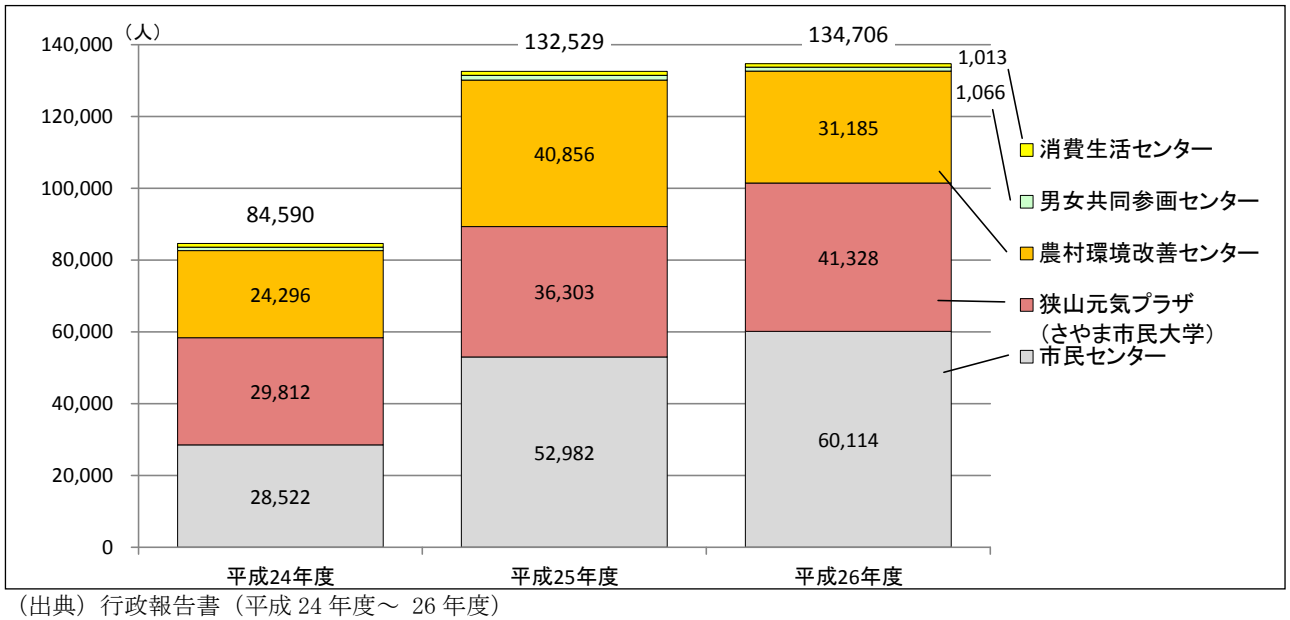


（出典）行政報告書（平成 26 年度）、平成 26 年度公共施設現況調査

■ 利用推移

利用者数の推移は、平成 24 から 26 年度にかけて８万人から 13 万人に増加傾向にあります。市民センターは、平成 24 年度の３万人から平成 25 年度の５万人に増加しています。

図表　利用者数の推移



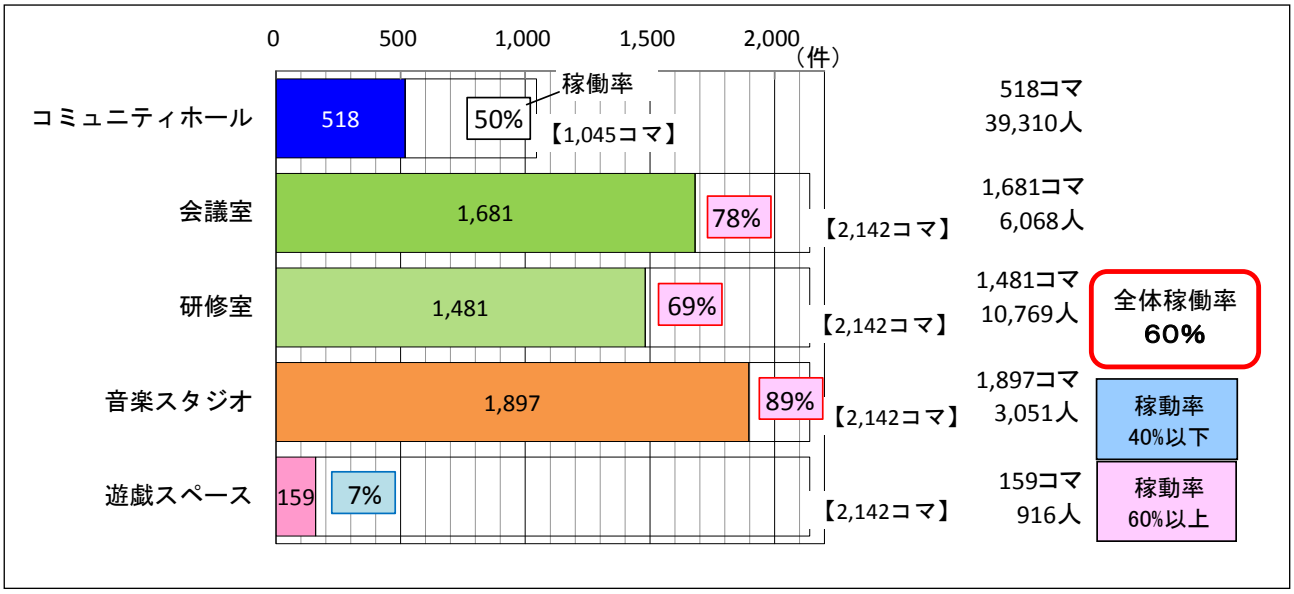
（出典）行政報告書（平成 24 年度～ 26 年度）

※平成 25 年度の農村環境改善センターについては、隣接する堀兼公民館の耐震補強工事期間中の代替施設となったことから、利用者数が例年よりも多くなっています。

■ 市民センター　利用状況

市民センターの稼働率は、施設全体で 60%です。遊戯スペースを除く部屋では、コミュニティホールが 50%、会議室が 78%、研修室等は 69%、音楽スタジオは 89%と高い稼働率となっています。遊戯スペースの稼働率は 7%となっています。

図表　部屋別稼働率（平成 26 年度）



（出典）行政報告書（平成 26 年度）、利用状況明細書（平成 26 年度）

■ 市民センター　主催事業

市民センターの主催事業では、入場者数が年間 5,660 人となっています。「たなばたまつりイベント（わくわくすぺ～す☆たなばた）」が 1,230 人と最も多くなっています。

図表　主催事業

事業名	入場者数	入場料等
映画会	331 人	無料　２回上映
こころポカポカ親子コンサート	163 人	無料
たなばたまつりイベント （わくわくすぺ～す☆たなばた）	1,230 人	無料　２日間開催
迷路絵本作家　香川元太郎原画展	1,072 人	無料　６日間開催
さやま市民センター寄席	221 人	有料　500 円
栗コーダーカルテットコンサート	231 人	有料　500 円
茶々フェスタ	450 人	無料
クリスマスコンサート	214 人	有料　500 円
キャラクターショー （仮面ライダードライブショー）	559 人	無料　２回公演
市民参加イベント 2015 春	1,189 人	無料
合計	5,660 人	-

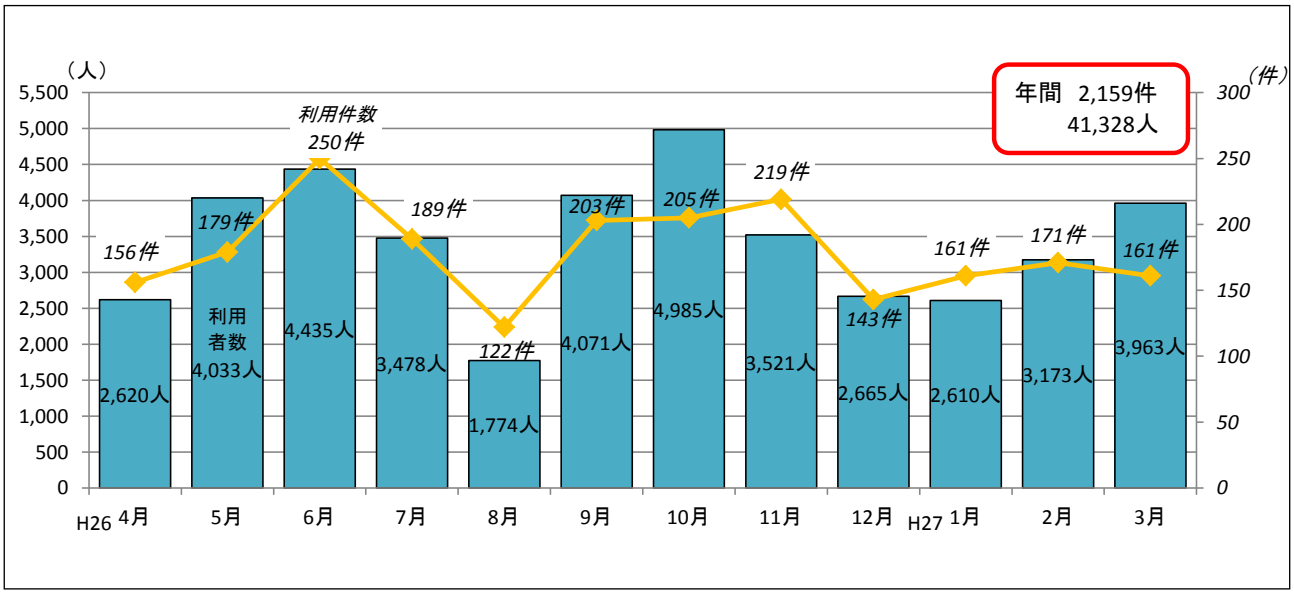
（出典）行政報告書（平成 26 年度）

■ 狭山元気プラザ（さやま市民大学エリア） 利用状況

狭山元気プラザの入居施設のさやま市民大学では、年間利用件数が2,159件となっています。月別利用件数では、８月の 122 件から６月の 250 件の間で推移しています。

年間利用者数は４万 1,328 人となっています。月別利用者数では、８月の 1,774 人から 10 月の 4,985 人の間で推移しています。

図表 さやま市民大学エリア 月別利用件数・利用者数

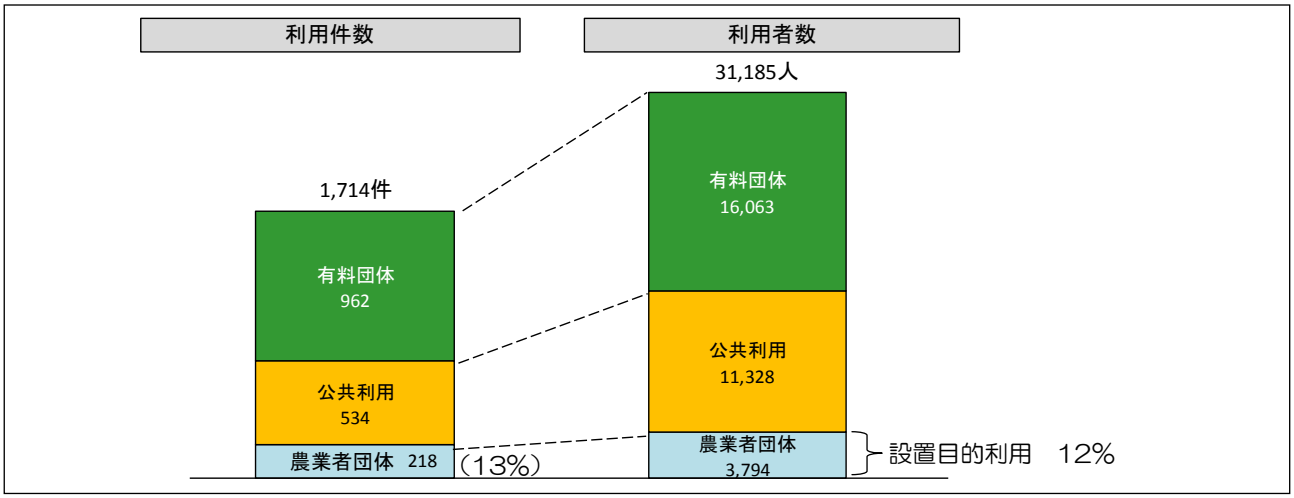


（出典）行政報告書（平成 26 年度）

■ 農村環境改善センター 利用状況

農村環境改善センターの利用状況は、有料団体の利用件数が 962 件、利用者数が１万 6,063 人となっています。団体利用件数の割合は、有料団体が 56.1%、公共利用が 31.1%、農業者団体（設置目的利用）が 12.7%です。

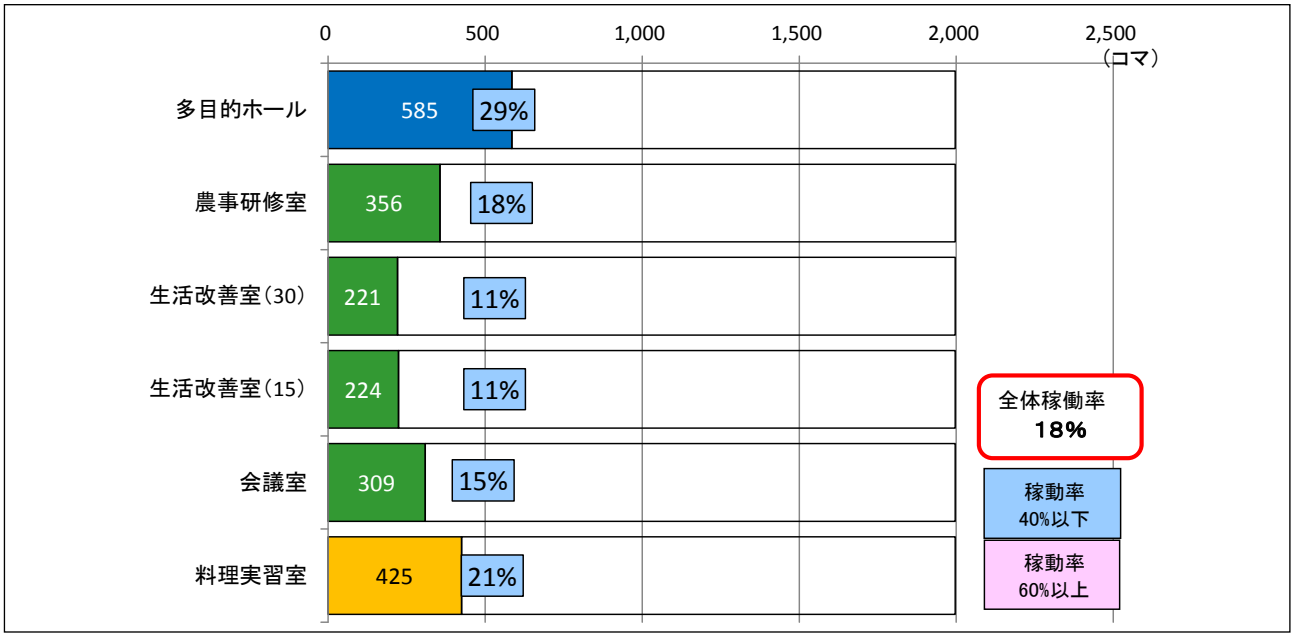
図表 利用状況



■　農村環境改善センター　利用状況

農村環境改善センターの稼働率は、施設全体で約 18%です。多目的ホールは約 29%、料理実習室は約 21%、その他の部屋は約 20%以下となっています。

図表　部屋別稼働率



（出典）平成 26 年度受付台帳

■　男女共同参画センター　利用状況

男女共同参画センターの主催事業では、年間参加者数が 351 人です。男女共同参画講演会「男も出番！介護が変わる」が 80 人と最も多くなっています。

図表　主催事業

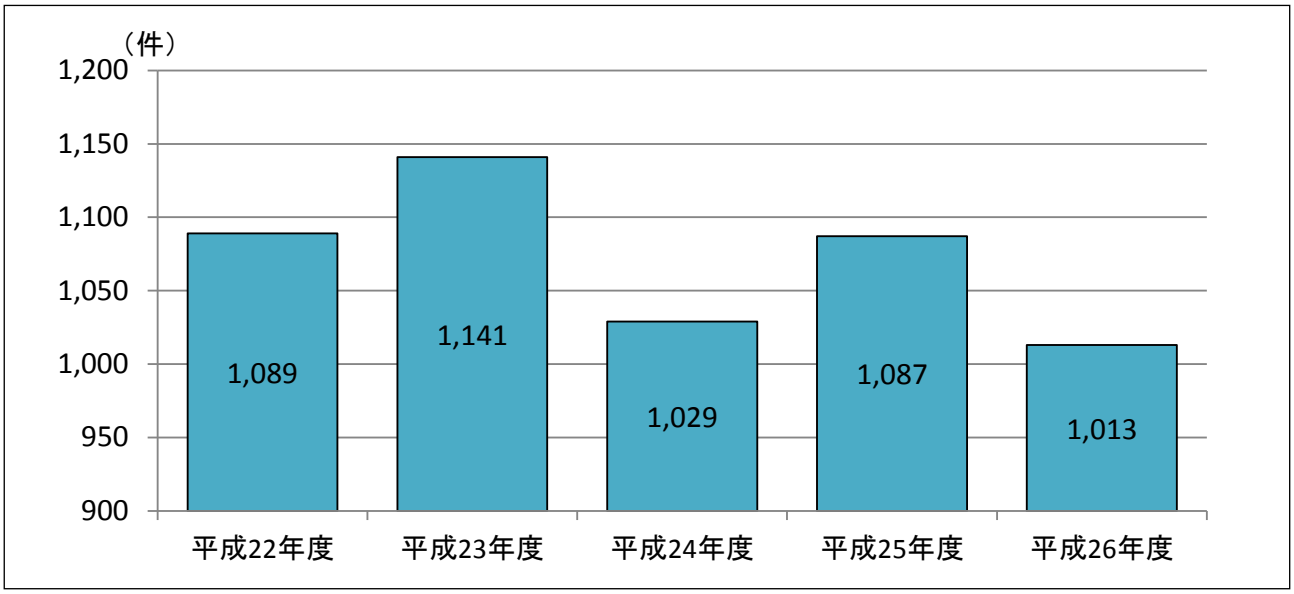
事業名	参加者数
パパとチャレンジクッキング	17
映画会「生き抜く　南三陸町　人々の一年」	9
女の子のためのサイエンス教室～身のまわりの音を調べてみよう♪～	13
女性就職支援セミナー【主催：埼玉県、共催：ダイヤ４市】	5
狭山市開催講座：子どもの居場所づくりコース（全２回）	3
在宅ワークセミナー（入門編）	49
男性料理教室～日曜夕飯のおかずづくり～（全２回）	13
	14
男女共同参画講座～パパのための地域支援交流会～	51
女性リーダー養成のためのステップ・アップ・セミナー（全４回）	16
①男女がともに輝く☆社会	14
②ココロが楽になるコミュニケーション術（1）	16
③ココロが楽になるコミュニケーション術（2）	11
④輝く☆女性ライフ講座～女性のカラダのメカニズム	
女性のための再就職セミナー　～あなたの魅力と仕事再発見～	18
男女共同参画セミナー（職員研修）「女性職員のステップアップセミナー」	22
男女共同参画講演会「男も出番！介護が変わる」	80
参加者数合計	351

（出典）行政報告書（平成 26 年度）

■　消費生活センター　利用状況

消費生活センターの年度別相談・苦情件数は、平成 26 年度の 1,013 件から平成 23 年度の 1,141 件の間で推移しています。

図表　年度別相談・苦情件数の推移



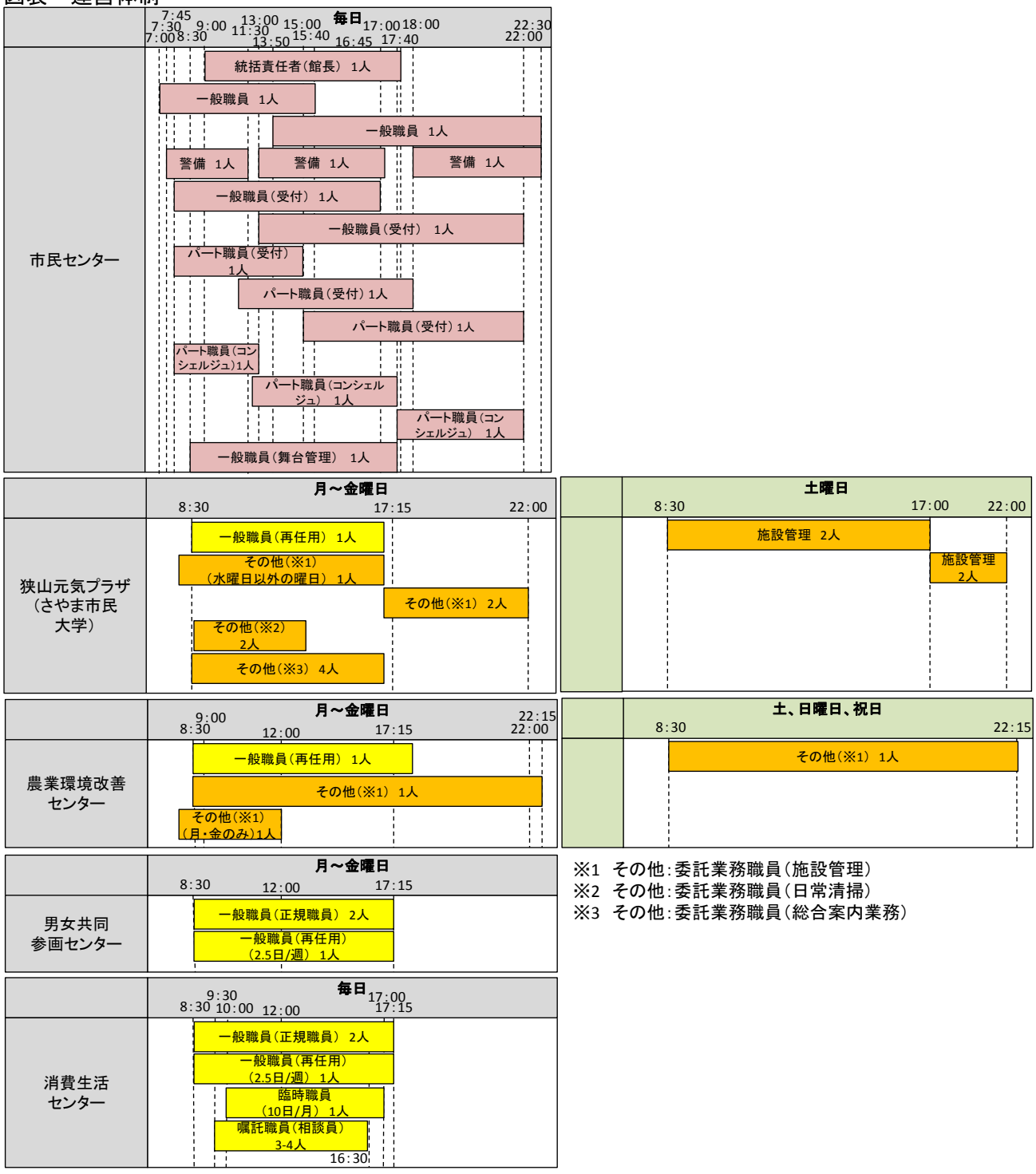
（出典）行政報告書（平成 22 年度～26 年度）

③ 運営状況

運営体制をみると、市民センターは指定管理者の統括責任者、一般職員、警備、パート職員が時間帯によって人員配置されています。

その他の施設は市の直営となっており、正規職員・再任用の一般職員、委託業務職員で人員配置されています。また、決まった曜日や日数のみ従事している職員もいます。

図表　運営体制



※1　その他：委託業務職員（施設管理）
※2　その他：委託業務職員（日常清掃）
※3　その他：委託業務職員（総合案内業務）

④ コスト状況

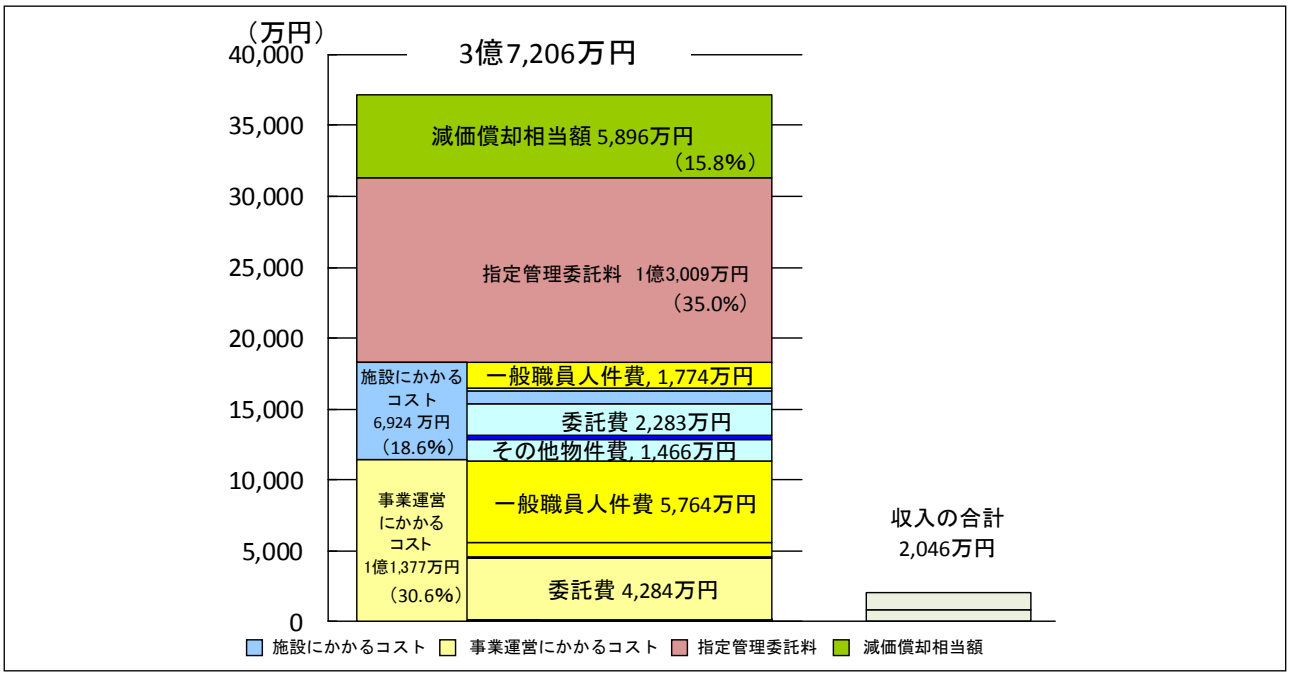
市民活動施設の５施設の年間トータルコストは、３億 7,206 万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（委託費等）は 6,924 万円（約 19%）、事業運営にかかるコスト（人件費等）は１億 1,377 万円（約 31%）となっています。指定管理委託料は１億 3,009 万円で、トータルコストの約 35%を占めています。

図表　施設別行政コスト計算書（平成 26 年度）

（円）

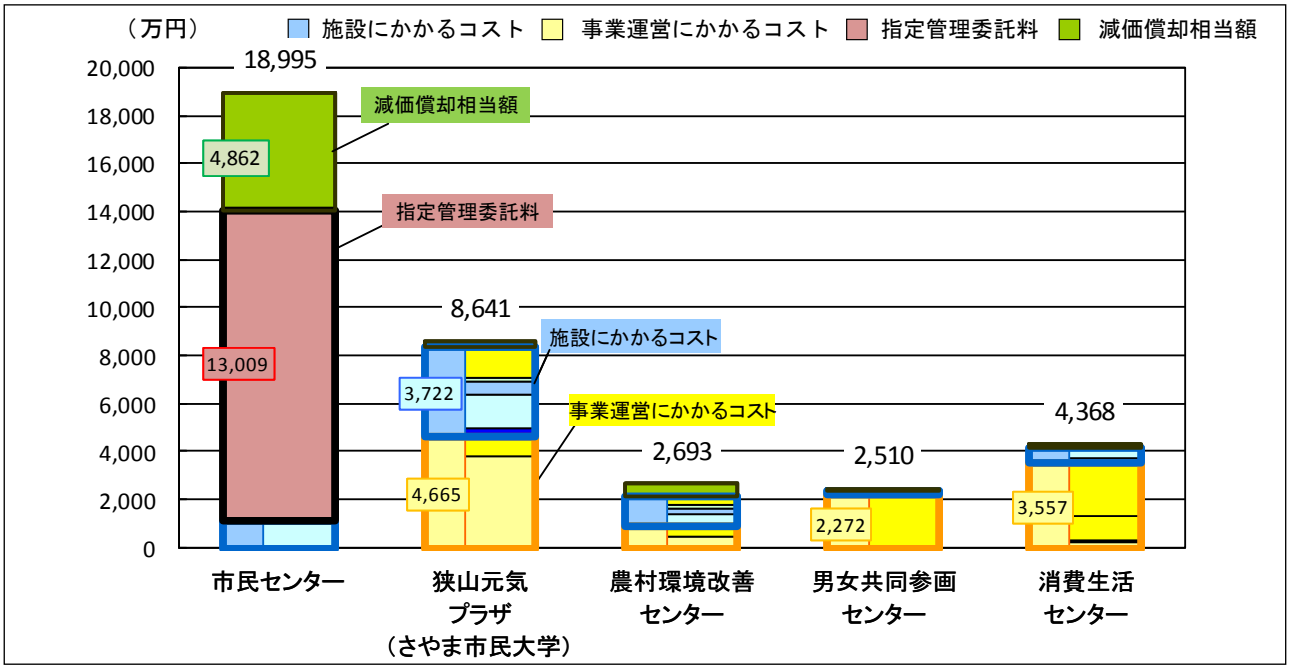
Ⅰ.現金収支を伴うもの 【コストの部】		市民センター	狭山元気プラザ（さやま市民大学）	農村環境改善センター	男女共同参画センター	消費生活センター	合計
施設にかかるコスト	一般職員人件費	0	13,301,820	4,433,940	0	0	17,735,760
	修繕費	0	1,515,712	1,130,047	0	35,856	2,681,615
	光熱水費	0	5,124,125	2,230,384	0	1,215,917	8,570,426
	委託費	0	14,327,459	4,806,864	0	3,696,488	22,830,811
	使用料及び賃借料	0	2,298,317	205,313	24,444	232,788	2,760,862
	その他物件費	11,231,358	649,052	315,552	1,071,063	1,393,641	14,660,666
	施設にかかるコスト	11,231,358	37,216,485	13,122,100	1,095,507	6,574,690	69,240,140
事業運営にかかるコスト	事業運営 一般職員人件費	0	8,867,880	4,433,940	22,169,700	22,169,700	57,641,220
	事業運営 嘱託職員人件費	0	0	0	0	10,706,500	10,706,500
	事業運営 その他人件費	0	0	0	0	758,920	758,920
	事業運営 委託費	0	37,056,000	4,225,960	180,000	1,375,800	42,837,760
	事業運営 負担金補助及び交付金	0	0	0	3,500	125,000	128,500
	事業運営 その他物件費	0	730,000	165,150	315,693	295,470	1,506,313
	事業運営	0	46,653,880	8,825,050	22,668,893	35,431,390	113,579,213
	事務・庶務 その他物件費	0	0	0	47,864	140,320	188,184
	事務・庶務	0	0	0	47,864	140,320	188,184
	事業運営にかかるコスト	0	46,653,880	8,825,050	22,716,757	35,571,710	113,767,397
指定管理委託料		130,093,000	0	0	0	0	130,093,000
現金収支を伴うコスト　計		141,324,358	83,870,365	21,947,150	23,812,264	42,146,400	313,100,537
【収入の部】							
収入	使用料収入	6,652,580	0	1,206,700	0	0	7,859,280
	諸収入	611,798	11,980,635	6,000	0	0	12,598,433
収入の合計		7,264,378	11,980,635	1,212,700	0	0	20,457,713
Ⅱ.現金収支を伴わないもの							
コスト	減価償却相当額	48,620,754	2,543,247	4,985,129	1,283,154	1,529,716	58,962,000
Ⅲ.総括							
コストの部合計（トータルコスト）		189,945,112	86,413,612	26,932,279	25,095,418	43,676,116	372,062,537
収支差額（ネットコスト）		182,680,734	74,432,977	25,719,579	25,095,418	43,676,116	351,604,824

図表　市民活動施設　全施設トータルコスト（平成 26 年度）



施設別トータルコストでは、市民センターは 1 億 8,995 万円、その他市民活動施設は男女共同参画センターの 2,510 万円から狭山元気プラザ（さやま市民大学）の 8,641 万円となっています。

図表　市民活動施設　施設別トータルコスト（平成 26 年度）

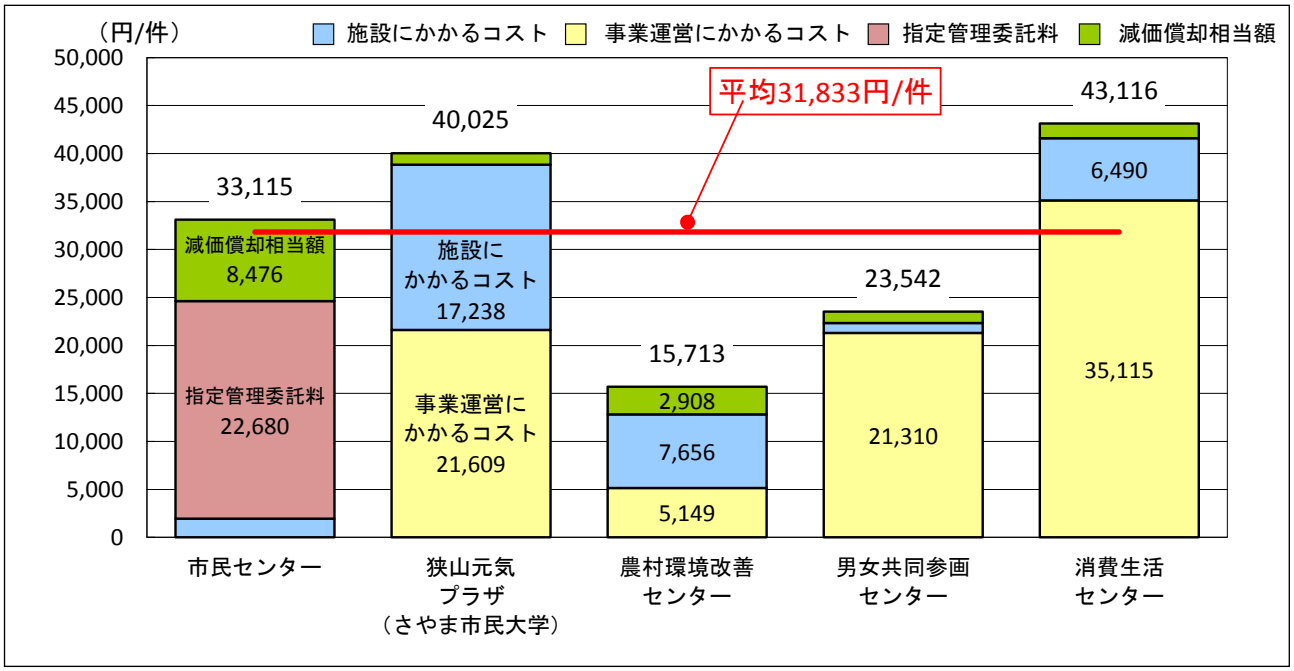


３）評価・分析

■　利用１件当たりのコスト

年間利用件数とトータルコストから、利用１件当たりにかかるコストを算出すると、農村環境改善センターの１万5,713円/件から消費生活センターの４万3,116円/件となっています。なお、５施設の平均は３万1,833円/件です。

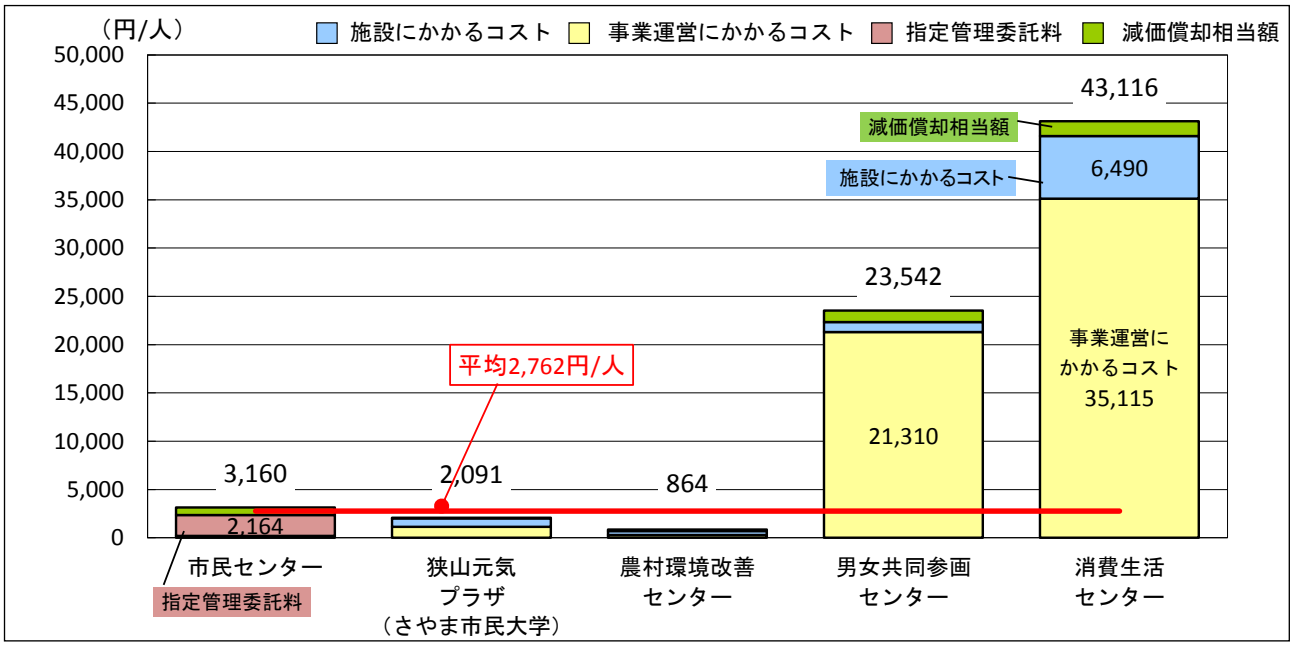
図表　施設別　利用１件当たりコスト



■　利用者１人当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから、利用者１人当たりにかかるコストを算出すると、農村環境改善センターの864円/人から消費生活センターの４万3,116円/人となっています。なお、５施設の平均は2,762円/人です。

図表　施設別　利用者１人当たりコスト



4）実態のまとめ

■ 建物面

- 狭山元気プラザ（さやま市民大学）は、小学校を改修した施設で築 41 年が経過しており、屋根、外壁、サッシ、トイレ等の劣化が見られ、大規模な改修が必要となっています。
- 農村環境改善センターは、平成 28 年度で屋上防水及び外壁の工事をする予定が先送りになっており、大規模改修等の対応について検討する必要があります。
- 消費生活センターは、大規模改修実施済みですが、改修後 20 年以上が経過しているため、ハロン消化設備の更新と屋上防水修繕が必要となっています。

■ 利用・運営面

- 市民センターは、施設全体の稼働率が約 60%で、特に、会議室や研修室、音楽室の稼働率が高くなっています。
- 狭山元気プラザ（さやま市民大学）は、小学校から転用する際の建築審査会等の制約があるため、利用者が限定されており、幅広い利用ができないなどの課題があります。
- 農村環境改善センターは、設置目的利用である農業者団体の利用が全体の約 12%となっており、設置目的と実際の利用実態にかい離がみられます。部屋や施設設備が時代にあった造りになっておらず、利用しにくいため稼働率も約 18%と低い状況です。資料館については、利用が年に 10 回程度と低く、施設のあり方について検討する必要があります。
- 消費生活センターは、相談等の事業を行っていますが、複合施設の図書館の休館日（月曜日）のトラブル対応や防犯面について、対策が必要です。

■ コスト面

- 市民センターの維持管理・運営にかかるコストのうち、大半は指定管理委託料となっています。
- 狭山元気プラザ（さやま市民大学）は、規模が大きい施設のため維持管理費が多額となっています。

（３）公民館

１）施設概要

①　施設一覧

本市では、地域住民の「学びの場」、「創造の場」、「集いの場」として利用することができる施設として、公民館を 11 施設保有しています。

中央公民館は市民センター等との複合、水野公民館は児童館等との複合、新狭山公民館は新狭山幼稚園との複合・富士見公民館を除く７館は、地区センター・サービスコーナーとの複合施設となっています※。

設置目的：社会教育法第 20 条に基づき、教育・芸術・文化に関する各種事業を行い、地域住民の教養の向上、健康増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

図表　施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年度）	構造（主たる建物）	複合施設	土地所有
入間川	1 中央公民館	入間川 1-3-1	1,037.03	平成24	鉄骨鉄筋コンクリート	市民センター等	市
入間川	2 富士見公民館	入間川 3156	1,222.00	平成4	鉄筋コンクリート		市
入曽	3 入曽公民館	南入曽 627	1,180.00	昭和48	鉄筋コンクリート	地区センター	市
入曽	4 水野公民館	水野 891-4	1,561.14	昭和63	鉄筋コンクリート	サービスコーナー 児童館等	市
堀兼	5 堀兼公民館	堀兼 361	714.00	昭和49	鉄筋コンクリート	地区センター	市
狭山台	6 狭山台公民館	狭山台 3-7-1	814.00	昭和55	鉄筋コンクリート	地区センター	市
新狭山	7 新狭山公民館	新狭山 2-17-1	602.00	昭和49	鉄筋コンクリート	幼稚園	市
奥富	8 奥富公民館	下奥富 1007-1	823.00	昭和48	鉄筋コンクリート	地区センター	市
柏原	9 柏原公民館	柏原 1154	693.00	昭和47	鉄筋コンクリート	地区センター	市
水富	10 広瀬公民館	広瀬東 3-34-1	877.00	昭和57	鉄筋コンクリート	サービスコーナー	市
水富	11 水富公民館	根岸 2-17-3	694.00	昭和48	鉄筋コンクリート	地区センター	借地
合計			10,217.17				

※　　：築 30 年以上施設

※新狭山幼稚園は、平成 26 年度末で廃園

②　配置状況

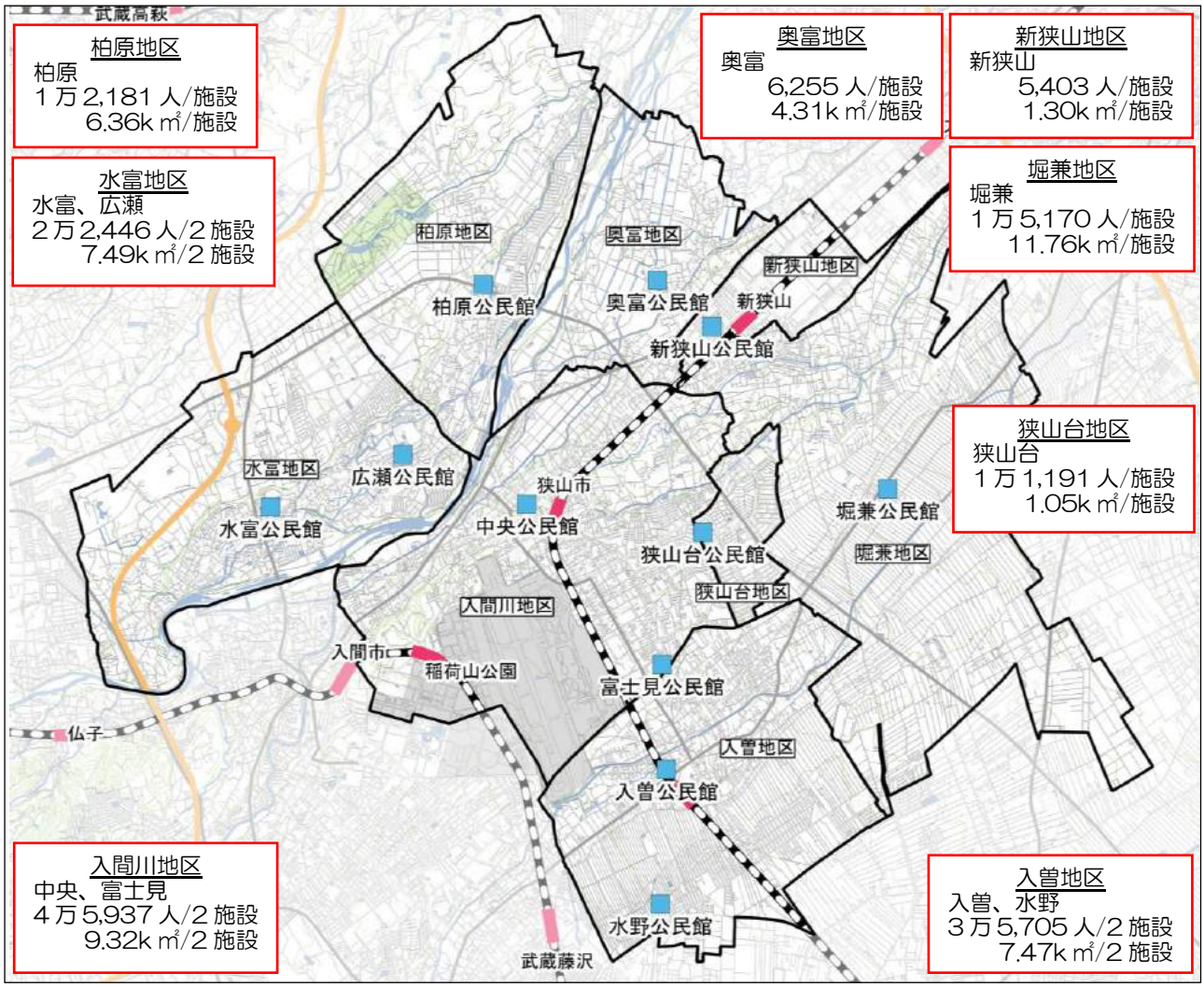
公民館は、８地区に各 1～2 施設ずつ設置されています。

各地区における、１施設当たりの面積と人口を各地区で比較すると、１施設当たりの地区面積では、狭山台地区は 1.05k ㎡/施設で最も小さく、次いで、新狭山地区の 1.30k ㎡/施設となっており、1 施設当たり地区面積が最も広い地区は、堀兼地区の 11.76k ㎡/施設となっています。

このことから、狭山台地区と新狭山地区の２地区は、他の地区と比べ、きめ細かく配置されていると言えます。

１施設当たりの地区人口は、新狭山地区が 5,403 人/施設と最も少なく、入間川地区が１施設当たり２万 2,969 人/施設と最も多くなっています。

図表　公民館位置図



③　開館日・開館時間

施設名	休館日	開館時間
中央公民館	年末年始（12 月 29 日～１月３日）	午前９時～午後 10 時
中央公民館 以外の公民館	国民の祝休日、 年末年始（12 月 28 日～１月４日）、 毎月１回の施設管理休館日	日曜日及び月曜日：午前９時～午後５時 火曜日～土曜日：午前９時～午後 10 時

④　事業内容

公民館では、「狭山市公民館基本方針・重点目標」に基づき、さまざまな講座やイベントを実施しています。また、自主的なグループ活動を支援し、人と人との交流やふれあいを深め、楽しい「仲間づくり」や「地域づくり」「まちづくり」の推進に努めています。

- 主催事業・講座（青少年/成人一般/高齢者）
- イベント（文化祭・音楽会・地区体育祭など）
- 貸館事業

⑤　利用方法・使用料金等

■　登録団体の利用

会員が自主的・主体的に組織・運営し、継続的かつ計画的に活動を行い、公民館事業や会員の新規加入など社会教育の推進に協力でき、かつ以下の項目をいずれも満たしている団体が利用できます。

- 社会教育又は生涯学習に関する活動をする団体、若しくは自治会又は地域住民の福祉の向上に寄与することを主たる目的として活動する団体。
- 団体の運営に関し、次の要件を備えていること。
  1. 団体構成員が５名以上であること。
  2. 団体として会則（規約）があり、会計経理が明確であること。
  3. 未成年で構成する団体は、成人による代表者、又は指導者がいること。（保護者、学校の承諾が必要など一定の条件があります。）

公民館を定期的に利用するには、あらかじめ利用団体としての登録が必要です。利用日の２日前までに利用許可申請を行い窓口で使用料の納入を行い、利用許可書を受理します。公共施設予約サービスを利用するには利用登録をし、利用カードの取得が必要となります。

■　登録団体以外の一時利用

２名以上の者が一時的に公民館を利用しようとする場合、利用日が属する月の初日から利用日の 10 日前までに所定の申請書により許可申請をします。

■　使用料金

各施設とも、原則として有料です。

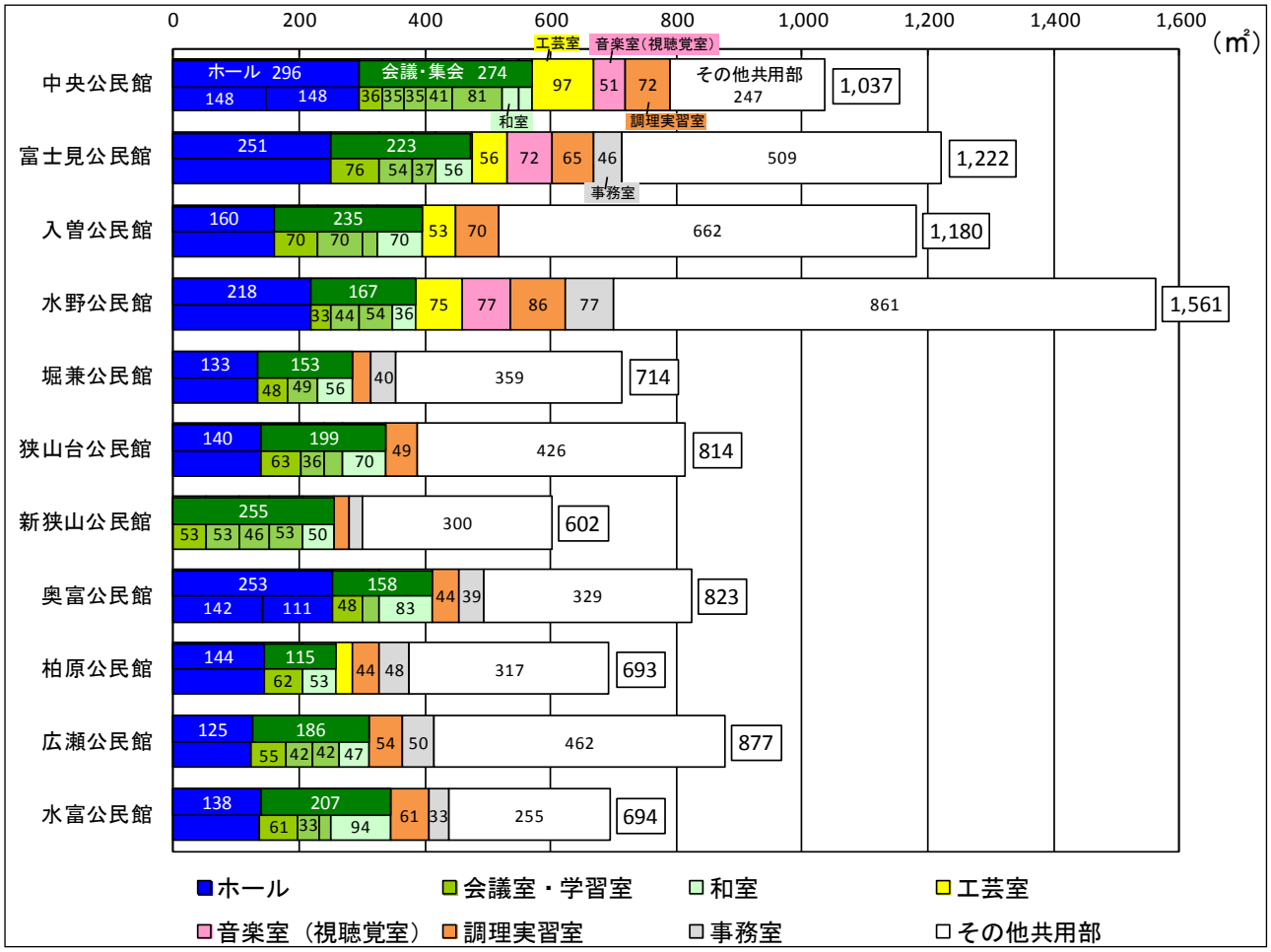
登録している社会教育団体等、利用の目的・利用団体等によっては使用料の減免制度があります。

施設の名称		使用料（単位　円）					
		午前9時から午前11時まで	午前11時から午後1時まで	午後1時から午後3時まで	午後3時から午後5時まで	午後5時から午後7時まで	午後7時から午後10時まで
中央公民館	第1学習室	200	200	200	200	200	300
	第2学習室	200	200	200	200	200	300
	第3学習室	200	200	200	200	200	300
	第4学習室	250	250	250	250	250	400
	第5学習室	500	500	500	500	500	750
	第1和室	300	300	300	300	300	450
	第2和室	400	400	400	400	400	600
	第1ホール	600	600	600	600	600	900
	第2ホール	600	600	600	600	600	900
	調理実習室	400	400	400	400	400	600
	視聴覚室	300	300	300	300	300	450
	工芸室	500	500	500	500	500	750
富士見公民館	第1学習室	400	400	400	400	400	600
	第2学習室	300	300	300	300	300	450
	会議室	200	200	200	200	200	300
	和室	300	300	300	300	300	450
	ホール	800	800	800	800	800	1,200
	調理実習室	400	400	400	400	400	600
	音楽室	400	400	400	400	400	600
	工芸室	300	300	300	300	300	450
入曽公民館	第1学習室	400	400	400	400	400	600
	第2学習室	400	400	400	400	400	600
	会議室	200	200	200	200	200	300
	和室	400	400	400	400	400	600
	ホール	650	650	650	650	650	1,000
	調理実習室	400	400	400	400	400	600
水野公民館	第1・2学習室	400	400	400	400	400	600
	第3学習室	300	300	300	300	300	450
	会議室	200	200	200	200	200	300
	和室	400	400	400	400	400	600
	ホール	700	700	700	700	700	1,050
	調理実習室	400	400	400	400	400	600
	音楽室	400	400	400	400	400	600
	工芸室	400	400	400	400	400	600
堀兼公民館	学習室	300	300	300	300	300	450
	会議室	300	300	300	300	300	450
	和室	300	300	300	300	300	450
	ホール	600	600	600	600	600	900
	調理実習室	200	200	200	200	200	300
狭山台公民館	学習室	400	400	400	400	400	600
	第1会議室	200	200	200	200	200	300
	第2会議室	200	200	200	200	200	300
	和室	400	400	400	400	400	600
	ホール	600	600	600	600	600	900
	調理実習室	300	300	300	300	300	450
新狭山公民館	会議室	300	300	300	300	300	450
	和室	300	300	300	300	300	450
	調理実習室	200	200	200	200	200	300
	ホール（全室）	700	700	700	700	700	1,050
	ホール（一室）	300	300	300	300	300	450
奥富公民館	学習室	300	300	300	300	300	450
	会議室	200	200	200	200	200	300
	和室	400	400	400	400	400	600
	ホール	600	600	600	600	600	900
	調理実習室	300	300	300	300	300	450
	多目的室	500	500	500	500	500	750
柏原公民館	学習室	300	300	300	300	300	450
	和室	300	300	300	300	300	450
	ホール	600	600	600	600	600	900
	調理実習室	200	200	200	200	200	300
	工芸室	200	200	200	200	200	300
広瀬公民館	学習室	300	300	300	300	300	450
	第1会議室	200	200	200	200	200	300
	第2会議室	200	200	200	200	200	300
	ホール	600	600	600	600	600	900
	和室	300	300	300	300	300	450
	調理実習室	300	300	300	300	300	450
水富公民館	第1学習室	300	300	300	300	300	450
	第2学習室	200	200	200	200	200	300
	会議室	200	200	200	200	200	300
	和室	300	300	300	300	300	450
	ホール	600	600	600	600	600	900
	調理実習室	200	200	200	200	200	300

⑥　スペース構成

公民館の規模は、新狭山公民館の 602 ㎡から水野公民館の 1,561 ㎡となっています。すべての公民館で、ホール（多目的室含む）を保有しています。その他の主な保有スペースは、会議・集会機能として会議室・学習室、和室、その他に調理実習室・工芸室・音楽室（視聴覚室）、事務室となっています。

図表　スペース構成



（出典）平成 26 年度公共施設現況調査

２）実態把握

①　　建物状況

■　公民館の建物総合評価結果

公民館 11 施設の建物状況について、「第３章 ２公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③劣化状況	④バリアフリー対応						⑤環境対応			⑥維持管理					
																		維持管理費（千円）			床面積当たり（円/㎡）		
		建築年度	延床面積（㎡）	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	劣化問診票回答評価	段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	車椅子対応トイレ	障がい者用駐車場	授乳室・ベビーシート	自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	中央公民館	平成24	1,037	－	3		3	○	○	○	○	○※1	○	○	×	×	○	5	925	126	5	892	122
2	富士見公民館	平成4	1,222	－	23		23	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	指定管理委託料に含まれているので対象外とする					
3	入曽公民館	昭和48	1,180	×	42		42	△	○	×	×	○	○	○	×	×	×	4,370	3,643	984	3,703	3,087	834
4	水野公民館	昭和63	1,561	－	27		27	△	○	×	○	○	○	○	×	×	×	指定管理委託料に含まれているので対象外とする					
5	堀兼公民館	昭和49	714	○	41		41	×	○	×	×	○	○	○	×	×	×	1,544	3,583	792	2,162	5,018	1,109
6	狭山台公民館	昭和55	814	－	35		35	×	○	×	×	○	○	○	×	×	×	2,614	3,309	982	3,211	4,065	1,206
7	新狭山公民館	昭和49	602	×	41		41	対象外	×	×	×	×	×	○	×	×	×	1,270	3,374	36	2,110	5,605	60
8	奥富公民館	昭和48	823	○	42		42	△	○	×	×	○	○	○	×	×	×	1,281	3,662	213	1,557	4,450	259
9	柏原公民館	昭和47	693	○	43		43	×	○	×	×	○	○	○	×	×	×	1,976	3,482	94	2,851	5,025	136
10	広瀬公民館	昭和57	877	－	33		33	×	○	×	×	○	○	○	×	×	×	指定管理委託料に含まれているので対象外とする					
11	水富公民館	昭和48	694	○	42		42	△	○	×	×	○	○	○	×	×	×	1,686	4,100	679	2,429	5,908	978
	合計・平均		10,217															14,746	26,078	3,906	1,443	2,552	382

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

：床面積当たり（円/㎡）の平均値
（床面積当たりの平均値＝それぞれの費用の合計/延床面積の合計）

：平均値の1.4倍以上

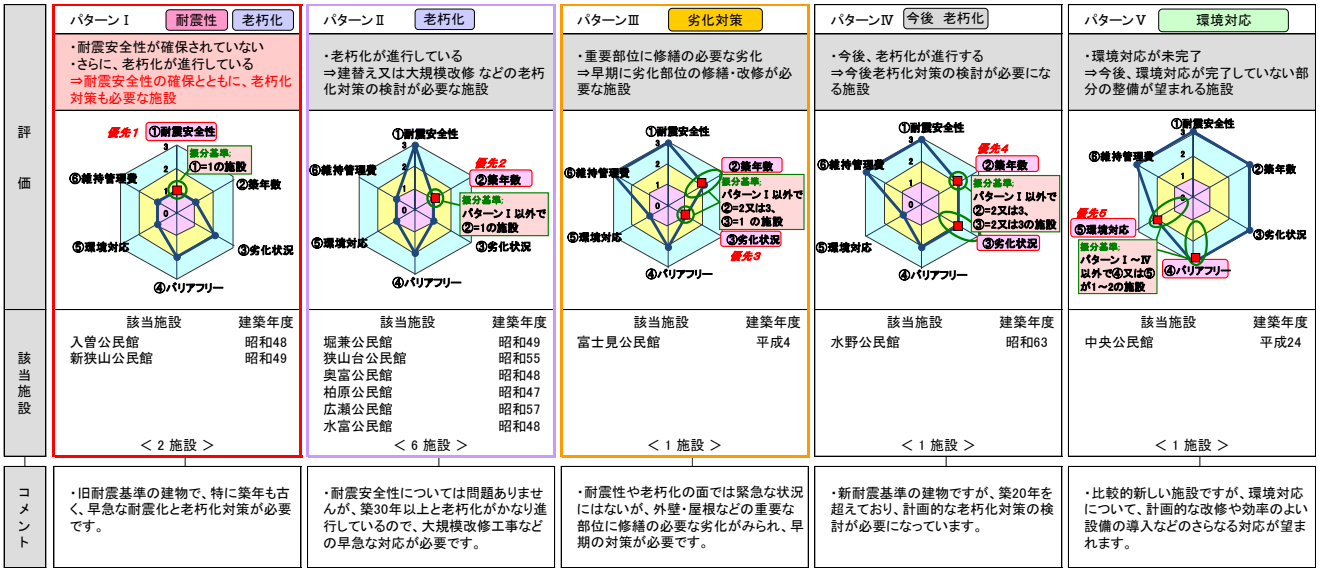
①④⑤の凡例

○	実施済み
△	対策中
×	未実施
―	不要

③の凡例

○	劣化がみられないもの
△	一部に劣化がみられるもの・不明
×	屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

入曽、新狭山公民館は特に築年も古く、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。堀兼公民館等の６施設は築 30 年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。富士見公民館は外壁・屋根などの重要な部位に修繕の必要な劣化がみられ、早期の対策が必要です。水野公民館は築 20 年以上を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。中央公民館は環境対応について、計画的な改修や効率のよい設備の導入などのさらなる対応が望まれます。



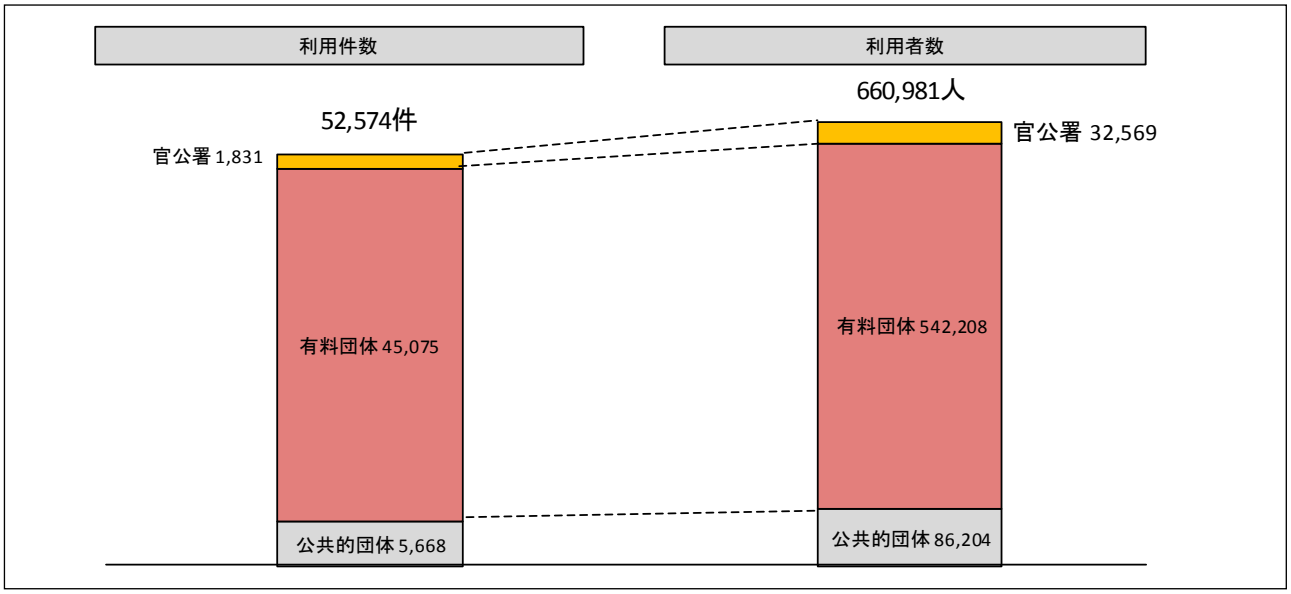
② 利用状況

■ 全体の利用状況

平成 26 年度の公民館の全体利用件数は５万 2,574 件、利用者数は 66 万 981 人です。

利用団体別の内訳をみると、有料団体利用が４万 5,075 件（約 86%）・54 万 2,208 人（約 82%）と過半を占めています。そのほか、公共的団体が 5,668 件・８万 6,204 人、官公署が 1,831 件・３万 2,569 人となっています。

図表　年間利用件数・利用者数（平成 26 年度）



（出典）行政報告書（平成 26 年度）

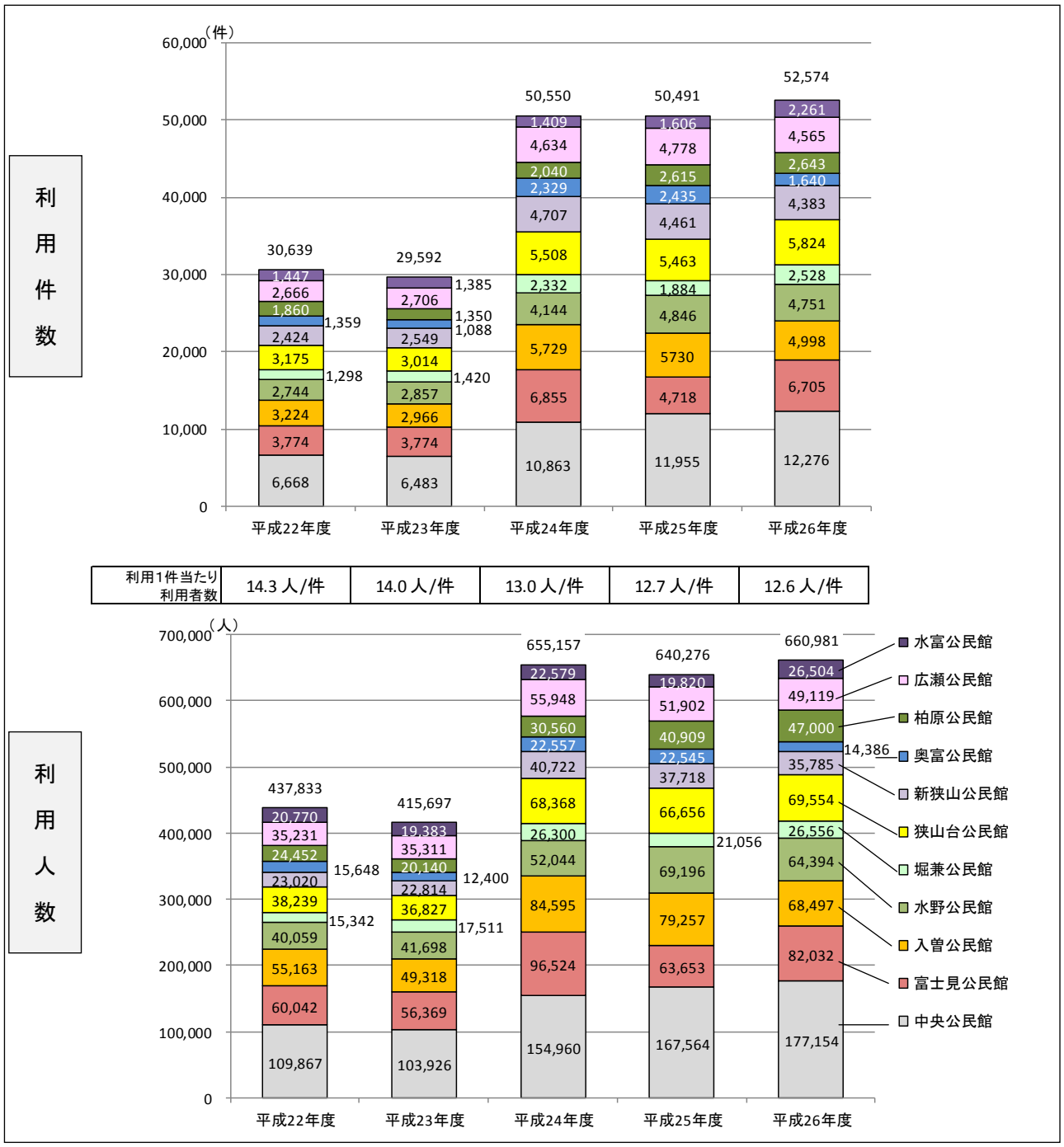
■　利用推移

利用件数の推移は、平成 22・23 年度は約３万件でしたが、平成 24 年度以降は約５万件で推移しています。

利用者数の推移は、平成 22・23 年度は 42～44 万人でしたが、平成 24 年度以降は、65 万人前後で推移しています。利用件数・利用者数は、平成 24 年度から施設の利用区分をそれまでの３区分から６区分に細分化したことにより増加したものと考えられます。

利用１件当たりの利用者数をみると、12.6 人/件から 14.3 人/件の間となっています。

図表　利用者数の推移

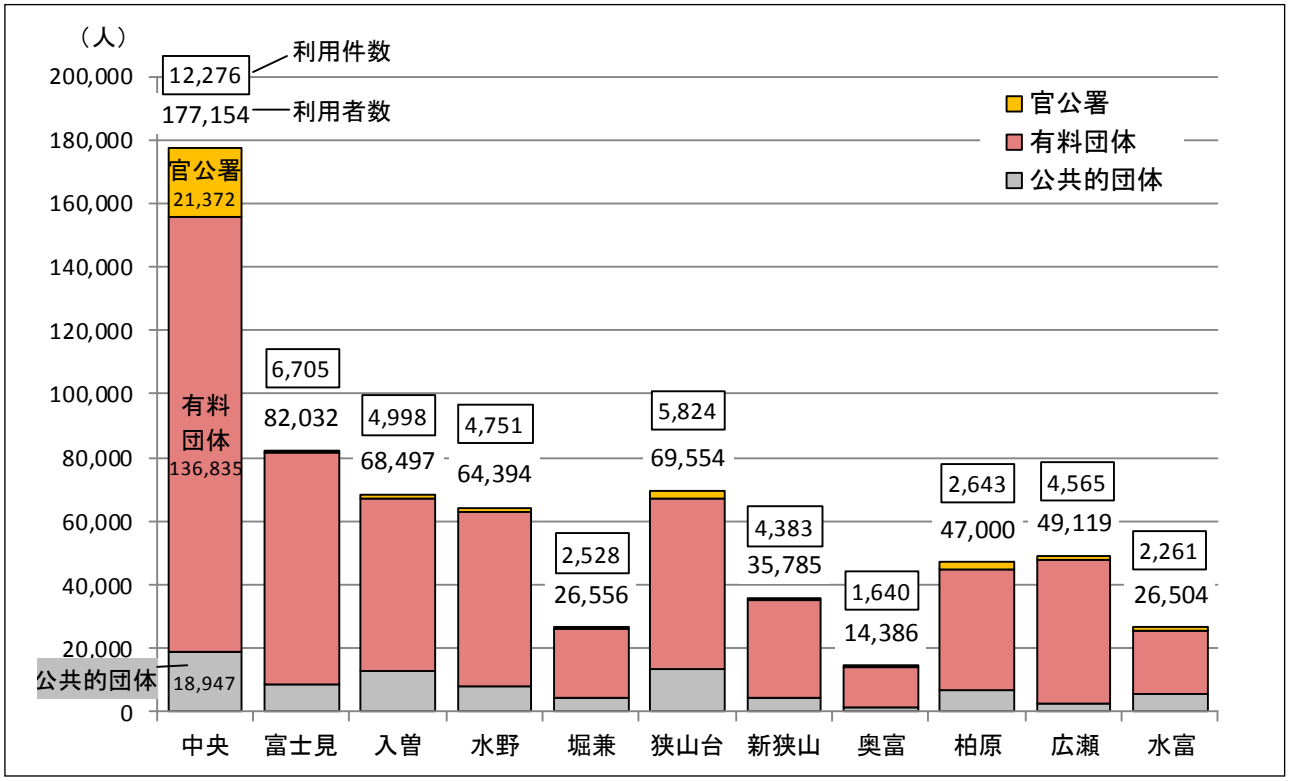


（出典）行政報告書（平成 22 年度～26 年度）

■ 施設別の利用状況

平成 26 年度の施設別利用件数と利用者数をみると、中央公民館の利用が 1 万 2,276 件・17 万 7,154 人と最も多く、次いで富士見公民館となっています。

図表　施設別・利用団体別　利用者数（平成 26 年度）

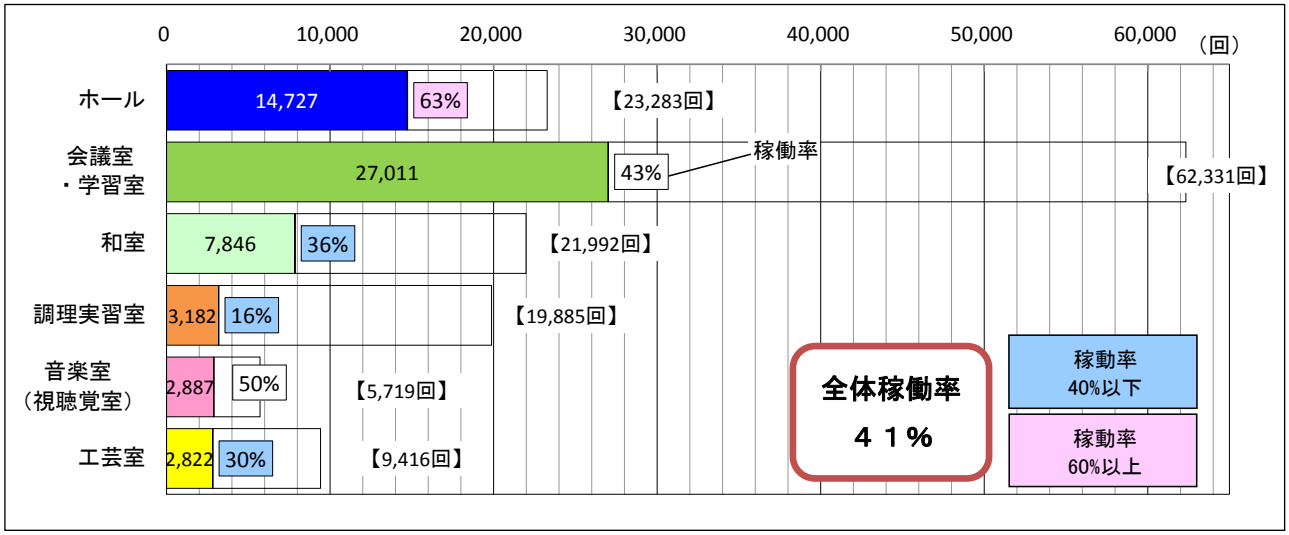


（出典）行政報告書（平成 26 年度）

■ 部屋別稼働率

平成 26 年度の 11 施設全体稼働率（利用回数ベース）は 41%です。部屋別では、ホールが 63%と非常に高く、次いで、音楽室 50%、会議室・学習室 43%となっています。利用目的が限定されている調理実習室は 16%です。

図表　部屋別稼働率（平成 26 年度）



（出典）利用状況明細表

■　施設別部屋別稼働率

公民館 11 施設の部屋別稼働率は、新狭山公民館の 20%から狭山台公民館の 58%となっています。各施設ともホールの稼働率が高く、会議室は同じ施設の中でも諸室によってばらつきがあります。

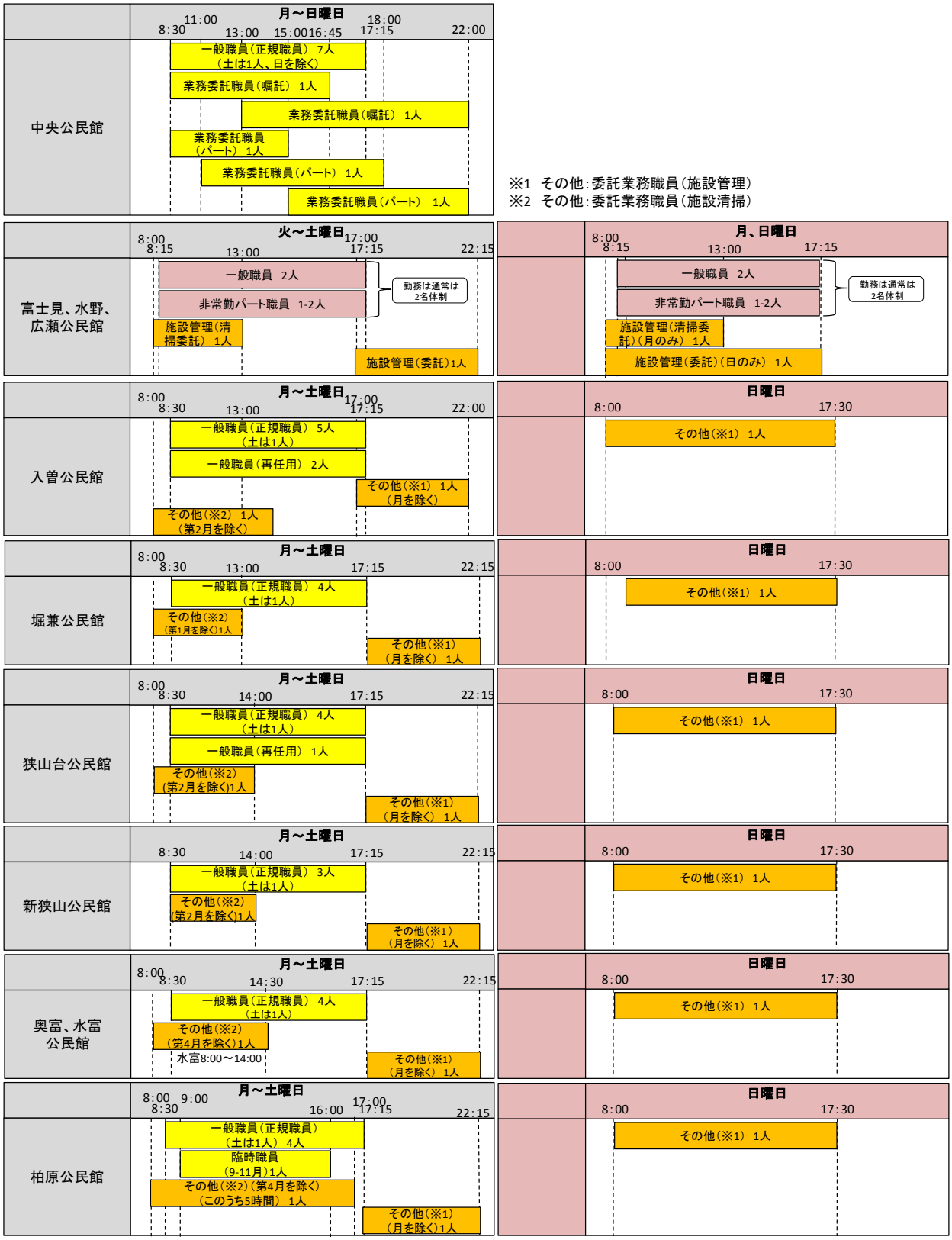
図表　施設別部屋別稼働率（平成 26 年度）

（出典）利用状況明細表

③ 運営状況

富士見、水野、広瀬公民館は指定管理者による運営となっており、その他８施設は市の直営になっています。富士見、水野、広瀬公民館は２人体制で勤務しており、委託業者が曜日によって従事しています。その他の施設は月から土曜日は正規職員と委託業務職員が従事していますが、日曜日は委託業務職員のみが従事しています。

図表　運営人員（平成 26 年度）



④ コスト状況

公民館の 11 施設の年間トータルコストは、４億 2,933 万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは１億 3,217 万円（約 31%）、事業運営にかかるコストは１億 7,941 万円（約 42%）、指定管理委託料は 7,094 万円（約 17%）、減価償却相当額は 4,681 万円（約 11%）です。

図表　施設別行政コスト計算書（平成 26 年度）

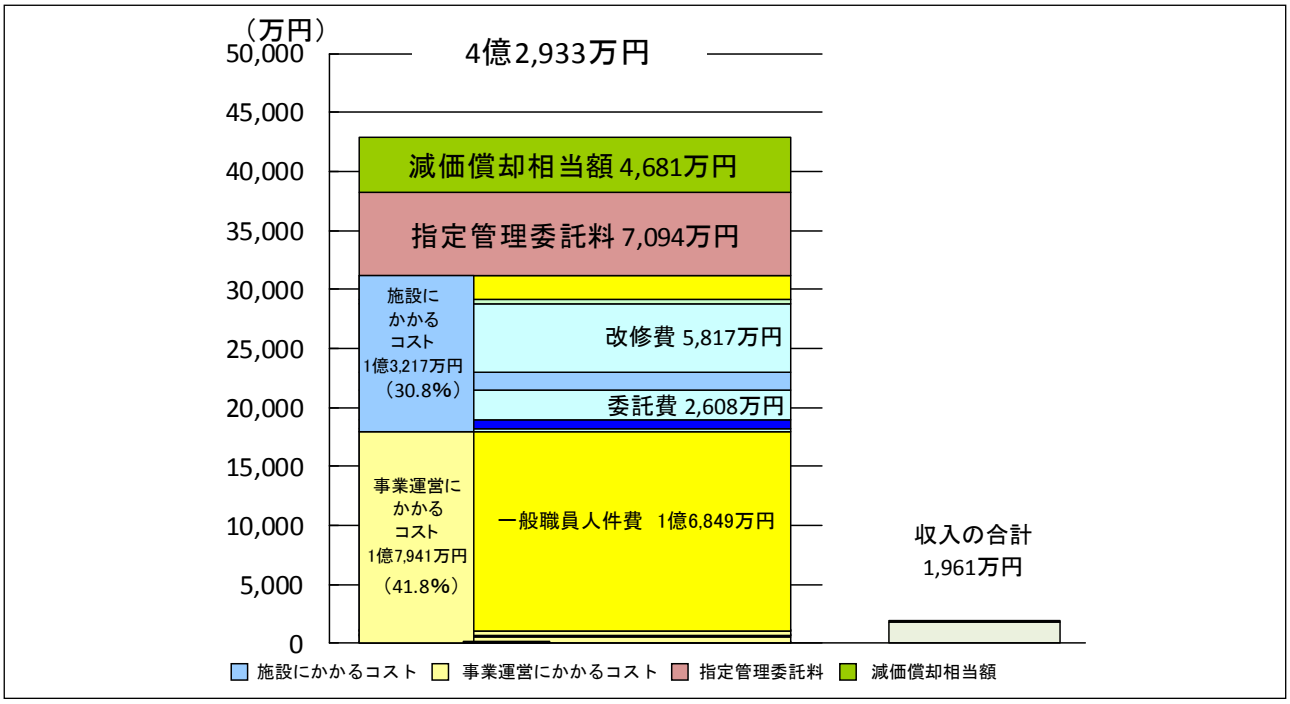
（円）

Ⅰ.現金収支を伴うもの【コストの部】		中央	富士見	入曽	水野	堀兼	狭山台	新狭山	奥富	柏原	広瀬	水富	合計
施設にかかるコスト	一般職員人件費	7,094,304	0	2,660,364	0	1,773,576	886,788	1,773,576	2,660,364	886,788	0	1,773,576	19,509,336
	修繕費	126,230	0	984,150	0	792,039	981,621	36,126	213,032	94,236	0	679,212	3,906,646
	改修費	0	0	0	0	0	0	0	57,029,940	0	1,144,800	0	58,174,740
	光熱水費	47,222	0	4,370,019	0	1,544,492	2,614,131	1,270,490	1,281,034	1,976,228	0	1,686,312	14,789,928
	委託費	924,511	0	3,643,040	0	3,582,813	3,308,817	3,374,049	3,662,085	3,482,441	0	4,100,331	26,078,085
	使用料及び賃借料	965,875	982,800	95,754	0	145,682	260,014	1,716,138	102,160	143,102	0	2,536,506	6,948,031
	その他物件費	645,269	0	305,465	0	229,513	311,403	143,344	232,011	691,992	0	200,376	2,759,373
	施設にかかるコスト	9,803,411	982,800	12,058,792	0	8,068,115	8,362,774	8,313,723	65,180,626	7,274,787	1,144,800	10,976,313	132,166,139
事業運営にかかるコスト	事業運営 一般職員人件費	43,452,612	0	19,509,336	0	15,962,184	18,622,548	17,735,760	15,075,396	14,188,608	0	23,943,276	168,489,720
	事業運営 その他人件費	0	0	0	0	118,475	118,475	0	118,475	118,475	0	0	473,900
	事業運営 委託費	4,130,742	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,130,742
	事業運営 使用料及び賃借料	11,850	0	0	0	10,000	17,040	0	20,000	10,000	0	0	68,890
	事業運営 負担金補助及び交付金	164,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	164,500
	事業運営 その他物件費	1,391,984	0	604,785	0	523,870	604,641	500,686	523,656	414,554	0	725,420	5,289,596
	事業運営	49,151,688	0	20,114,121	0	16,614,529	19,362,704	18,236,446	15,737,527	14,731,637	0	24,668,696	178,617,348
	その他物件費	443,666	0	104,976	0	34,086	104,922	0	6,600	0	0	96,888	791,138
	事務・庶務	443,666	0	104,976	0	34,086	104,922	0	6,600	0	0	96,888	791,138
	事業運営にかかるコスト	49,595,354	0	20,219,097	0	16,648,615	19,467,626	18,236,446	15,744,127	14,731,637	0	24,765,584	179,408,486
指定管理委託料		0	23,646,961	0	23,646,961	0	0	0	0	0	23,646,961	0	70,940,884
現金収支を伴うコスト　計		59,398,765	24,629,761	32,277,889	23,646,961	24,716,730	27,830,400	26,550,169	80,924,753	22,006,424	24,791,761	35,741,897	382,515,509
【収入の部】													
収入	使用料収入	4,535,250	2,555,425	1,734,800	1,888,350	905,100	2,053,900	1,048,850	557,175	848,850	1,433,800	777,120	18,338,620
	諸収入	46,600	0	331,050	0	80,590	398,230	54,590	94,500	159,810	0	108,770	1,274,140
収入の合計		4,581,850	2,555,425	2,065,850	1,888,350	985,690	2,452,130	1,103,440	651,675	1,008,660	1,433,800	885,890	19,612,760
Ⅱ.現金収支を伴わないもの													
コスト	減価償却相当額	15,295,043	10,156,298	2,018,292	6,594,580	1,966,000	2,419,000	1,913,600	1,206,129	1,068,105	3,149,476	1,023,941	46,810,464
Ⅲ.総括													
コストの部合計（トータルコスト）		74,693,808	34,786,059	34,296,181	30,241,541	26,682,730	30,249,400	28,463,769	82,130,882	23,074,529	27,941,237	36,765,838	429,325,973
収支差額（ネットコスト）		70,111,958	32,230,634	32,230,331	28,353,191	25,697,040	27,797,270	27,360,329	81,479,207	22,065,869	26,507,437	35,879,948	409,713,213

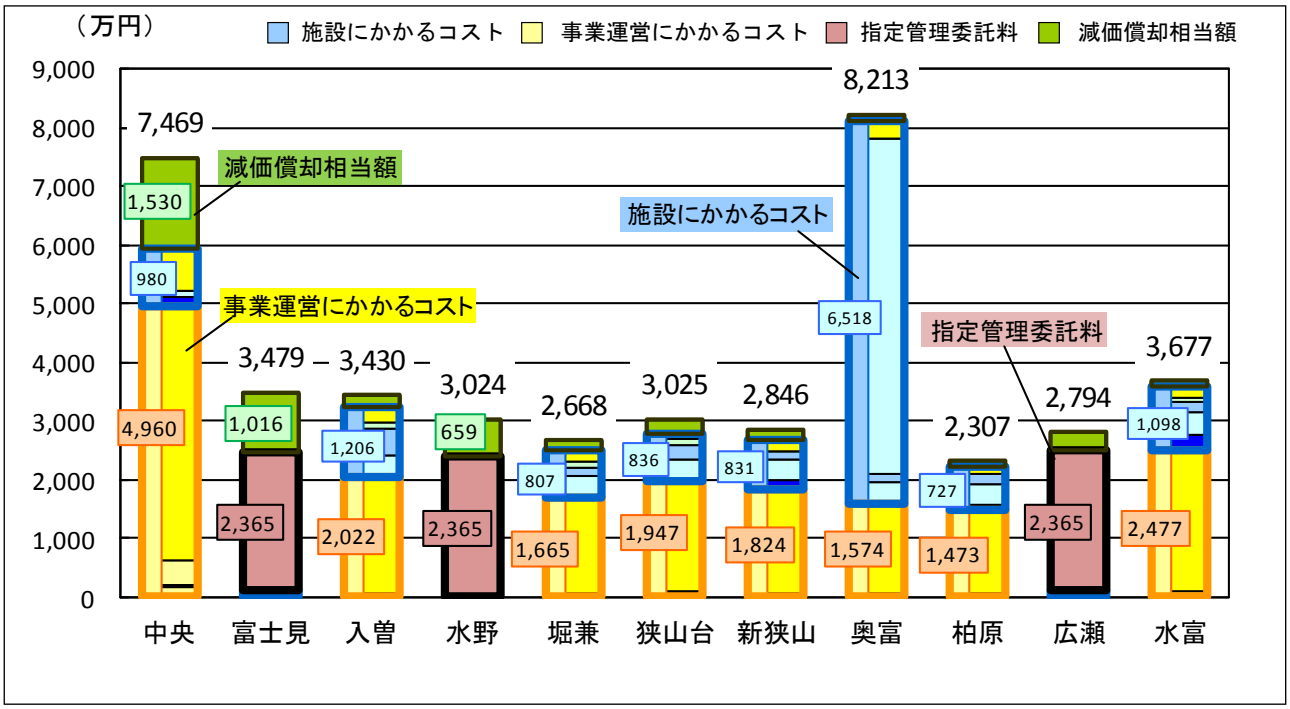
人件費（一般職員・その他）は合計１億 8,847 万円で、トータルコストの約 44%を占めています。

施設別トータルコストでは、柏原公民館の 2,307 万円から奥富公民館は 8,213 万円で、11 施設の平均は、3,872 万円となっています。なお、奥富公民館は、改修費 5,703 万円が含まれているため、他の施設より高くなっています。

図表　公民館　全施設トータルコスト（平成 26 年度）



図表　公民館　施設別トータルコスト（平成 26 年度）

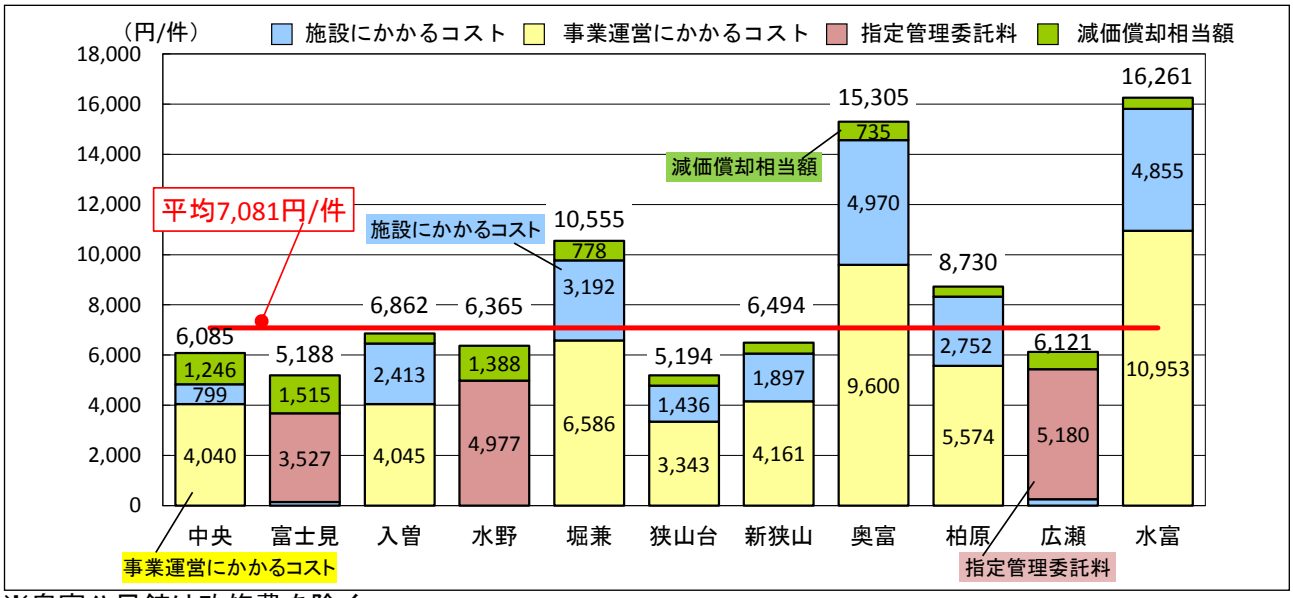


３）評価・分析

■　利用１件当たりのコスト

年間利用件数とトータルコストから、施設の利用１件当たりにかかるコストを算出すると、富士見公民館の 5,188 円/件から水富公民館の１万 6,261 円/件となっています。なお、公民館の平均は 7,081 円/件です。

図表　施設別　利用１件当たりコスト

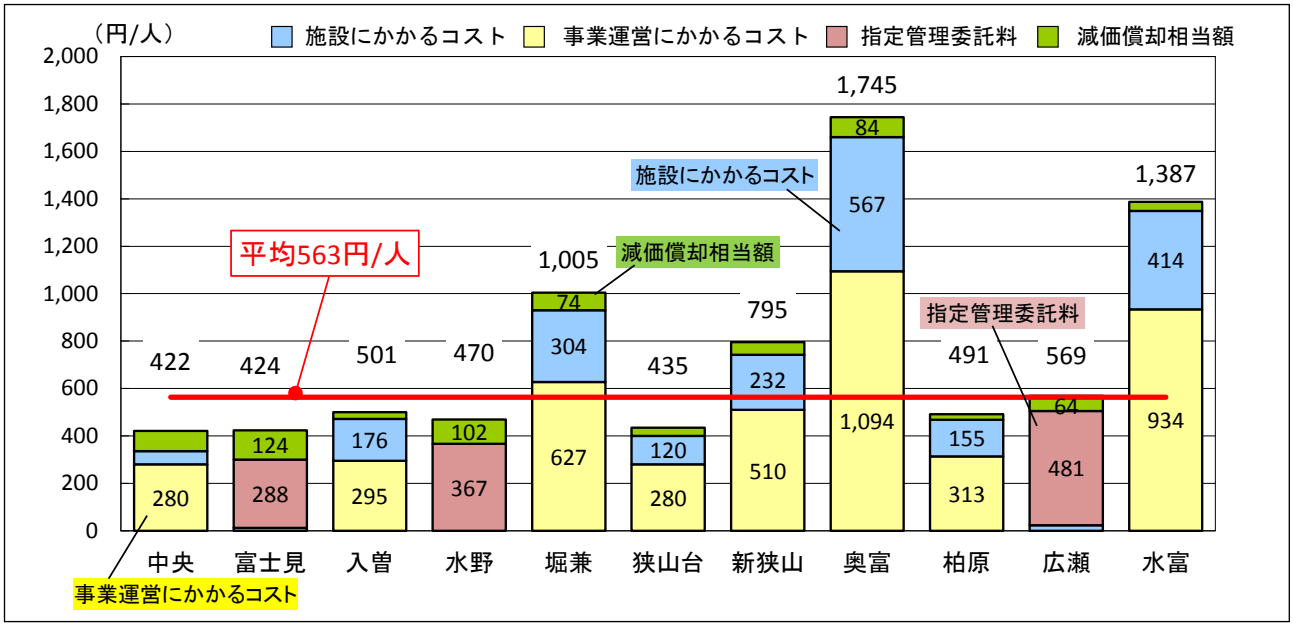


※奥富公民館は改修費を除く

■　利用者１人当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから、利用者１人当たりにかかるコストを算出すると、中央公民館の 422 円/人から奥富公民館の 1,745 円/人となっています。なお、公民館の平均は 563 円/人です。

図表　施設別　利用者１人当たりコスト



※奥富公民館は改修費を除く

４）実態のまとめ

■ 建物面

・ 11 施設中８施設が築 30 年以上経過しており、多くの公民館で施設設備の老朽化や机・椅子等の備品の不具合が目立っています。バリアフリー対応がされている施設が少なく、エレベーター設置等の対応が必要です。

・ 入曽公民館は、移転建替計画があり、その際には地域交流拠点としての機能を有する施設にする等、今後の公民館のあり方についての検討が必要です。

・ 新狭山公民館は、平成 27 年度に解体し、平成 28 年度に新たな施設を建設する予定となっています。

・ 水富公民館は、借地であり平成 43 年３月末までの契約となっています。

■ 利用・運営面

・ 中央公民館は、市民センター等との複合施設となっており、利用の制約のある公民館と制約の少ない市民センターの違いを利用者が理解することは難しいため、公民館を市民ニーズに対応した市民センター化するなどの工夫が必要です。

・ 複数の公民館で利用時間帯によっては、駐車場の確保が課題となっています。

・ どの公民館においても、高齢者の利用が多くなっており、若い世代が利用できるようなサービス展開等の工夫が必要です。また、社会教育施設としての制約のために気軽に利用できない、夜間利用が少ないという課題もあり、地域の活動拠点としての公民館のあり方について検討する必要があります。

■ コスト面

・ 今後は、多くの公民館で、老朽化による大規模改修等や、施設設備や備品の不具合の修繕費がかかると考えられます。

（４）集会所等

１）施設概要

①　施設一覧

本市では、集会所等を２施設保有しています。２施設ともに単独施設となっています。

設置目的：

富士見集会所	住民の教養の向上、生活文化の振興及び同和教育の充実に資することを目的とする。
コミュニティセンター	住民相互の連帯感を醸成し、明るく住み良い地域社会づくりの推進を目的とする。

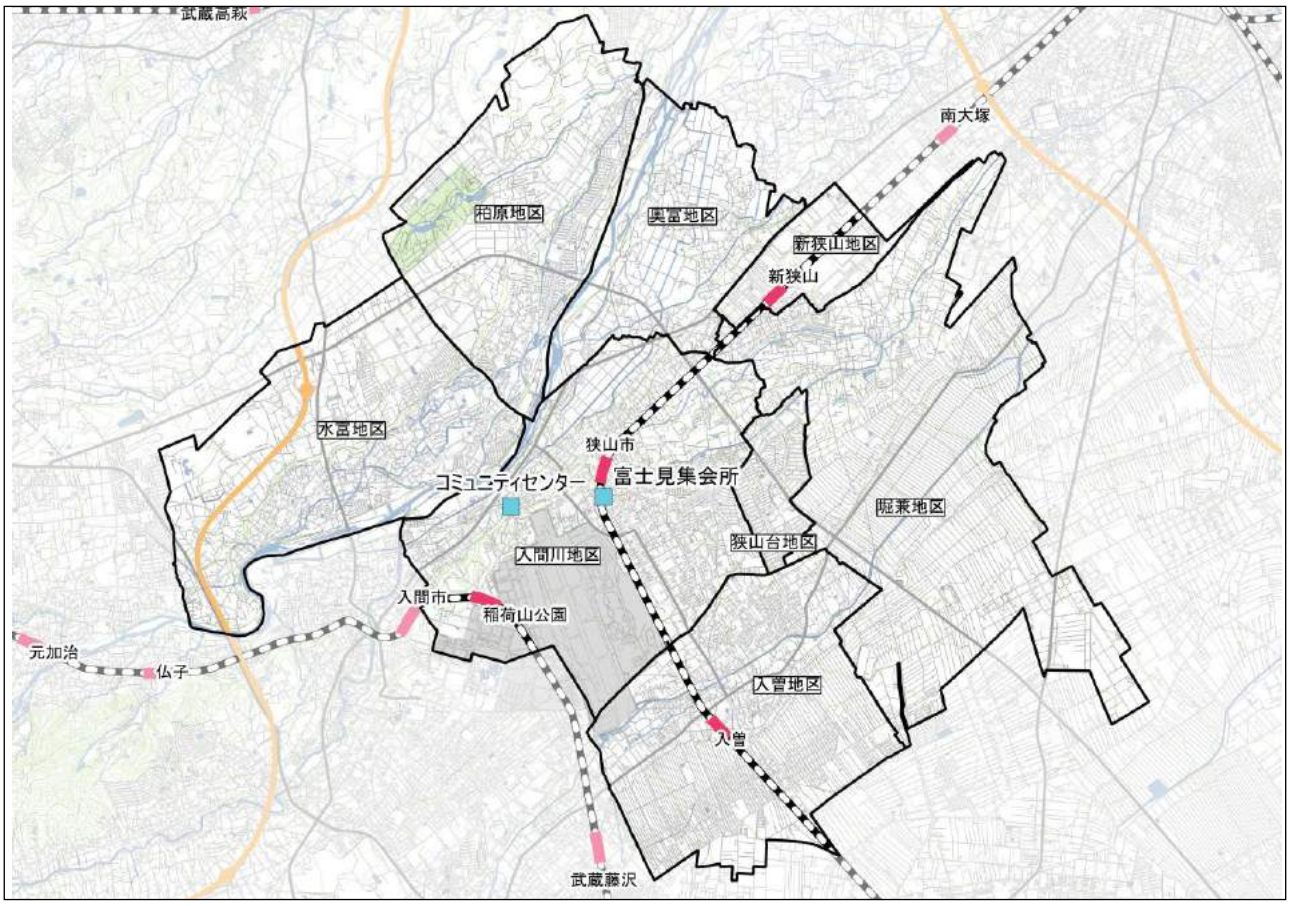
図表　施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年度）	構造（主たる建物）	複合・併設施設		土地所有
入間川	1 富士見集会所	富士見 1-1-18	428.58	昭和52	鉄骨			市
入間川	2 コミュニティセンター	入間川 4-16-4	293.00	昭和54	鉄筋コンクリート			市
合計			721.58					

※　　：築 30 年以上施設

②　配置状況

図表　集会所等位置図



③　開館日・開館時間

名称	休館日	開館時間
富士見集会所	毎月第３月曜日、 祝日、 年末年始（12 月 28 日～1 月４日）	午前９時～午後 10 時 （日曜日と月曜日は午後５時まで）
コミュニティセンター	月曜日、 年末年始（12 月 28 日～1 月４日）	午前９時～午後９時 30 分

④　事業内容

【富士見集会所】

富士見集会所は広く人権問題への理解を促すとともに、公民館と同様に自主的なグループ活動などを通して、地域に「学びの場」「創造の場」「集いの場」を提供しています。

【コミュニティセンター】

住民自らが、相互の連帯感を醸成し、明るく住み良い地域社会づくりを推進するための施設として、集会室・和室を貸室として地域住民に提供しています。

⑤　予約方法・使用料金等

【富士見集会所】

・抽選申込み：利用月の前々月の１日から 10 日までの間に利用希望施設・日時等を申請。

・予約申込み：（追加での申込みの手続き）

利用予定月の前々月の 13 日以降は４回までは、空いている部屋の申込み可。前月の１日以降は、施設に空きがあれば利用回数の制限無。利用日の前々日までに予約が必要。

■　使用料金

【富士見集会所】　（円）

施設の名称 （定員）	午前９時から 午前 11 時まで	午前 11 時から 午後１時まで	午後１時から 午後３時まで	午後３時から 午後５時まで	午後５時から 午後７時まで	午後７時から 午後 10 時まで
第１集会室 （50）	400	400	400	400	400	600
第２集会室 （60）	500	500	500	500	500	750
学習室 （24）	300	300	300	300	300	450
会議室 （36）	300	300	300	300	300	450
和室 （30）	200	200	200	200	200	300

【コミュニティセンター】

申込み：申請は、センターの施設の利用を開始しようとする日の属する月の初日前２月から当該利用を開始しようとする日前３日までの期間内に行う。

■　使用料金

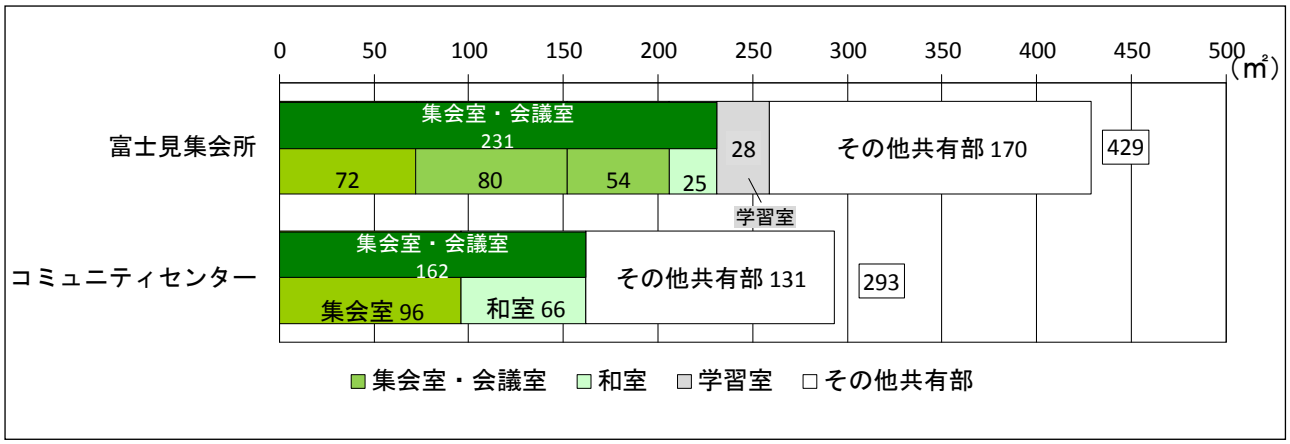
【コミュニティセンター】　（円）

施設の名称		利用区分		
		午前９時～ 午後１時	午後１時～ 午後５時	午後６時～ 午後９時30分
集会室	一室	1,000	1,000	1,100
	全室	1,700	1,700	1,800
和室	一室	1,000	1,000	1,100
	全室	2,100	2,100	2,200

⑥　スペース構成

集会所等の規模は、富士見集会所が429㎡、コミュニティセンターが293㎡となっています。富士見集会所、コミュニティセンターとも集会室・会議室、和室を保有しています。その他の保有スペースは、富士見集会所の学習室となっています。

図表　スペース構成



（出典）平成 26 年度公共施設現況調査

2）実態把握

①　建物状況

■ 集会所等の建物総合評価結果

集会所等の２施設の建物状況について、「第３章 ２公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③劣化状況	④バリアフリー対応						⑤環境対応			⑥維持管理					
																		維持管理費（千円）			床面積当たり（円/㎡）		
		建築年度	延床面積（㎡）	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	劣化問診票回答評価	段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	※1 車椅子対応トイレ	障がい者用駐車場	授乳室・ベビーシート	自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	富士見集会所	昭和52	429	△	37		37	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	1,403	1,179	328	3,273	2,750	765
2	コミュニティセンター	昭和54	293	—	36		36	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	695	3,504	558	2,371	11,957	1,906
	合計・平均		722															2,097	4,682	886	2,907	6,489	1,228

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

①④⑤の凡例
○：実施済み
△：対策中
×：未実施
—：不要

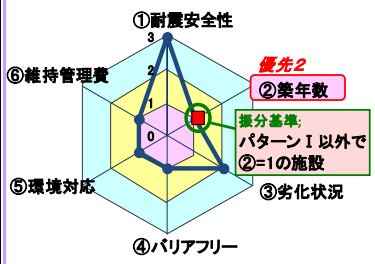
③の凡例
○：劣化がみられないもの
△：一部に劣化がみられるもの・不明
×：屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

２施設とも築 30 年以上が経過しており、大規模改修などの老朽化対策が必要となっています。

評価

パターンⅡ　老朽化

・老朽化が進行している
⇒建替え又は大規模改修 などの老朽化対策の検討が必要な施設



該当施設

該当施設	建築年度
富士見集会所	昭和52
コミュニティセンター	昭和54

＜ 2 施設 ＞

コメント

・築30年以上と老朽化がかなり進行しているので、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。

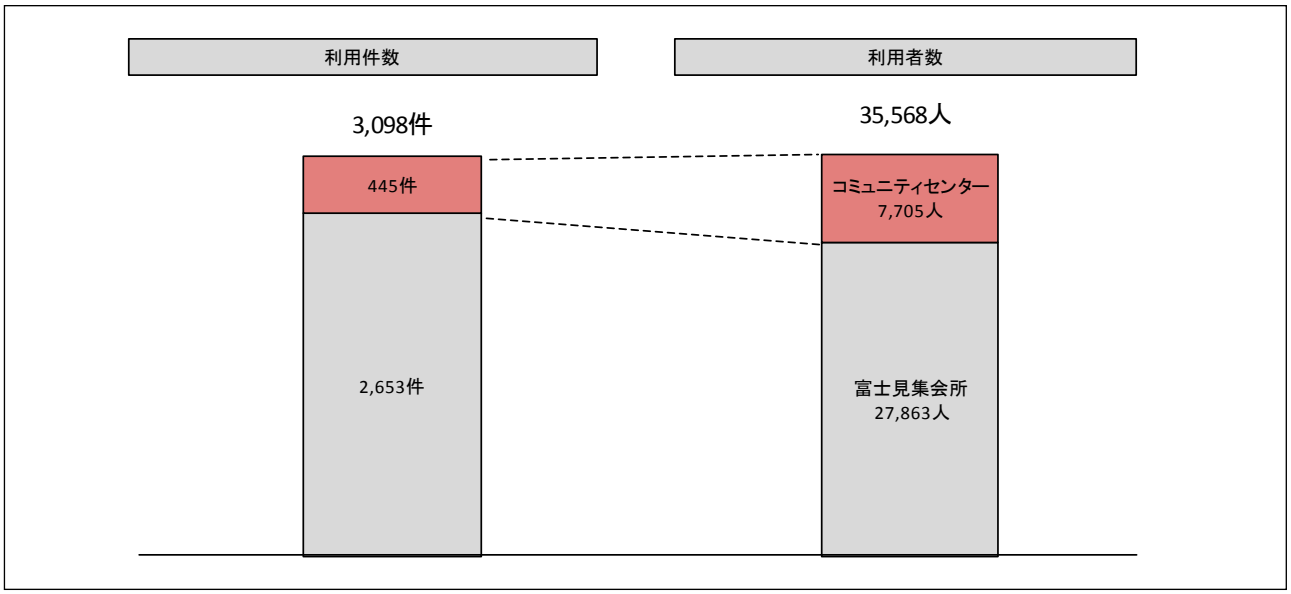
② 利用状況

■ 全体の利用状況

平成 26 年度の集会所等の全体利用件数は 3,098 件、利用者数は 3 万 5,568 人です。

施設別の内訳をみると、富士見集会所が 2,653 件（約 86%）・2 万 7,863 人（約 78%）と過半を占めています。コミュニティセンターは、445 件（約 14%）・7,705 人（約 22%）となっています。

図表　年間利用件数・利用者数（平成 26 年度）

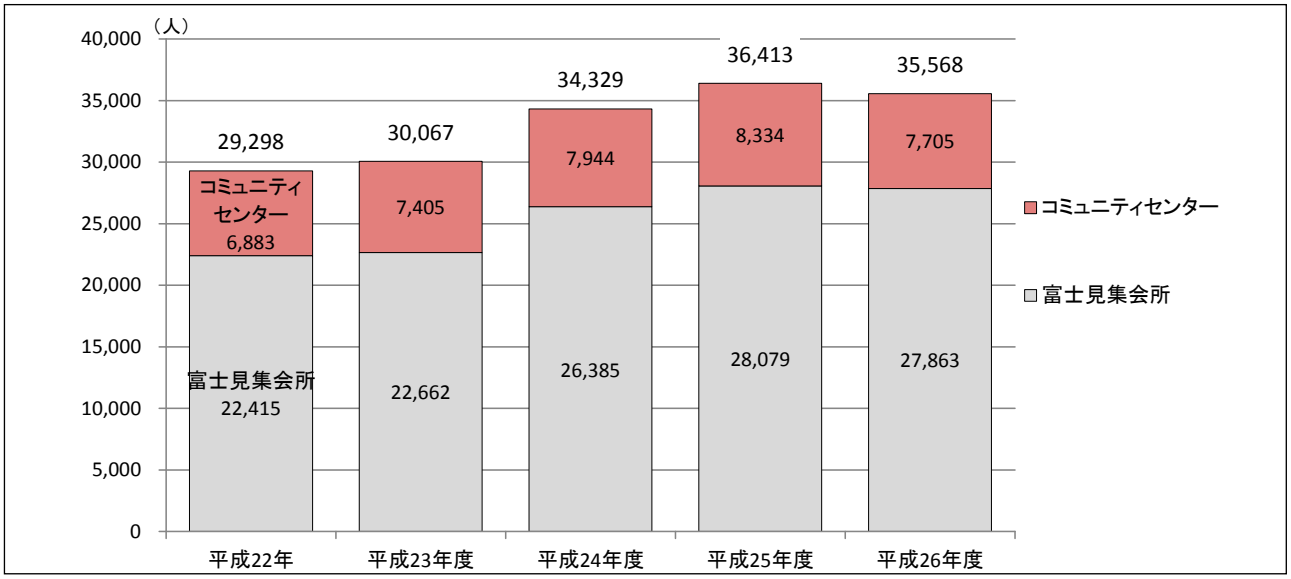


（出典）行政報告書（平成 26 年度）

■ 利用推移

利用者数の推移は、平成 22 年度の 2 万 9,298 人から平成 25 年度の 3 万 6,413 人まで増加してきましたが、平成 26 年度は 3 万 5,568 人へ微減しています。富士見集会所・コミュニティセンターともに平成 26 年度は微減しています。

図表　利用者数の推移

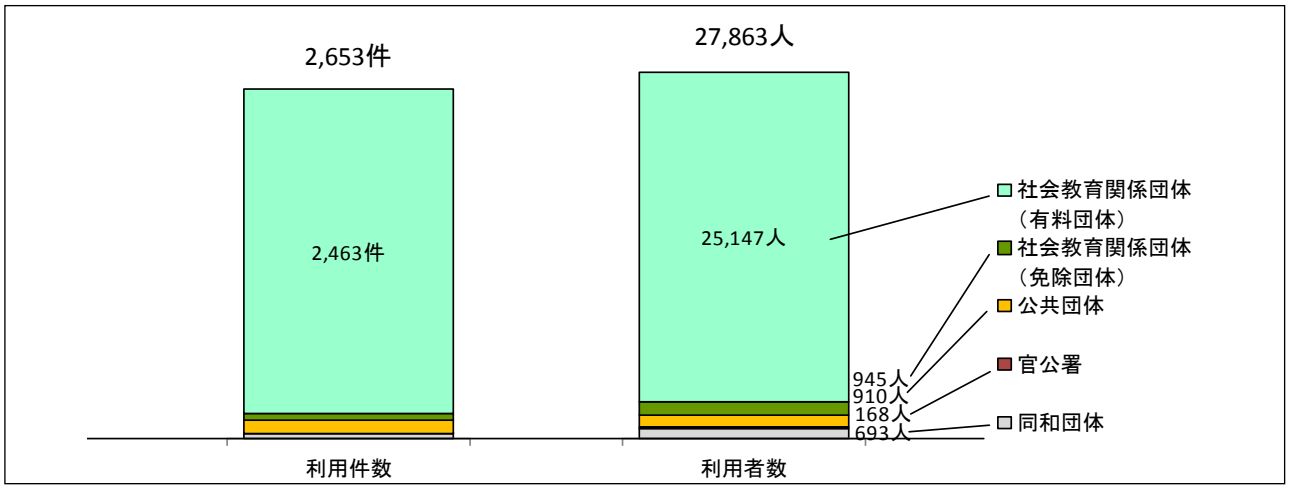


（出典）行政報告書（平成 22 年度～26 年度）

■ 富士見集会所　利用状況

平成 26 年度の利用区分別の利用状況は、社会教育関係団体（有料団体）が 2,463 件（約 93%）・2 万 5,147 人（約 90%）と大半を占めています。

図表　利用件数・利用者数（平成 26 年度）

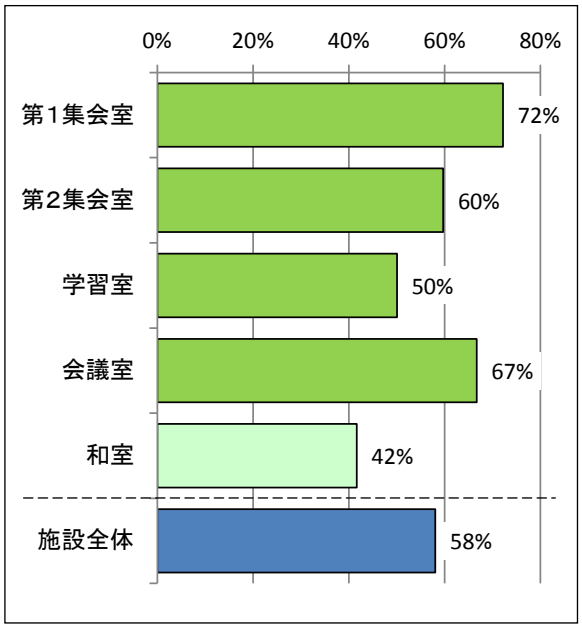


（出典）行政報告書（平成 26 年度）

■ 富士見集会所　部屋別稼働率

富士見集会所の稼働率は、施設全体で 58%です。部屋別では、和室の 42%から第 1 集会室の 72%となっており、特に集会室・会議室の稼働率が 60%以上と高くなっています。

図表　部屋別稼働率

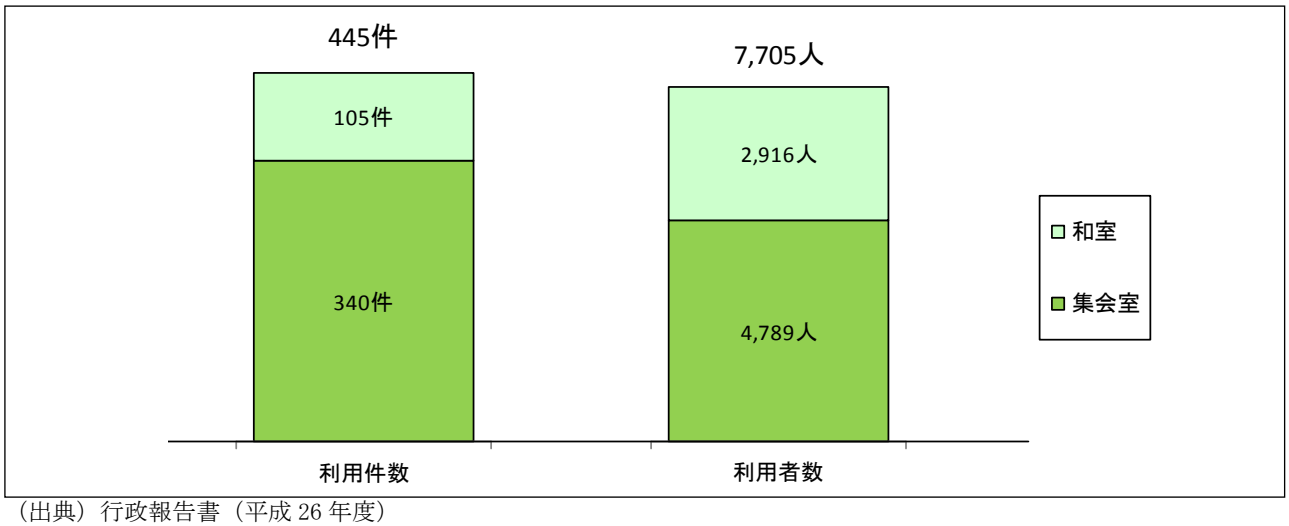


（出典）利用状況明細書（平成 26 年度）

■ コミュニティセンター　利用状況

コミュニティセンターの部屋別利用状況では、集会室が 340 件（約 76%）・4,789 人（約 62%）と高い割合を占めています。和室は、105 件（約 24%）・2,916 人（約 38%）となっています。

図表　利用件数・利用者数（平成 26 年度）

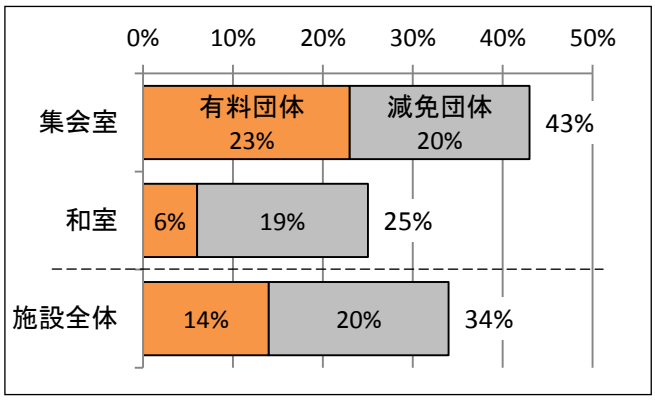


（出典）行政報告書（平成 26 年度）

■ コミュニティセンター　部屋別稼働率

コミュニティセンターの稼働率は、施設全体で 34%です。部屋別では、集会室が 43%で、和室が 25%となっています。

図表　部屋別稼働率（平成 26 年度）



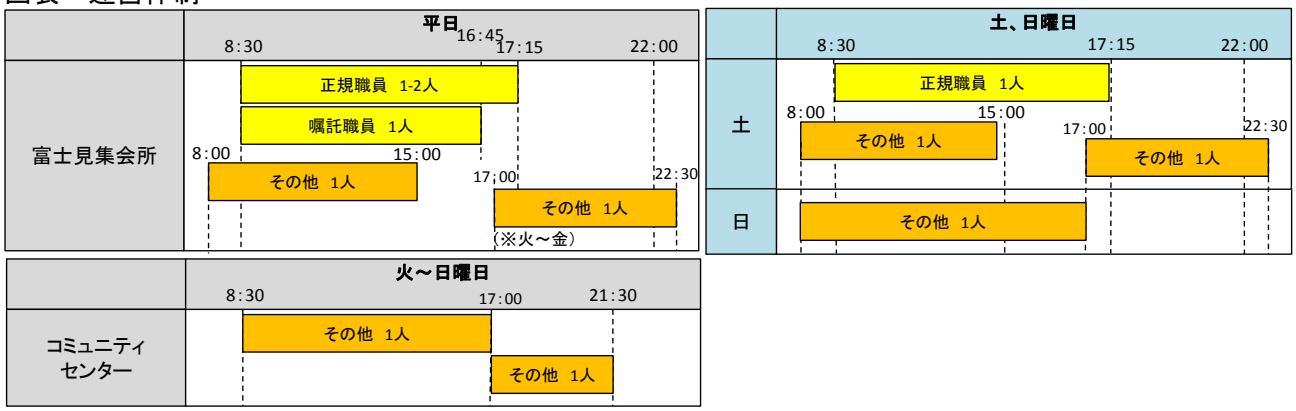
（出典）平成 26 年度公共施設現況調査

③ 運営状況

富士見集会所は平日と土曜日は職員と委託業務職員が時間帯によって従事しています。嘱託職員は平日のみとなっています。また日曜日は業務委託職員が１人従事しています。

コミュニティセンターは委託業務職員が２人体制で、時間帯を分けて従事しています。

図表　運営体制



※その他：委託業務職員（施設管理、施設周辺清掃）

④ コスト状況

集会所等の２施設の年間トータルコストは、3,960 万円です。富士見集会所は 3,206 万円（約 81%）、コミュニティセンターは 753 万円（約 19%）です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（委託費等）は 1,276 万円（約 32%）、事業運営にかかるコスト（人件費等）は 2,292 万円（約 58%）、減価償却相当額は 391 万円（約 10%）です。

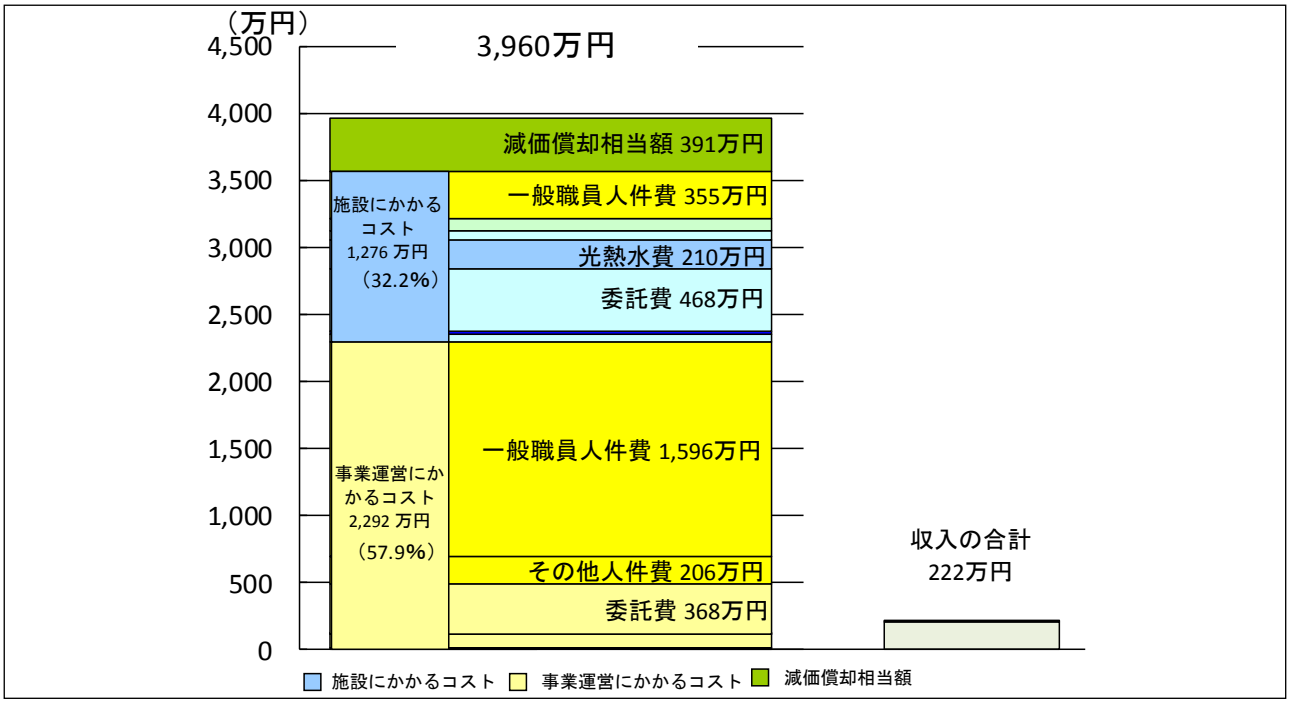
図表　施設別行政コスト計算書（平成 26 年度）　（円）

Ⅰ.現金収支を伴うもの【コストの部】			富士見集会所	コミュニティセンター	合計
施設にかかるコスト		一般職員人件費	1,773,576	1,773,576	3,547,152
		修繕費	327,865	558,360	886,225
		改修費	691,200	0	691,200
		光熱水費	1,402,557	694,761	2,097,318
		委託費	1,178,766	3,503,520	4,682,286
		使用料及び賃借料	288,140	14,601	302,741
		その他物件費	491,351	66,221	557,572
		施設にかかるコスト	6,153,455	6,611,039	12,764,494
事業運営にかかるコスト	事業運営	一般職員人件費	15,962,184	0	15,962,184
		その他人件費	2,063,200	0	2,063,200
		委託費	3,682,800	0	3,682,800
		負担金補助及び交付金	1,000	3,650	4,650
		その他物件費	1,005,148	0	1,005,148
		事業運営	22,714,332	3,650	22,717,982
	事務・庶務	その他物件費	205,341	0	205,341
		事務・庶務	205,341	0	205,341
		事業運営にかかるコスト	22,919,673	3,650	22,923,323
現金収支を伴うコスト　計			29,073,128	6,614,689	35,687,817
【収入の部】					
収入		使用料収入	1,585,525	524,300	2,109,825
		諸収入	111,880	1,440	113,320
収入の合計			1,697,405	525,740	2,223,145
Ⅱ.現金収支を伴わないもの					
コスト		減価償却相当額	2,990,682	918,723	3,909,405
Ⅲ.総括					
コストの部合計（トータルコスト）			32,063,810	7,533,412	39,597,222
収支差額（ネットコスト）			30,366,405	7,007,672	37,374,077

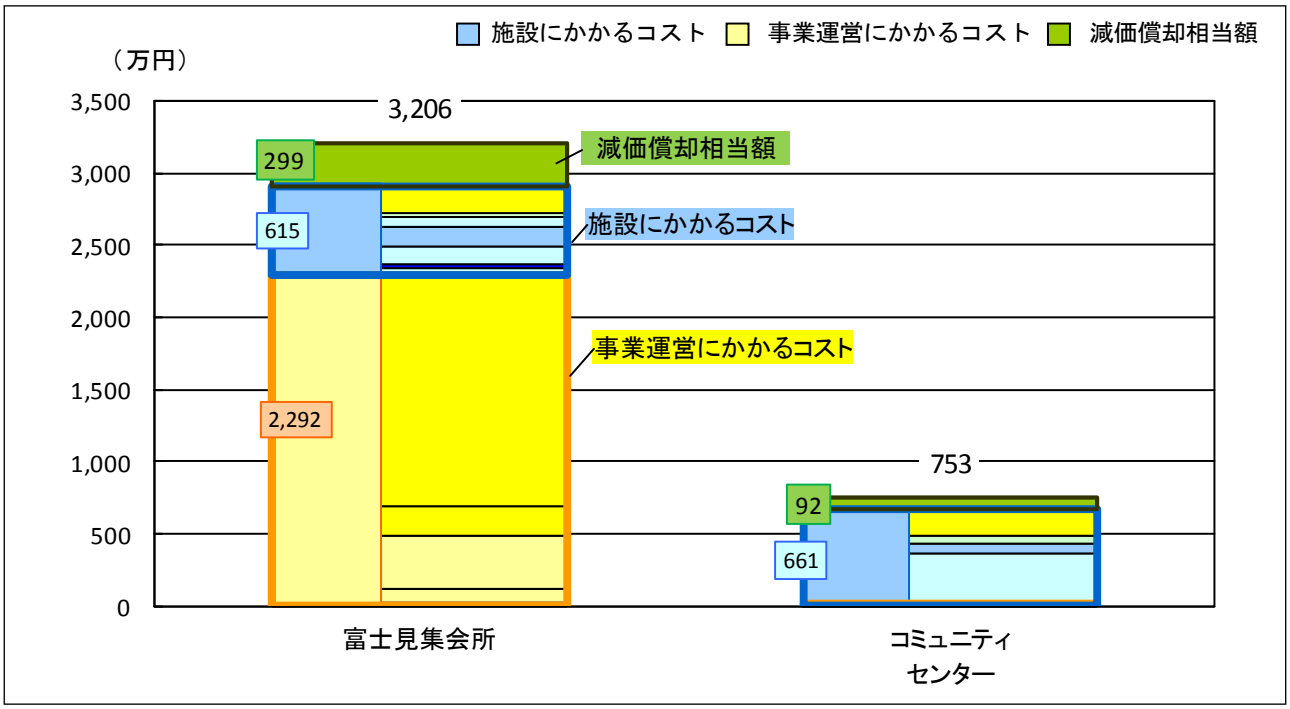
人件費（一般職員・その他）は合計 2,157 万円で、トータルコストの約 54%を占めています。

施設別トータルコストでは、富士見集会所は 3,206 万円、コミュニティセンターの 753 万円となっています。

図表　全施設トータルコスト（平成 26 年度）



図表　施設別トータルコスト（平成 26 年度）

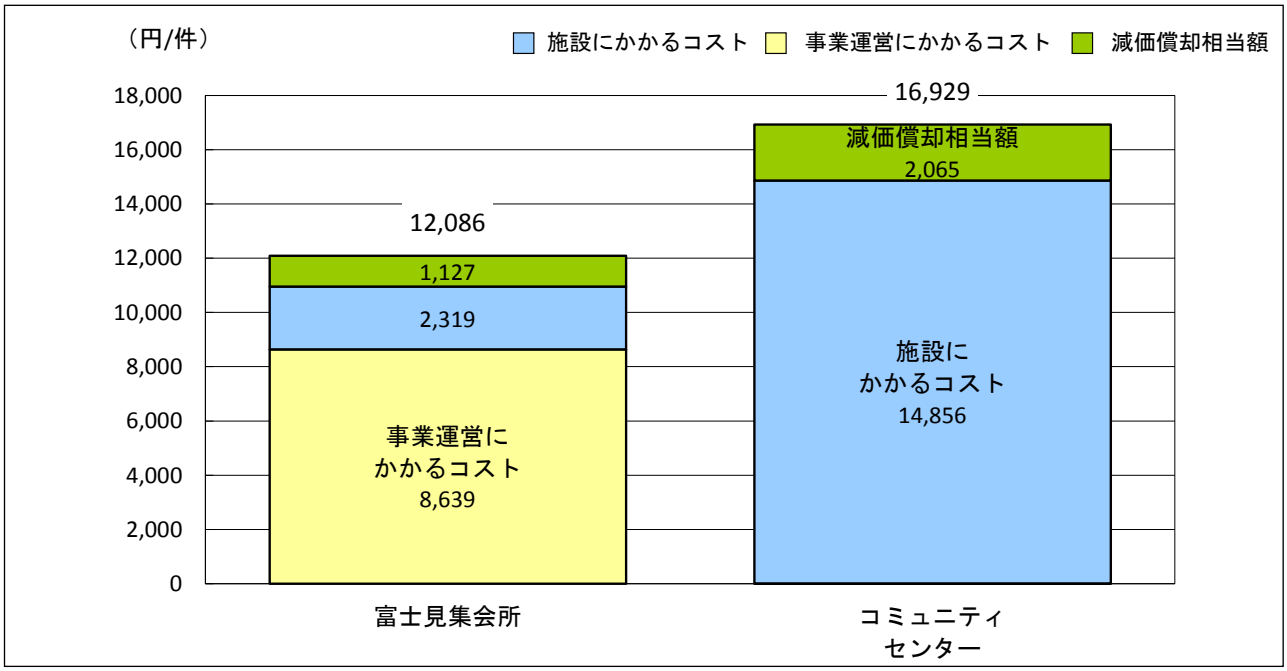


3）評価・分析

■　利用１件当たりのコスト

年間利用件数とトータルコストから、利用１件当たりにかかるコストを算出すると、富士見集会所は１万 2,086 円/件、コミュニティセンターの１万 6,929 円/件となっています。

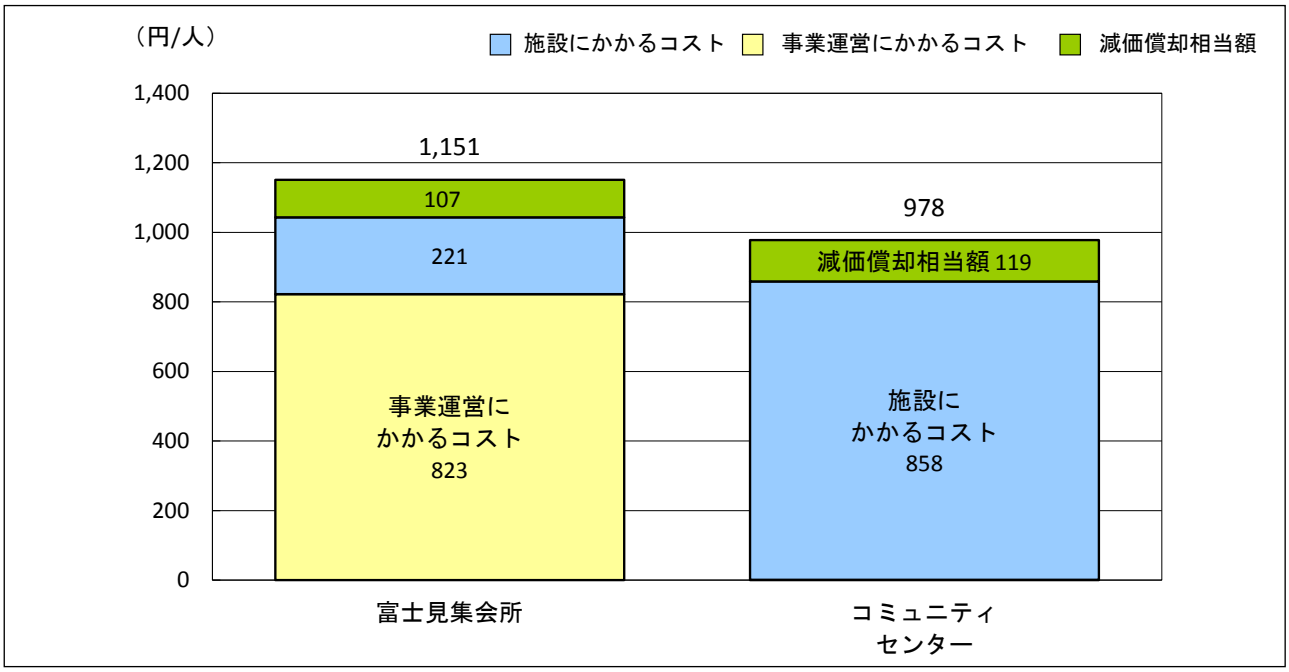
図表　施設別　利用１件当たりコスト



■　利用者１人当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから、利用者１人当たりにかかるコストを算出すると、富士見集会所は 1,151 円/人、コミュニティセンターの 978 円/人となっています。

図表　施設別　利用者１人当たりコスト



4）実態のまとめ

■ 建物面

・ 2 施設とも築 30 年以上経過しており、老朽化しています。富士見集会所は、平成 29 年度に耐震、屋上防水、外壁、冷暖房の工事が予定されています。

・ コミュニティセンターは、高齢者の利用が多く、バリアフリー化を検討する必要があります。

■ 利用・運営面

・ 富士見集会所は、社会教育関係団体（有料団体）が利用の約 90%と大半を占めており、稼働率は約 58%です。

・ コミュニティセンターは、減免団体の利用が過半を占めており、稼働率は約 34%です。利用者の多くは自治会の住民となっているため、自治会管理への移行も検討する必要があります。

■ コスト面

・ 利用者 1 人当たりコストは、富士見集会所 1,151 円、コミュニティセンター978 円です。同種施設である公民館の利用者 1 人当たりコストの平均が 557 円であることを踏まえると、コストパフォーマンスに課題が見られることから、より効率的な運営の見直しや料金体系の見直し等の検討が必要です。

（５）その他集会施設

１）施設概要

①　施設一覧

本市では、その他集会施設を５施設保有しています。

その他集会施設は全て単独の施設となっています。

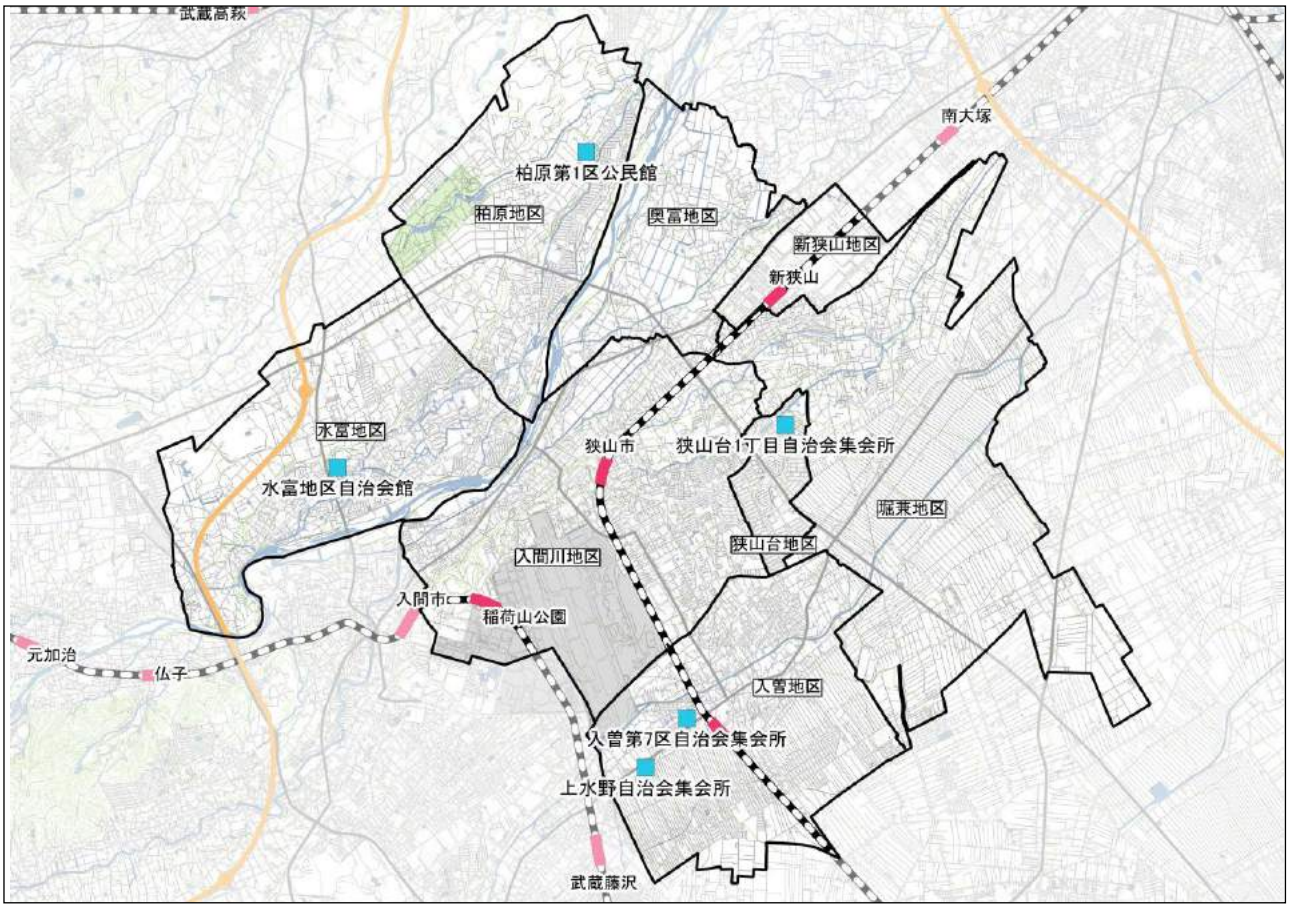
図表　施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年度）	構造（主たる建物）	土地所有
入曽	1 入曽第7区自治会集会所	南入曽 879-12	303.00	昭和53	鉄筋コンクリート	市
入曽	2 上水野自治会集会所	水野 1057-5	150.00	昭和53	鉄骨	市
柏原	3 柏原第1区公民館	柏原 2335	166.00	昭和45	木造	市
水富	4 水富地区自治会館	根岸2-464-4	105.00	昭和42	木造	市
狭山台	5 狭山台1丁目自治会集会所	狭山台 1-29-3	110.00	平成5	鉄骨	市
合計			834.00			

※ ：築 30 年以上施設

②　配置状況

図表　その他集会施設位置図



２）実態把握

①　建物状況

■ その他集会施設の建物総合評価結果

その他集会施設５施設の建物状況について、「第３章 ２公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

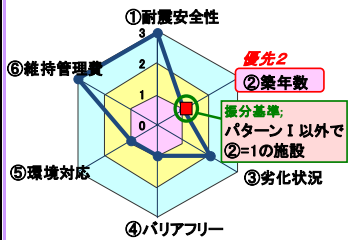
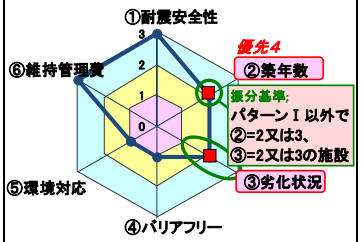
No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③劣化状況	④バリアフリー対応						⑤環境対応			⑥維持管理					
																		維持管理費（千円）			床面積当たり（円/㎡）		
		建築年度	延床面積（㎡）	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	劣化問診票回答評価	段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	※1 車椅子対応トイレ	障がい者用駐車場	授乳室・ベビーシート	自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	入曽第7区自治会集会所	昭和53	303	－	37		37	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	自治会が管理しているため対象外とする					
2	上水野自治会集会所	昭和53	150	－	37		37	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×						
3	柏原第1区公民館	昭和45	166	－	45		45	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×						
4	水富地区自治会館	昭和42	105	－	48		48	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×						
5	狭山台1丁目自治会集会所	平成5	110	－	22		22	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×						
	合計・平均		834																				

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

①④⑤の凡例
○ ： 実施済み
△ ： 対策中
× ： 未実施
― ： 不要

③の凡例
○ ： 劣化がみられないもの
△ ： 一部に劣化がみられるもの・不明
× ： 屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

入曽第７区自治会集会所、上水野自治会集会所、水富地区自治会館、柏原第１区公民館の４施設は築年も古く、早急な老朽化対策が必要です。狭山台１丁目自治会集会所は築 20 年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。

	パターンⅡ 老朽化	パターンⅣ 今後 老朽化
評価	・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修 などの老朽化対策の検討が必要な施設	・今後、老朽化が進行する ⇒今後老朽化対策の検討が必要になる施設
		
該当施設	該当施設 建築年度 入曽第7区自治会集会所 昭和53 上水野自治会集会所 昭和53 柏原第1区公民館 昭和45 水富地区自治会館 昭和42 ＜ 4 施設 ＞	該当施設 建築年度 狭山台1丁目自治会集会所 平成5 ＜ 1 施設 ＞
コメント	・耐震安全性については問題ありませんが、築30年以上と老朽化がかなり進行しているので、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。	・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。

② 運営状況

その他集会施設の管理運営は、５施設全てが自治会への貸付による運営形態となっています。

③ コスト状況

５施設のコストは、自治会管理のため経費は把握していません。

３）実態のまとめ

■ 建物面

・ その他集会施設５施設のうち、４施設は築 30 年以上経過しており老朽化しています。建物は市が所有しているため、今後、施設の更新を市か自治会のどちらが行うのか、検討する必要があります。

（６）図書館

１）施設概要

①　施設一覧

本市では、図書等の資料の充実を図り市民の利用に供することにより、生涯学習活動を支援する施設として、図書館を２施設保有しています。

中央図書館は消費生活センターとの複合施設となっており、狭山台図書館は地域スポーツ施設との複合施設となっています。

設置目的：図書等の資料を収集、整理、保存しこれを提供する。

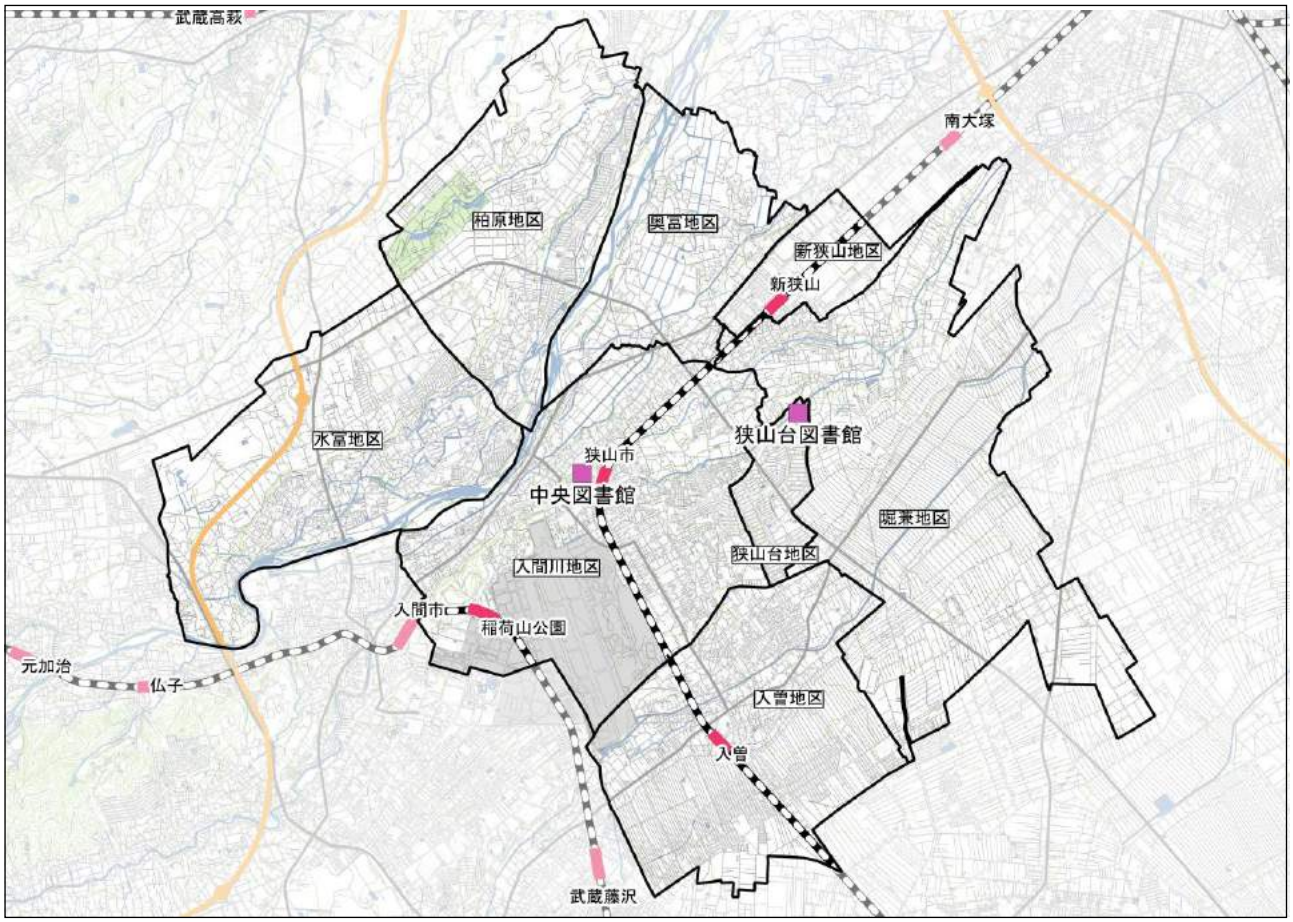
図表　施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年度）	構造（主たる建物）	複合・併設施設		土地所有
						消費者センター	スポーツ施設	
入間川	1 中央図書館	入間川 2-2-25	3,971.07	昭和46	鉄筋コンクリート	●		市
狭山台	2 狭山台図書館	狭山台 1-29-2	987.78	平成5	鉄筋コンクリート		●（地域スポーツ施設）	市
合計			4,958.85					

※　　：築 30 年以上施設

②　配置状況

図表　図書館位置図



③　開館日・開館時間

分類	休館日	開館時間
中央図書館	・毎週月曜日（ただし、その日が休日「振替休日を除く」に当るときは、その日後の直近の休日でない日が休館日） ・館内整理日（毎月末日） ・年末年始（12 月 28 日～1 月４日） ・特別整理期間（毎年 10 日以内）	・午前９時から午後５時 ・水曜日、金曜日、土曜日の新聞ブラウジングコーナー（４階）と一般図書フロア（３階）と児童図書フロア(２階)は午後８時まで開館(「休日」開館日はすべて午前９時～午後５時)
狭山台図書館		・午前９時～午後５時 ・水曜日、金曜日は午後８時まで開館 （「休日」開館日はすべて午前９時～午後５時）

（出典）狭山市公式ホームページ

④　事業内容

市民のニーズ等を踏まえて、図書や視聴覚資料を購入し、市民の利用に供するほか、読み聞かせや講座などを開催します。

- 図書利用推進事業（図書館資料の選定・購入・貸出や利用の促進に関する業務）
- レファレンスサービス事業（利用者の相談に応じて必要な情報を提供する業務）
- 移動図書館事業（移動図書館の運行に関する業務）
- 学校連携協力事業（児童・生徒向け図書館広報紙の発行や学校への出前事業等に関する業務）
- 図書館管理事業（施設の維持管理等に関する業務）

⑤　図書館資料数

図書館が所蔵する資料数は平成 26 年度末時点で 66 万 11 点です。内訳をみると、一般書が 41 万 8,908 点と全体の約 63%を占めています。次いで児童書が 21 万 5,102 点（約 33%）であり、一般図書と児童書が全体の約 96%を占めています。その他に AV 資料、雑誌、紙芝居があります。

施設別にみると、中央図書館が 50 万 4,646 点と市全体の約 76%を占めています。AV 資料は中央図書館のみの所蔵となります。

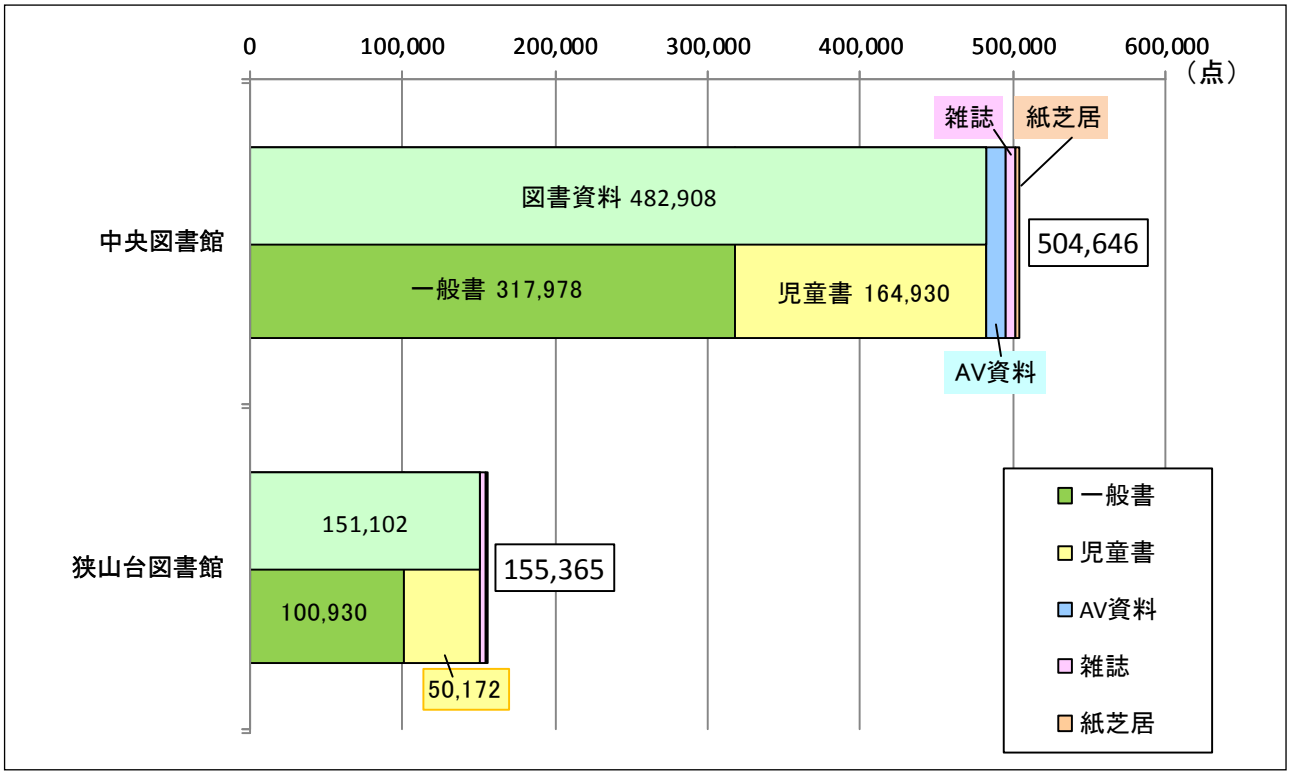
狭山台図書館の資料数は、15 万 5,365 点となっています。一般書や児童書以外に、雑誌や紙芝居を所蔵しています。

図表　図書館資料数（平成 26 年度）

（点）

	一般書	児童書	AV資料	雑誌	紙芝居	合　計
中央図書館	317,978	164,930	12,033	6,745	2,960	504,646
狭山台図書館	100,930	50,172	0	3,097	1,166	155,365
合計	418,908	215,102	12,033	9,842	4,126	660,011

図表　図書館資料数（平成 26 年度）



⑥スペース構成

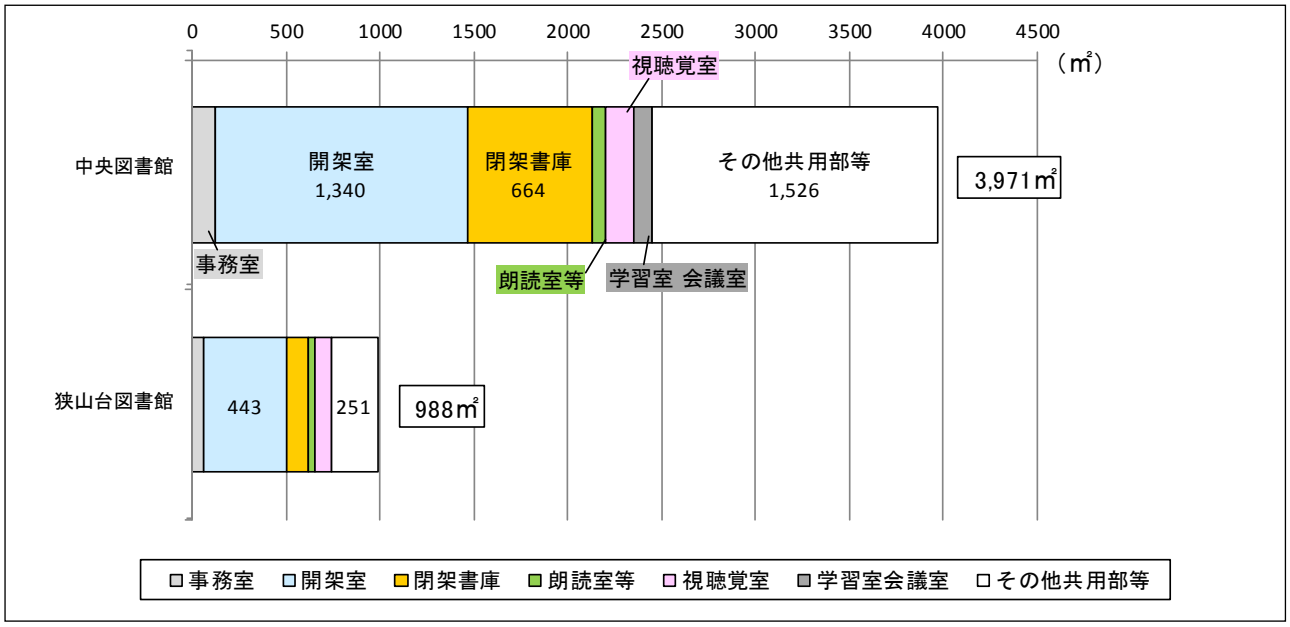
図書館の規模は、中央図書館 3,971 ㎡、狭山台図書館 988 ㎡となっています。

保有する諸室は、開架室、閉架書庫、朗読室、視聴覚室、学習室などがあります。

図表　各諸室面積　（㎡）

	事務室	開架室	閉架書庫	朗読室等	視聴覚室	学習室会議室	その他共用部等	合計
中央図書館	122	1,340	664	76	145	98	1,526	3,971
狭山台図書館	62	443	115	35	82	0	251	988

図表　スペース構成



（出典）平成 26 年度公共施設現況調査

2）実態把握

①　建物状況

■ 図書館の建物総合評価結果

図書館２施設の建物状況について、「第３章 ２公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

No.	施設名	基本情報 建築年度	基本情報 延床面積（㎡）	①耐震化 耐震診断・耐震改修	②老朽化 築年数	②老朽化 直近の大規模改修	②老朽化 築年数または直近の大規模改修後経過年数	③劣化状況 劣化問診票回答評価	④バリアフリー対応 段差なし	④バリアフリー対応 案内設備・案内所	④バリアフリー対応 エレベーター	④バリアフリー対応 ※1 車椅子対応トイレ	④バリアフリー対応 障がい者用駐車場	④バリアフリー対応 授乳室・ベビーシート	⑤環境対応 自然エネルギー・太陽光発電の導入	⑤環境対応 屋上・壁面緑化等	⑤環境対応 環境対応設備※2	⑥維持管理 維持管理費（千円） 光熱水費	⑥維持管理 維持管理費（千円） 建物管理委託費	⑥維持管理 維持管理費（千円） 各所修繕費	⑥維持管理 床面積当たり（円/㎡） 光熱水費	⑥維持管理 床面積当たり（円/㎡） 建物管理委託費	⑥維持管理 床面積当たり（円/㎡） 各所修繕費
1	中央図書館	昭和46	3,971	○	44	昭和62	28	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	5,148	24,979	902	1,296	6,290	227
2	狭山台図書館	平成5	988	－	22		22	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	9	0	47	9	0	47
	合計・平均		4,959															5,157	24,979	949	1,040	5,037	191

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

①④⑤の凡例
○ ： 実施済み
△ ： 対策中
× ： 未実施
― ： 不要

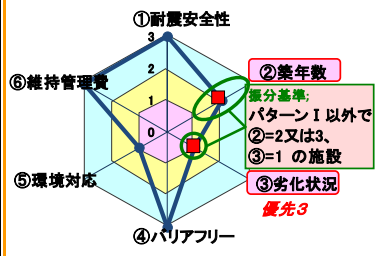
③の凡例
○ ： 劣化がみられないもの
△ ： 一部に劣化がみられるもの・不明
× ： 屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

中央図書館は、旧庁舎を大規模改修した建物で、耐震改修も行っていますが、改修後築 28 年を経過していることから、外壁・屋根などの重要な部位に修繕の必要な劣化がみられ、早期の対策が必要です。狭山台図書館も、築 22 年経過しており、中央図書館と同様に、外壁・屋根などの重要な部位に修繕の必要な劣化がみられ、早期の対策が必要です。

評価

パターンⅢ　劣化対策

・重要部位に修繕の必要な劣化
⇒早期に劣化部位の修繕・改修が必要な施設



該当施設

該当施設	建築年度
中央図書館	昭和46
狭山台図書館	平成5

＜ 2 施設 ＞

コメント

・耐震性や老朽化の面では緊急な状況にはないが、外壁・屋根などの重要な部位に修繕の必要な劣化がみられ、早期の対策が必要です。

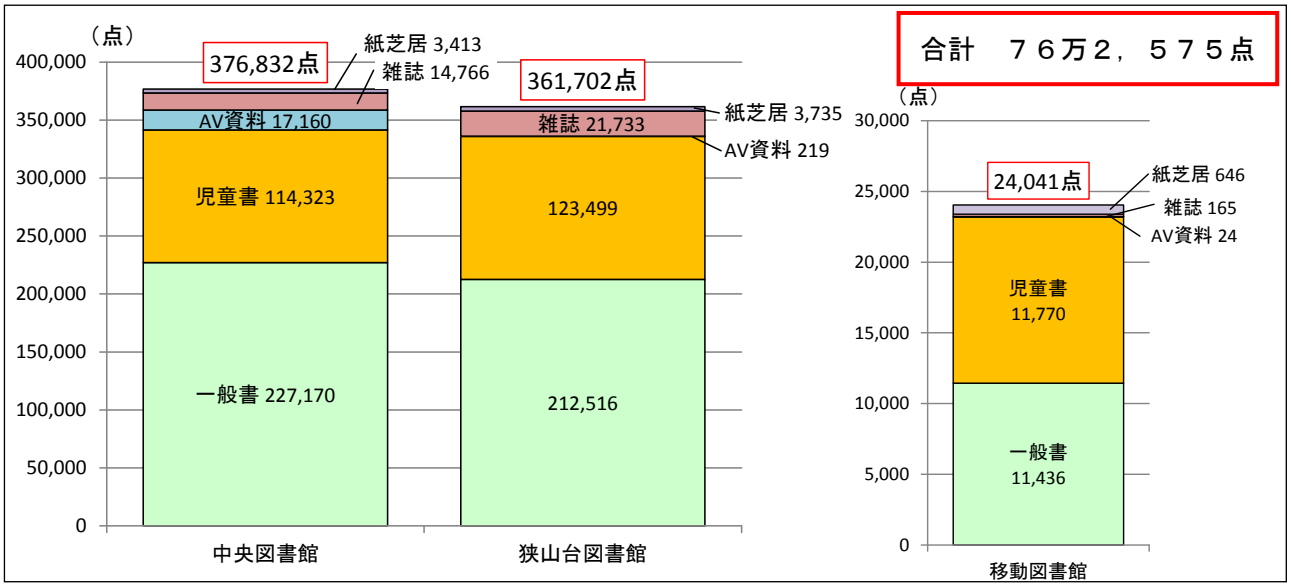
② 利用状況

■ 年間貸出点数

平成 26 年度の貸出点数は年間約 76 万点です。

施設別にみると、中央図書館の貸出点数は約 38 万件（耐震改修工事のため 6 ヶ月間休館、平成 25 年度は 67 万件）と市全体の約 49%を占めています。一方で、狭山台図書館は約 36 万件（約 47%）となっています。

図表　年間利用点数（平成 26 年度）



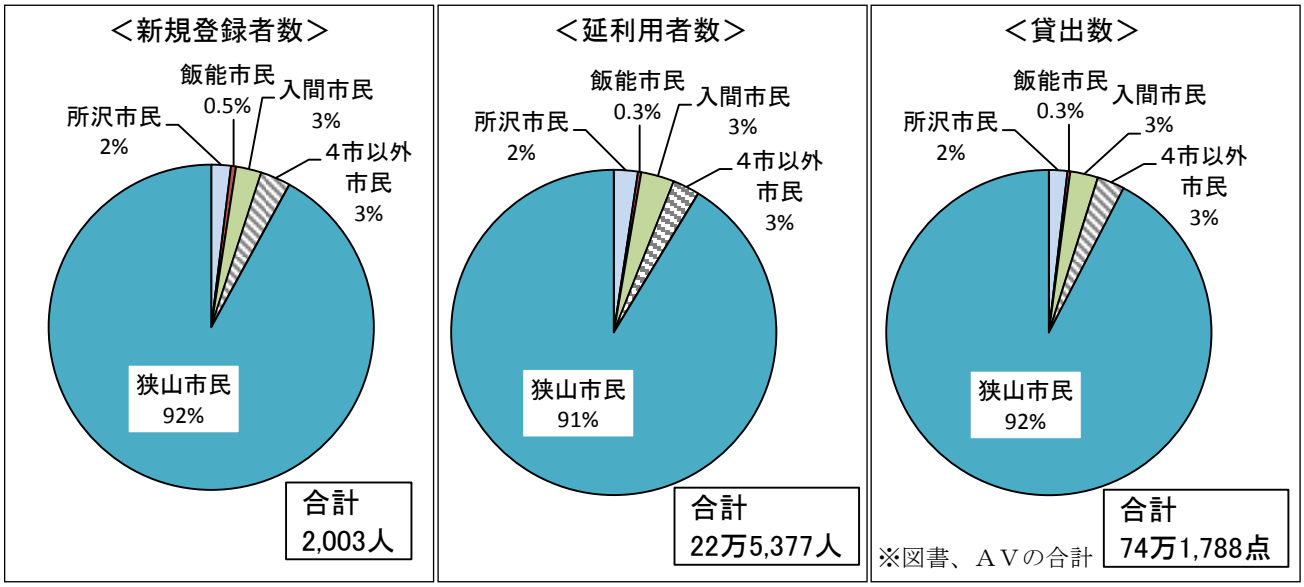
（出典）平成 26 年度決算資料

■ 相互利用状況

図書館ではダイヤ 4 市で相互利用を行っています。

新規登録者数、延利用者数、貸出数いずれも、4 市別では入間市民の割合が最も高くなっており、3%を占めています。本市の利用者は、91%以上となっています。

図表　図書館相互利用状況（平成 26 年度）



（出典）公共施設相互利用状況調査（平成 26 年度）

■　利用推移

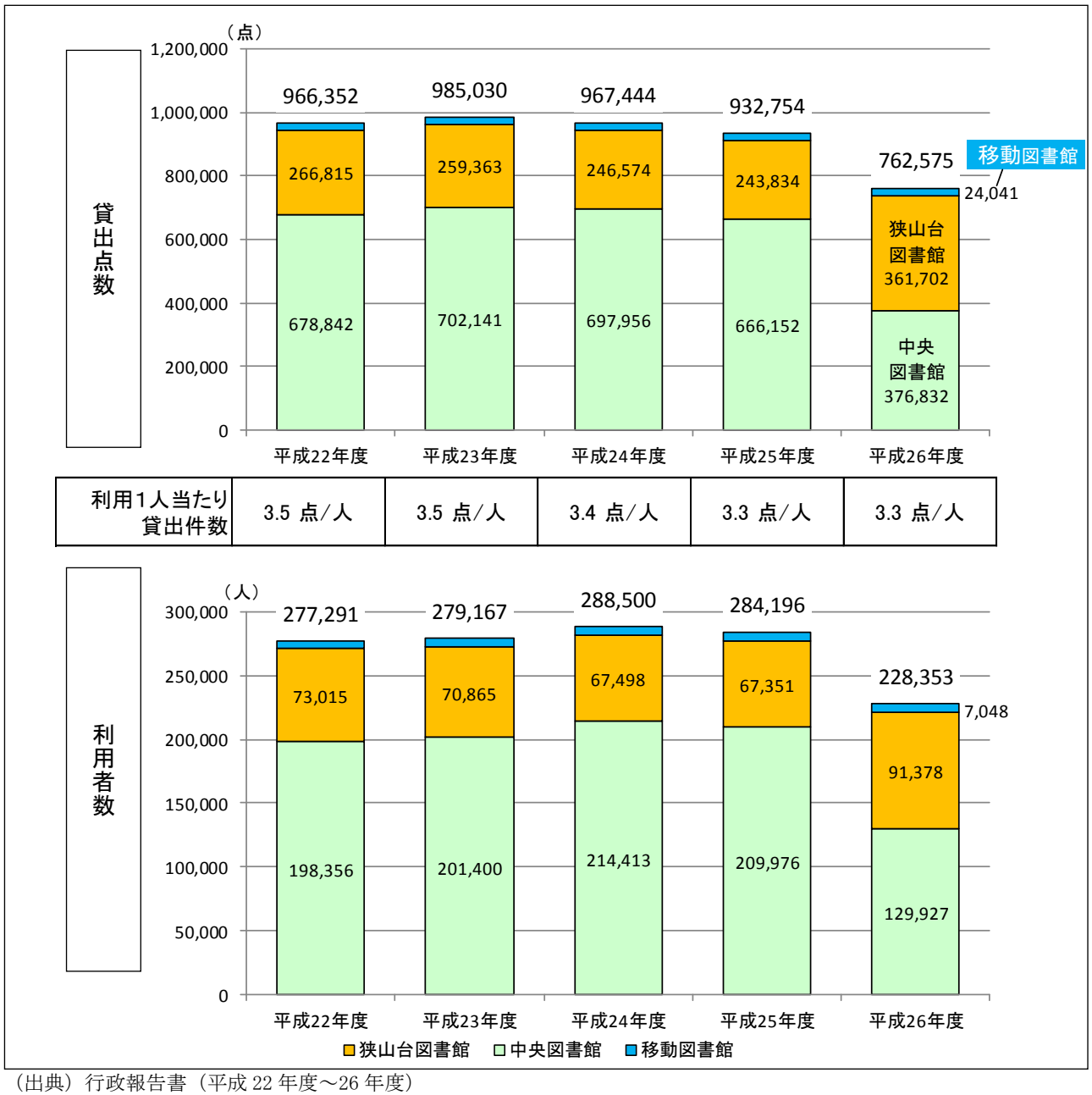
貸出点数の推移をみると、平成22年度から平成23年度まで約１万９千点増加していますが、平成 23 年度から平成 26 年度まで減少傾向にあります。

利用者数の推移は、平成 22 年度から平成 26 年度まで 23～29 万人の間で推移しています。

利用者 1 人当たりの貸出点数は、平成 22 年度から平成 26 年度まで 3.3 点/人から 3.5 点/人の間で推移しています。

※平成 26 年度は中央図書館が改修工事のため半年間休館

図表　貸出点数・利用者数の推移



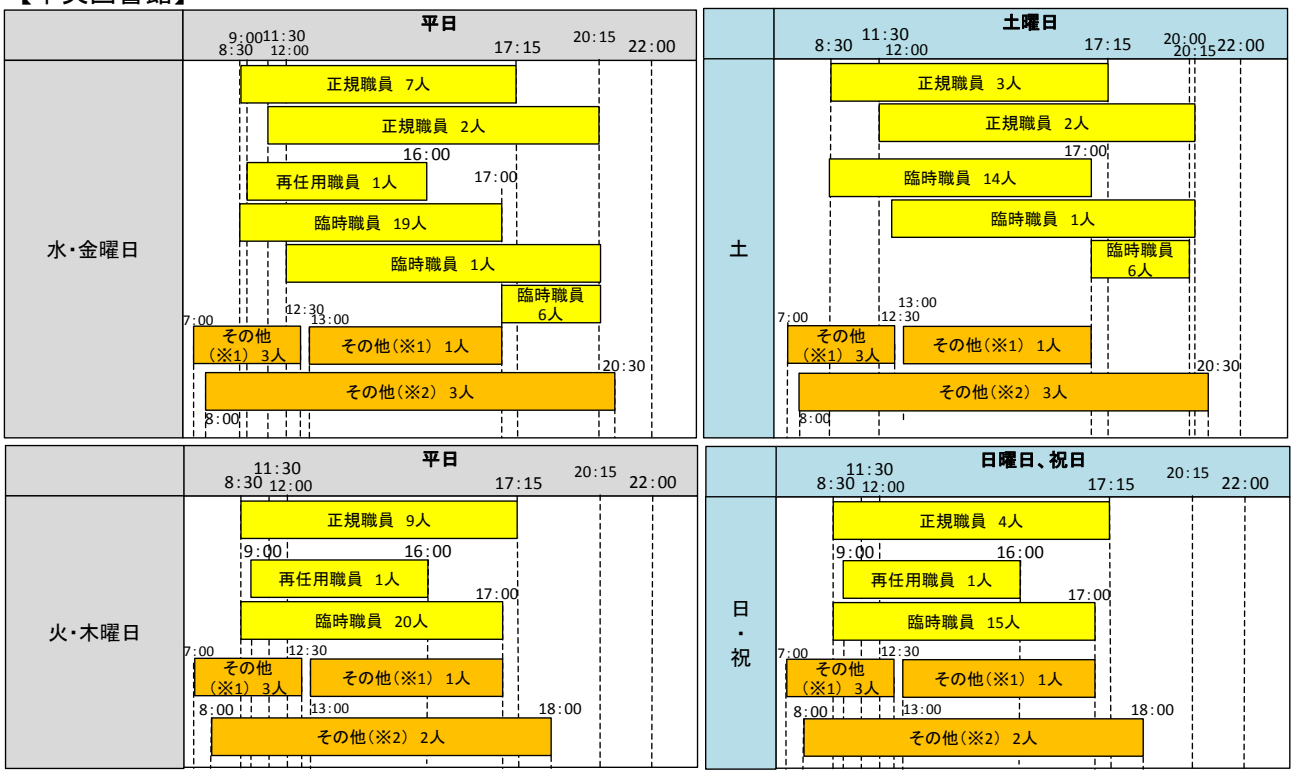
（出典）行政報告書（平成 22 年度～26 年度）

③ 運営状況

図書館の運営は、中央図書館と狭山台図書館の２施設とも市の直営となっており、時間帯に合わせて人員配置をしています。中央図書館は曜日によって正規職員の従事する時間帯や臨時職員の人数など人員配置が異なっています。

図表　運営体制

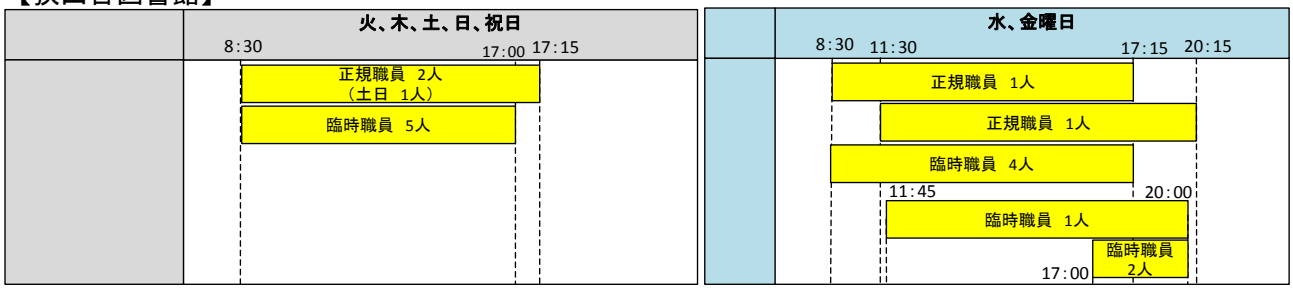
【中央図書館】



※1　その他：委託業務職員（清掃）

※2　その他：委託業務職員（警備、維持管理）

【狭山台図書館】



④ コスト状況

図書館の２施設の年間トータルコストは、６億 8,083 万円です。中央図書館は６億 2,922 万円で市全体の約 92%を占めています。また、狭山台図書館は 5,161 万円（約 8%）です。

トータルコストのうち、施設にかかるコスト（修繕費・光熱水費・委託費等）は４億 7,810 万円（約 70%）、事業運営にかかるコスト（人件費・その他物件費等）は１億 7,378 万円（約 26%）、減価償却相当額が 2,895 万円（約 4%）となっています。

※中央図書館には、移動図書館と平成 26 年度に実施した耐震改修工事、空調設備改修工事の経費が含まれています。

図表　施設別行政コスト計算書（平成 26 年度）

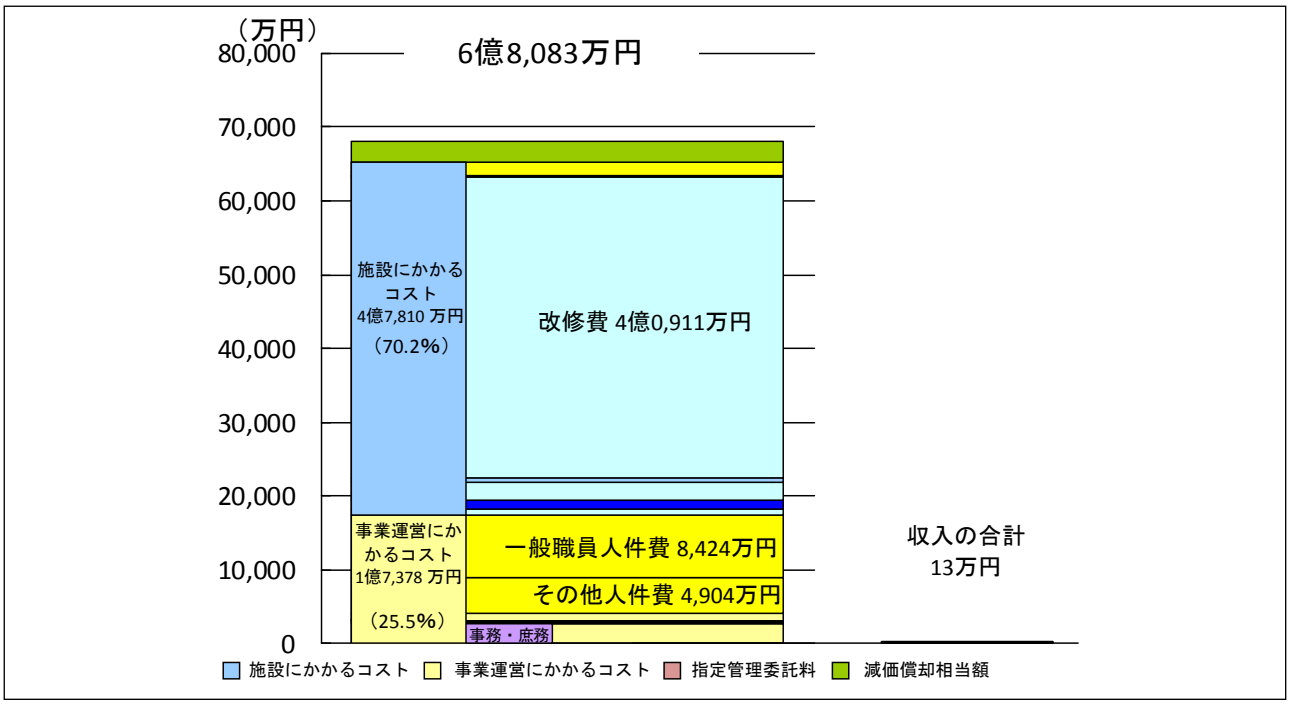
（円）

Ⅰ.現金収支を伴うもの 【コストの部】		中央図書館	狭山台図書館	合計
施設にかかるコスト	一般職員人件費	15,075,396	2,660,364	17,735,760
	修繕費	902,080	46,656	948,736
	改修費	409,105,760	0	409,105,760
	光熱水費	5,148,394	8,831	5,157,225
	委託費	24,979,239	0	24,979,239
	使用料及び賃借料	11,240,595	0	11,240,595
	その他物件費	8,366,432	569,096	8,935,528
	施設にかかるコスト	474,817,896	3,284,947	478,102,843
事業運営にかかるコスト	一般職員人件費	69,169,464	15,075,396	84,244,860
	その他人件費	35,493,548	13,541,875	49,035,423
	委託費	9,812,951	0	9,812,951
	使用料及び賃借料	636,720	0	636,720
	負担金補助及び交付金	50,000	0	50,000
	その他物件費	2,736,050	0	2,736,050
	事業運営	117,898,733	28,617,271	146,516,004
	その他物件費	18,711,228	8,553,732	27,264,960
	事務・庶務	18,711,228	8,553,732	27,264,960
	事業運営にかかるコスト	136,609,961	37,171,003	173,780,964
現金収支を伴うコスト　計		611,427,857	40,455,950	651,883,807
【収入の部】				
収入	使用料収入	8,858	0	8,858
	諸収入	74,890	45,720	120,610
収入の合計		83,748	45,720	129,468
Ⅱ.現金収支を伴わないもの				
コスト	減価償却相当額	17,794,904	11,150,779	28,945,683
Ⅲ.総括				
コストの部合計（トータルコスト）		629,222,761	51,606,729	680,829,490
収支差額（ネットコスト）		629,139,013	51,561,009	680,700,022

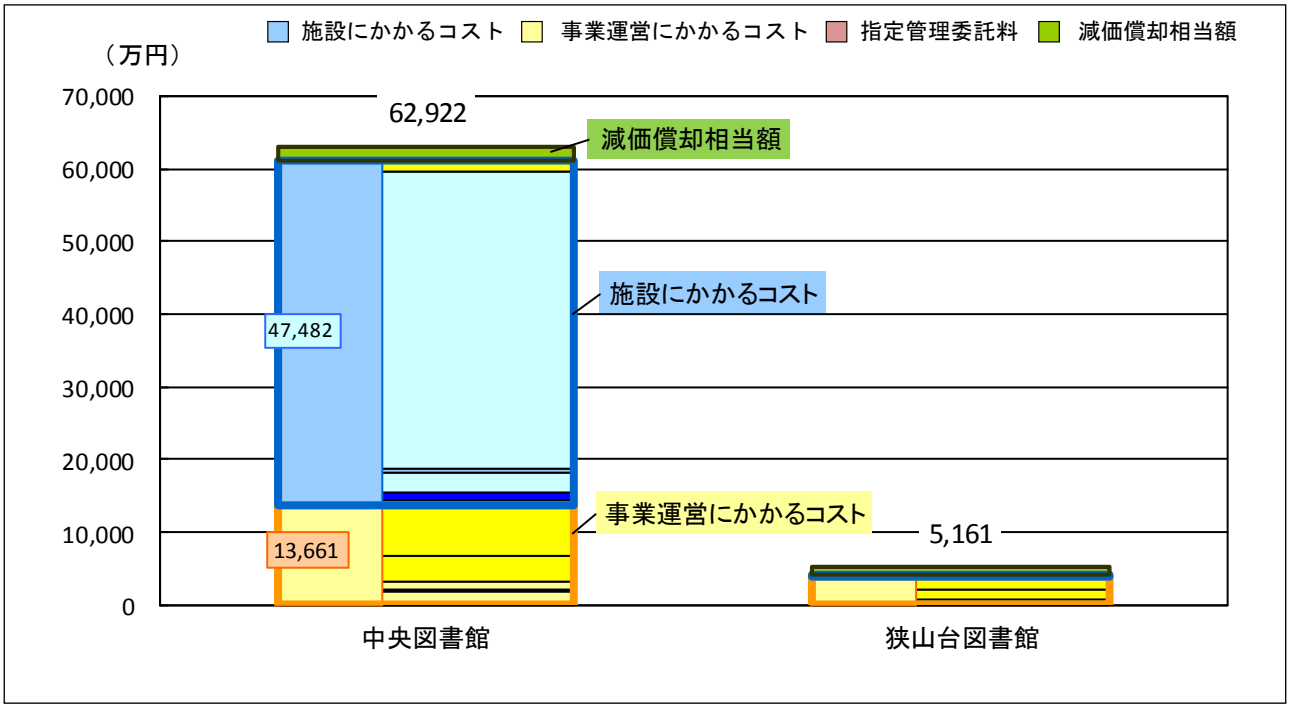
中央図書館の改修費（耐震改修工事等）は約４億 911 万円で、トータルコストの約 60%を占めています。

施設別トータルコストでは、中央図書館は６億 2,922 万円、狭山台図書館は 5,161 万円となっています。

図表　図書館　全施設トータルコスト（平成 26 年度）



図表　図書館　施設別トータルコスト（平成 26 年度）

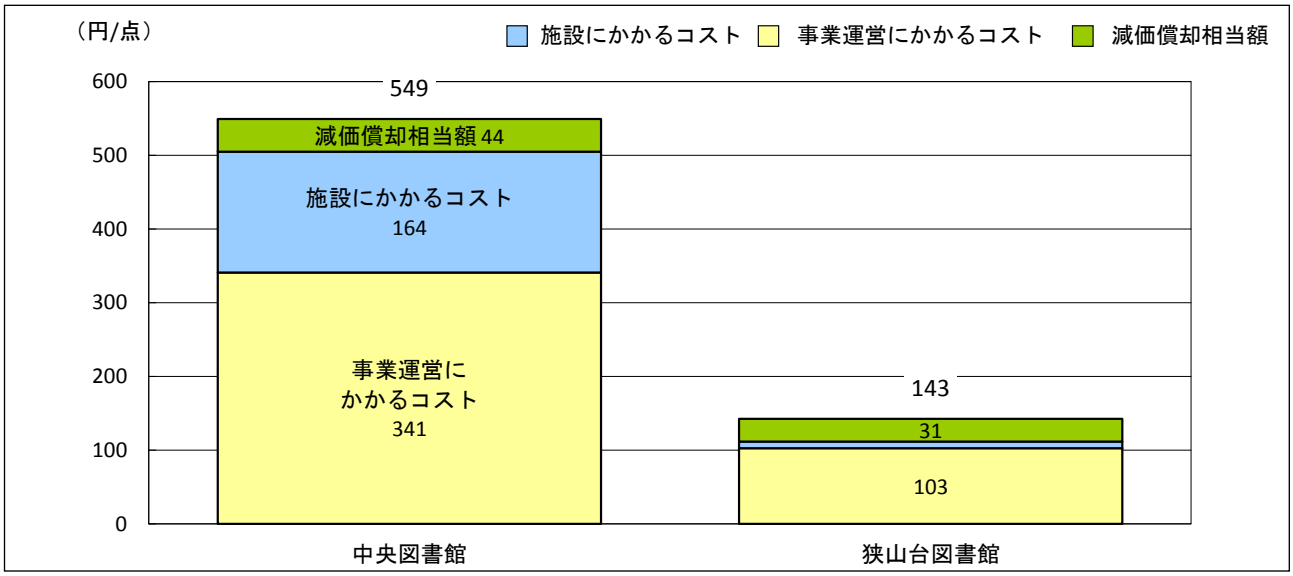


3）評価・分析

■　利用 1 点当たりのコスト

年間貸出点数とトータルコストから、利用 1 点当たりにかかるコストを算出すると、中央図書館は 549 円/点、狭山台図書館は 143 円/点となっています。

図表　施設別　利用 1 点当たりコスト（平成 26 年度）

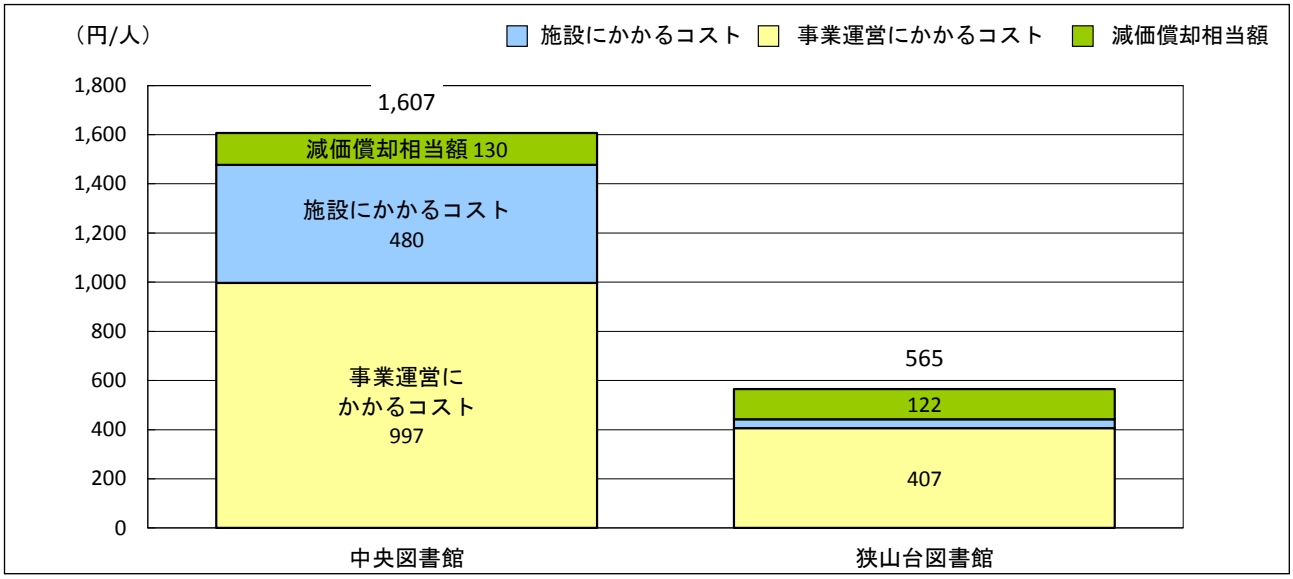


※中央図書館の改修費を除き算出

■　利用者 1 人当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから、利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、中央図書館は 1,607 円/人、狭山台図書館は 565 円/人となっています。

図表　施設別　利用者 1 人当たりコスト（平成 26 年度）



※中央図書館の改修費を除き算出

4）実態のまとめ

■ 建物面

・ 2 施設とも、改修後または建築後 20 年以上経過しており、外壁・屋根などの重要な部位に修繕の必要な劣化がみられ、早期の対策が必要です。

・ 上記に加え、書庫のハロンガスによる消化設備の改修点検を平成 29 年度までに実施する必要があります。

■ 利用・運営面

・ 中央図書館は、一般書開架と児童書開架と参考調査室が別フロアのため、利用者層に応じた読書環境は確保できていますが、その分、職員の分散配置が必要な状況となっています。効率的な運営に向けては、ワンフロア化や運営方式の見直し等の検討も必要です。

・ 周辺施設の利用者が中央図書館駐車場を使用することがあるなど、駐車場の管理運営方法が課題となっています。周辺施設の駐車場の一体化等の検討が必要です。

（７）博物館等

１）施設概要

①　施設一覧

本市では、講座等の開催を通じて郷土狭山に関する学習活動を支援する施設として、博物館を保有しています。そのほか、奈良・平安時代の集落跡として今宿遺跡があり、埋蔵文化財の修復保管を行う文化財センターを保有しています。

博物館は、「県営狭山稲荷山公園」に立地しています。

設置目的

博物館	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため。
今宿遺跡	文化財の展示・公開のため。
文化財センター	埋蔵・文化財の修復・保管のため。

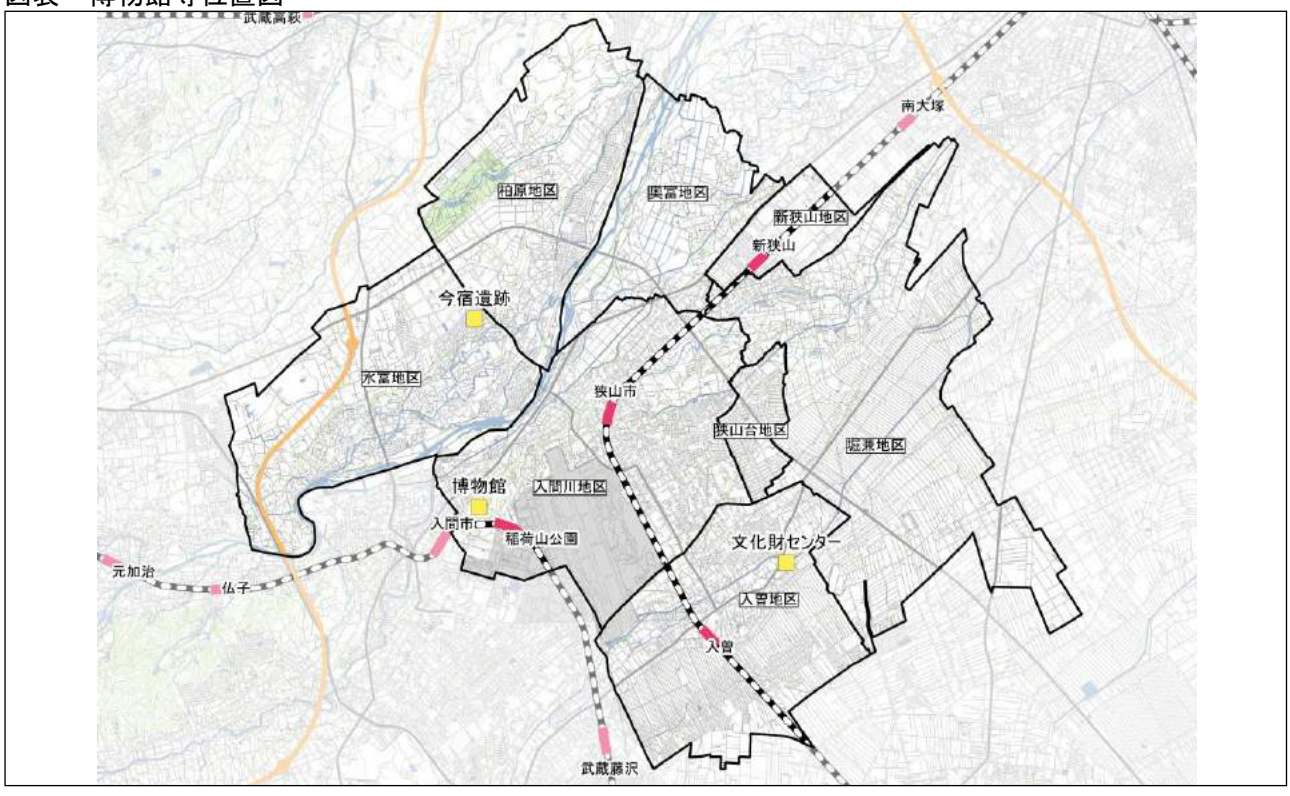
図表　施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年度）	構造（主たる建物）	複合・併設施設		土地所有
						学童保育室	小学校	
入間川	1 博物館	稲荷山 1-23-1	3,452.66	平成2	鉄筋コンクリート			借地
水富	2 今宿遺跡	広瀬台 1-22	35.30	昭和45	鉄骨			市
入曽	3 文化財センター	南入曽 55	400.00	昭和54	鉄筋コンクリート	●	●	市
合計			3,887.96					

※　　：築 30 年以上施設

②　配置状況

図表　博物館等位置図



③　開館日・開館時間

分類	休館日	開館時間
博物館	月曜日 （祝日の場合は開館） 毎月第４金曜日 （７月・８月は開館） 年末年始 （12 月 27 日～1 月４日）	午前９時～午後５時 （入館は 16 時 30 分まで）

④　事業内容

分類	事業内容	
博物館	常設展示	展示テーマ「入間川と入間路」を中心に、狭山の自然・地質・考古・歴史・民俗などを通史的に展示
	企画展	「狭山らしさ」を踏まえ、本市の歴史の一端に触れるもの、子どもたちへの博物館への興味や関心を高めるもの及び独自性に富んだものを基軸に年４回開催
	その他	講座や体験学習の開催
今宿遺跡	昭和 51 年に市指定史跡文化財に指定されたもので、公園内に復元された竪穴住居が一軒建っています。	
文化財センター	発掘された文化財の修復と保管を行っています。	

⑤　使用料金等

■　使用料金

【博物館】　（円）

利用形態		入館料
個人	一般	150
	高校生・大学生	100
	中学生以下	無料
団体	一般	100
	高校生・大学生	60
	中学生以下	無料
その他	65 歳以上の方は、敬老の日（９月 15 日）は無料	
	埼玉県民の日（11 月 14 日）は無料 ただし、特別展・企画展開催中は有料	

※企画展示開催中は、企画展の観覧は有料となります。

※団体は 20 人以上でのご来館の際に、適用となります。

【今宿遺跡】

展示物、無料

【文化財センター】

一般公開なし

2）実態把握

①　建物状況

■ 博物館等の建物総合評価結果

今宿遺跡を除く 2 施設の建物状況について、「第 3 章 2 公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

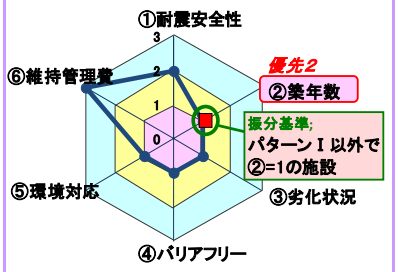
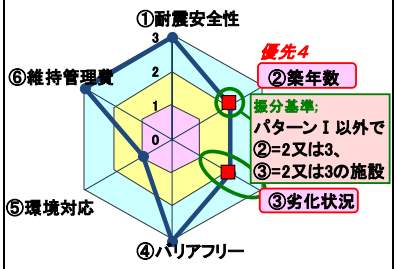
No.	施設名	基本情報 建築年度	基本情報 延床面積（㎡）	①耐震化 耐震診断・耐震改修	②老朽化 築年数	②老朽化 直近の大規模改修	②老朽化 築年数または直近の大規模改修後経過年数	③劣化状況 劣化問診票回答評価	④バリアフリー対応 段差なし	④バリアフリー対応 案内設備・案内所	④バリアフリー対応 エレベーター	④バリアフリー対応 ※1 車椅子対応トイレ	④バリアフリー対応 障がい者用駐車場	④バリアフリー対応 授乳室・ベビーシート	⑤環境対応 自然エネルギー・太陽光発電の導入	⑤環境対応 屋上・壁面緑化等	⑤環境対応 環境対応設備※2	⑥維持管理 維持管理費（千円） 光熱水費	⑥維持管理 維持管理費（千円） 建物管理委託費	⑥維持管理 維持管理費（千円） 各所修繕費	⑥維持管理 床面積当たり（円/㎡） 光熱水費	⑥維持管理 床面積当たり（円/㎡） 建物管理委託費	⑥維持管理 床面積当たり（円/㎡） 各所修繕費
1	博物館	平成2	3,453	－	25		25	△	○	○	○	○	○	○	×	×	×	8,971	25,228	11,850	2,598	7,307	3,432
3	文化財センター	昭和54	400	△	36		36	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	－	－	－	－	－	－
	合計・平均		3,853															8,971	25,228	11,850	2,328	6,548	3,076

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

①④⑤の凡例
○ ： 実施済み
△ ： 対策中
× ： 未実施
― ： 不要

③の凡例
○ ： 劣化がみられないもの
△ ： 一部に劣化がみられるもの・不明
× ： 屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

文化財センターは築 30 年以上と老朽化がかなり進行しているので、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。博物館は新耐震基準の建物ですが、築 20 年を超えており、今後、老朽化対策が必要になっています。

	パターンⅡ 老朽化	パターンⅣ 今後 老朽化
評価	・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修 などの老朽化対策の検討が必要な施設	・今後、老朽化が進行する ⇒今後老朽化対策の検討が必要になる施設
		
該当施設	該当施設：文化財センター　建築年度：昭和54 ＜ 1 施設 ＞	該当施設：博物館　建築年度：平成2 ＜ 1 施設 ＞
コメント	・築30年以上と老朽化がかなり進行しているので、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。	・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。

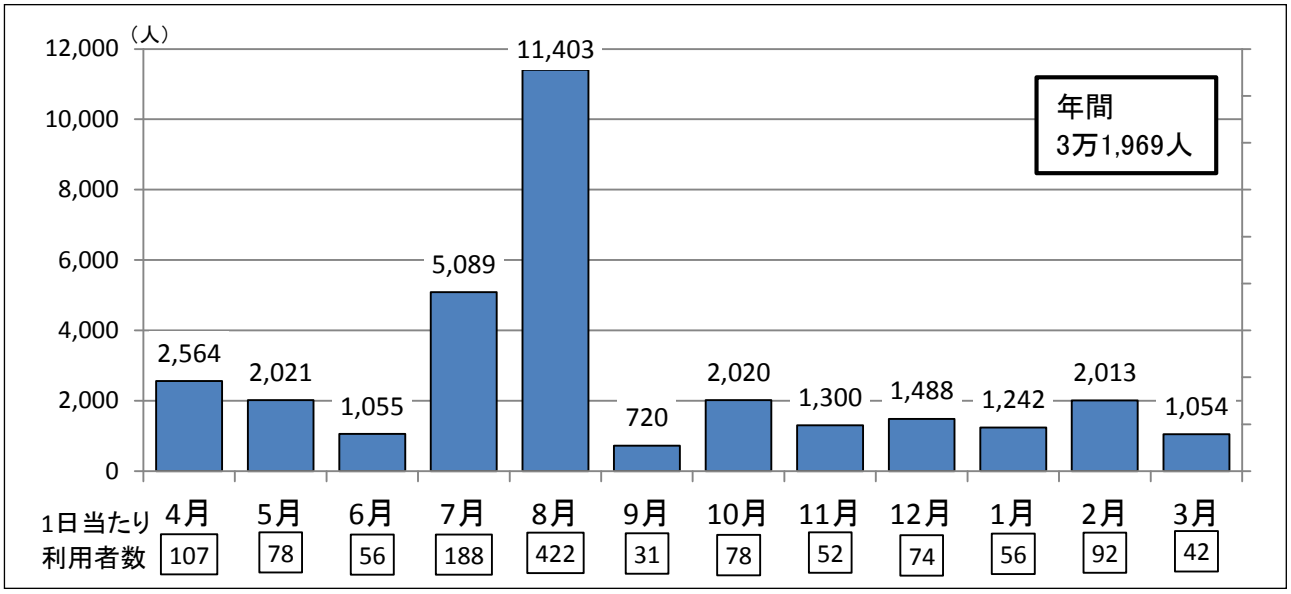
② 利用状況

■ 博物館の利用状況

博物館の年間利用者数は３万 1,969 人です。

月別では、８月の利用が最も多く１万 1,403 人、１日当たり平均 422 人の利用がありました。最も少ない月は９月で 720 人、１日当たり平均 31 人となっています。

図表　月別利用者数（平成 26 年度）



（出典）行政報告書（平成 26 年度）

常設展示以外の学習機会の提供を図るため、博物館への興味・関心を得られるよう以下の企画展と企画展関連事業を開催しました。

図表　企画展（平成 26 年度）

事業名	入館者数
写真で見る狭山市の 60 年	4,248　人
ダンボールアート展	16,266　人
城山砦と鎧展	5,080　人

（出典）行政報告書（平成 26 年度）

図表　企画展関連事業（平成 26 年度）

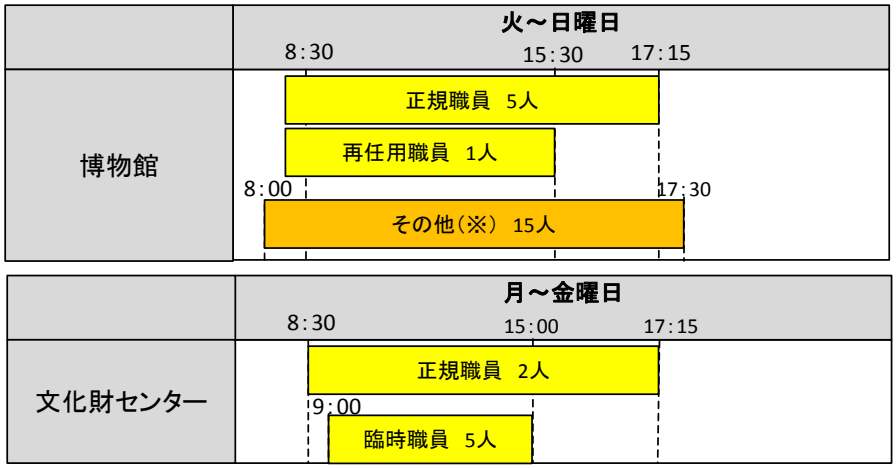
事業名	参加者数
夏休み親子工作教室（計５回）	320　人
城山砦跡見学会	延　188　人
足軽体験ツアー	延　76　人

（出典）行政報告書（平成 26 年度）

③ 運営状況

博物館と文化財センターは市の直営となっており、博物館は正規職員と再任用職員の６人と、業務委託職員が 15 人従事しています。文化財センターは正規職員２人と臨時職員は５人が従事しています。

図表　運営体制



※1　その他：業務委託職員（施設管理、清掃、展示室警備）

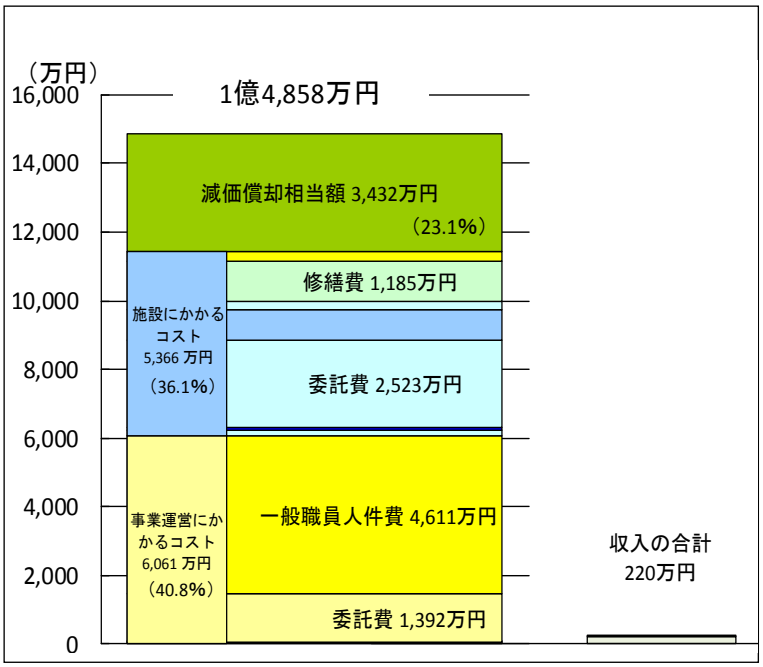
④ コスト状況

博物館の年間トータルコストは、1 億 4,858 万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（委託費等）は 5,366 万円（約 36%）、事業運営にかかるコスト（人件費等）は 6,061 万円（約 41%）、減価償却相当額は 3,432 万円（約 23%）です。

図表　施設別行政コスト計算書（平成 26 年度）

Ⅰ.現金収支を伴うもの 【コストの部】		博物館
施設にかかるコスト	一般職員人件費	2,660,364
	修繕費	11,849,760
	改修費	2,382,480
	光熱水費	8,970,501
	委託費	25,227,936
	使用料及び賃借料	695,786
	その他物件費	1,868,561
	施設にかかるコスト	53,655,388
事業運営にかかるコスト	一般職員人件費	46,112,976
	委託費	13,920,120
	負担金補助及び交付金	49,000
	その他物件費	526,536
	事業運営にかかるコスト	60,608,632
現金収支を伴うコスト　計		114,264,020
【収入の部】		
収入	使用料収入	2,001,390
	諸収入	199,967
収入の合計		2,201,357
Ⅱ.現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	34,319,200
Ⅲ.総括		
コストの部合計（トータルコスト）		148,583,220
収支差額（ネットコスト）		146,381,863

（円）



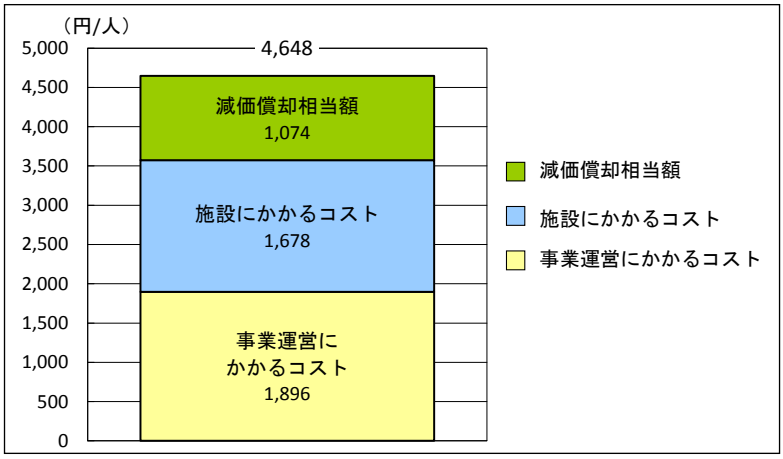
※今宿遺跡は、展示用の工作物に近似しているため、文化財センターは、学校と一体での管理のため、コスト把握の対象外とします。

3）評価・分析

■ 入館者数 1 人当たりのコスト

年間入館者数とトータルコストから、入館者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、4,648 円/人となっています。

図表　博物館　入館者 1 人当たりコスト



4）実態のまとめ

■ 建物面

- 文化財センターは、文化財の修復と保管が目的の施設ですが、出土遺物保管場所としての耐荷重力と保管場所のスペース不足等の課題があります。
- 今宿遺跡は、復元住居やメタセコイヤ化石等の燃えやすいものを展示していますが、防犯や消火の設備が整っていないため、対応が必要です。

■ 利用・運営面

- 博物館は年間約 3.2 万人の利用者があります。特に 8 月が約 1.1 万人となっており、月によって利用状況にばらつきがみられます。
- 今宿遺跡は、年に数回程度の小学校の見学の受け入れを行っています。公開するためには復元住居の補強や清掃、段差対策の柵の設置などの対応が必要です。

■ コスト面

- 博物館の入館料が一般個人で 150 円に対して、博物館の入館者 1 人当たりにかかるコストは 4,648 円となっています。効率的な運営に向けて、運営方式の見直し等の検討が必要です。